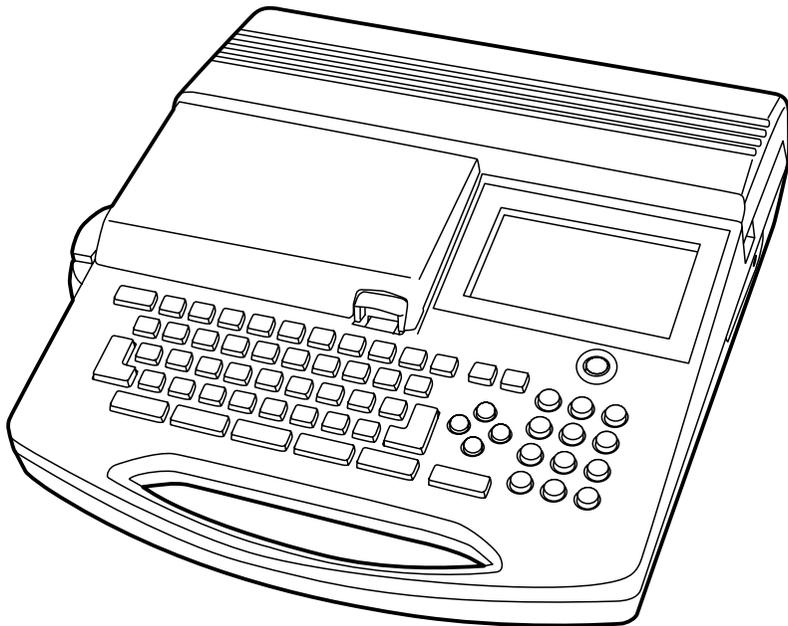


MAX[®]

マックス レジューイン

LM-340T
LM-340T/W
LM-390T
LM-390T/W

取扱説明書



- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

第 1 章

はじめに

1-1	はじめに	2
1-2	本書の見方	3
1-3	目次	4
1-4	使用上の注意事項	7

第1章 はじめに

1-1 はじめに

この度は、チューブマーカ― “レタツイン” LM-340T (/W)、LM-390T (/W) をご購入いただきありがとうございます。レタツインは現場携帯型チューブマーカ―です。電気設備などのケーブルマーキングに最適なチューブへのマーキングと、端子記名板やテープへの印刷を、現場で簡単に行なえます。本書をよくお読みいただきお取り扱いください。未永くご愛用いただけますようお願いいたします。

1-2 本書の見方

目的別タイトル

目的を示すタイトルです。

項目タイトル

項目を示すタイトルです。

イラスト

手順や操作をイラストで説明しています。

目的別タイトル

目的を示すタイトルです。

操作キー

操作するキーを表しています。

ディスプレイ

手順によって表示されるディスプレイを表しています。

取扱い事項

正しくお使いいただくための補足説明をしています。

第4章 基本操作

第4章 基本操作

4-1 チューブに印刷する

次のようにマークチューブを作ってみましょう。

第4章
チューブに印刷する

- ①本機にインクリボンカセットとチューブをセットします。
- ②電源をONにします。
- ③作成中の文書がある場合は、**Ⓚ**(または**Ⓛ**)を押して「新規」を選択し、**確定**を押します。

- ④印刷物を選択します。ここでは「MAXチューブ」を選択し、**Ⓞ**を押します。

参照

- ☆「インクリボンカセットのセット」?ページ、「チューブのセット」?ページ
- ☆「入力モード」?ページ
- ☆「連続印刷」?ページ

メモ

☆印刷物選択の上段は、印刷物の種類を示しています。**Ⓚ**または**Ⓛ**を押すと、次のように切り替わります。
MAXチューブ⇔非塩ビチューブ⇔一般チューブ⇔収納チューブ⇔テープ⇔記名板0.3mm厚⇔記名板0.5mm厚

1

お願い

機械が故障し修理が必要になる事が想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

メモ

操作上のポイントおよび知っていると便利なが書いてあります。

参照

説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

1-3 目次

1	はじめに	1
1-1	はじめに	2
1-2	本書の見かた	3
1-3	目次	4
1-4	使用上の注意事項	7
2	お使いになる前に	13
2-1	主な特徴 ~ この機械でできること	14
2-2	同梱品の確認	16
2-3	各部の名称	17
2-4	キーの名称と役割	18
2-5	画面の見かた	21
2-6	用語の説明	23
3	サプライ品のセットのしかた	25
3-1	インクリボンをセットする	26
3-2	チューブのセットのしかた	28
3-2-1	チューブをセットする	28
3-2-2	チューブのはずしかた	30
3-3	テープカセットのセットのしかた	31
3-3-1	テープをセットする	31
3-3-2	テープのはずしかた	32
3-4	ハーフカッタ交換のしかた	33
3-5	USBメモリのセットのしかた	34
4	基本操作	37
4-1	チューブに印刷する	38
4-2	端子記名板に直接印刷する	44
4-3	デバイスラベル用にテープ印刷する	48
4-4	社名ラベルをテープ印刷する	55
5	文字や記号を入力する	61
5-1	英数字入力のみ	62
5-2	ローマ字入力のみ	64
5-3	かな入力のみ (かなめぐり方式)	65
5-4	漢字変換のみ (熟語変換)	67
5-5	単漢字変換のみ	69
5-6	カタカナ変換のみ	71
5-7	JISコード入力のみ	73
5-8	記号入力のみ	75

6	入力した文字を消去する、設定を初期化する	77
6-1	削除キーの使いかた	78
6-2	BSキーの使いかた	78
6-3	全文削除キーの使いかた	79
6-4	設定初期化キーの使いかた	80
6-5	取消キーの使いかた	81
6-6	入力した文書の複写・貼付のしかた	81
7	機能を使いこなす	83
7-1	文字高さを変える	84
7-2	文字幅を変える	85
7-3	文字間隔や行間隔を変える	86
7-4	文字を枠で囲む	87
7-5	連続印刷枚数を設定する	88
7-6	連番を設定する	89
7-7	ピッチ印刷の設定を変える	90
7-7-1	ピッチ長を変える	90
7-7-2	ピッチカットの設定を変える	91
7-7-3	印刷方向を縦に変える	92
7-8	反転印刷	93
7-9	入力済みデータの一括書式変更	94
7-10	オプションキーで設定できること	95
7-10-1	印字濃度を調整する	95
7-10-2	低温時の印刷モード	96
7-10-3	先頭空送り	97
7-10-4	「6, 9」の印刷文字を変える	98
7-10-5	上下印字位置	99
7-10-6	ハーフカット位置を調整する	100
7-10-7	オートオフ機能を停止する	101
7-10-8	ピッチ長の初期値を設定する	102
7-10-9	連続印刷枚数の初期値を設定する	103
7-10-10	文字配置を変える	104
7-10-11	連番連続の印刷順序を設定する	105
7-10-12	表示濃度を調整する	106
7-10-13	LCDバックライト	107
7-10-14	英数書体を選択する	108
7-10-15	チューブウォーマーを使う (LM-390T/W、LM-340T/Wのみ)	109
7-11	印刷する	111
7-11-1	イメージ表示	111
7-11-2	印刷範囲を選択する	112
7-11-3	印刷物全体の長さを補正し、印刷する	113

7-12	決めた長さで印字する（ピッチ印刷ではない場合）	114
7-13	メモリに保存する/呼び出す	116
7-13-1	内部メモリに保存する	116
7-13-2	内部メモリを呼び出す	117
7-13-3	選択した本体メモリを削除する	119
7-13-4	すべての本体メモリを削除する	120
7-13-5	外部メモリに保存する	121
7-13-6	外部メモリ（USBメモリ）から文書を読み込む	123
7-13-7	外部メモリのファイルを削除する	125
7-14	よく使う語句を保存する/呼び出す	126
7-14-1	語句を登録する	126
7-14-2	登録した語句を呼び出す	128
7-14-3	登録した語句を削除する	129
7-14-4	登録してある語句を初期化する	130
8	パソコンデータを活用する	131
8-1	パソコンから直接印刷する（専用PCソフトが必要です）	133
8-2	パソコンで作成したデータを本体に取り込む（専用PCソフトが必要です）	136
8-3	USBメモリを使ってレタツインPCエディタで作成したファイルを取り込む	139
8-4	表計算ソフトで作成したデータを本体に取り込む	141
9	お手入れのしかた	143
9-1	プラテンローラをクリーニングする	144
9-2	プリンタヘッドをクリーニングする	146
10	トラブルシューティング	147
10-1	エラーメッセージ一覧	148
10-2	こんなときは	152
11	索引（あいうえお順にキーワード検索）	155
■	付録	159
付-1	サプライ品一覧	160
付-2	オプション品一覧	160
付-3	製品仕様	161
付-4	ローマ字入力規則表	162
付-5	JISコード一覧表	163
付-6	記号類一覧表	190

1-4 使用上の注意事項

ご使用上の注意

■表示について

この取扱説明書および製品は、製品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

-  **危険** : 取扱を誤った場合、使用者が死亡または重症を負う危険が切迫して生じることが想定され、絶対行ってはいけないことが書いてあります。
-  **警告** : 取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対行ってはいけないことが書いてあります。
-  **注意** : 取扱を誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってもいけないことや、物的損害のみの発生が想定され、絶対に行ってもいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行ってもいけないことが書いてあります。

 **お願い** : 機械が故障し修理が必要になる事が想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってもいけないことが書いてあります。

 **メモ** : 操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

 **参照** : 説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■絵表示について

-  : 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。
-  : 記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。
-  : 記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中の表示は具体的な指示内容です。

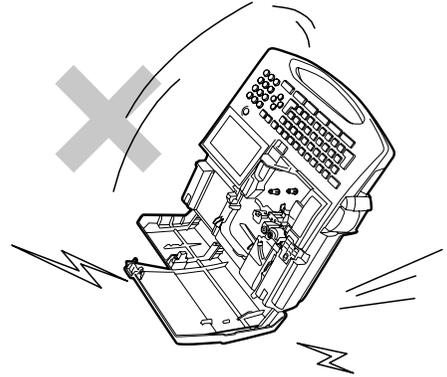
⚠ 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> 本機は絶対に分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 本機の内部に指、ペン、針金、などの異物を差し込まないでください。本機が故障したり、火災、感電の原因になります。 電源は直接コンセントからとりタコ足配線はしないでください。火災の原因になります。 電源コードの上に重いものを絶対にのせないでください。コードに傷が付いて火災や感電の原因になります。 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。 水、薬品などが機械にかからないようにしてください。万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐ抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
 	<ul style="list-style-type: none"> 故障のまま機械を使わないでください。煙が出ている、変な音やおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
	<ul style="list-style-type: none"> 電源はAC100V専用コンセントを使用してください。100V以外の電源を使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。

⚠ 注意	
<p>本機で作成した表示物に起因する損害、逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 内部メモリに保存した文書やUSBメモリに保存した内容は、永久的な保存はできません。故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
	<ul style="list-style-type: none"> 大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントは共用しないでください。電圧がさがり機械が誤動作する可能性があります。 紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。 インクリボン・チューブ・テープをなめたりしないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	<ul style="list-style-type: none"> コードの接続、USBメモリの装着脱は、必ず電源OFFの状態で行ってください。電源ONのまま接続および装着すると、けがや故障の原因となります。 電源プラグは定期的に清掃してください。長い間にほこりなどがたまり、火災や故障の原因になります。 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。コードが破損して火災や感電の原因になります。 本機に付属されている専用のACアダプタをご使用ください。
	<ul style="list-style-type: none"> 使用直後のプリンタヘッドにさわらないでください。やけどをする恐れがあります。 フルカット刃・ハーフカット刃にふれないでください。けがの原因となります。 チューブウォーマーのチューブ出入口には絶対に触らないでください。やけどをする恐れがあります。

お願い

本機のトラブルを避け本機の故障を未然に防ぐ為に、下記の事項を必ず守ってください。

1. 本機とACアダプタは精密機械です。落したり、衝撃を与えたり、お取り扱いにはご注意ください。



2. 快適にご使用いただくためにチューブは、マックス純正品をお奨めします。

 純正消耗品はP160参照

〈市販消耗品について〉

※下記の動作確認については、正常な印字・動作を保証するものではありません。

■市販品チューブは、以下のもので動作確認しています。

三平化学工業（株）製、北港化成（株）製、横山化成（株）製
マークチューブ（内径φ2.5～6.5 肉厚0.4mm品 白色、2010.09現在）

■熱収縮チューブは、以下のもので動作確認しています。

住友電工ファインポリマー（株）製
スミチューブ® B2（内径φ2.7～5.2 黒色、2010.09現在）

◎上記以外のチューブについては、チューブの硬さ、表面状態で印字品質が変わります。恐れ入りますがお客様にて印字確認の上ご使用ください。

またチューブ内径は**φ2.5～6.5の範囲でご使用ください。**（チューブウォーマー使用時はφ2.5～4.2になります。）

■(LM-390T、390T/Wのみ) 市販記名板は、以下のもので動作確認しています。

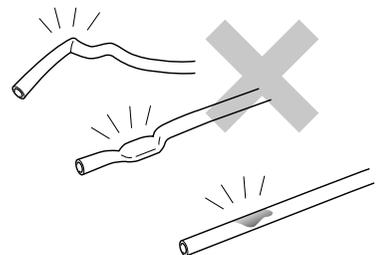
壬生電機（株）製、東洋技研製、IDEC製、CTK製

※いずれも塩ビ材質で、幅8.0～10.0mm、厚さ0.3または0.5mmに限ります。

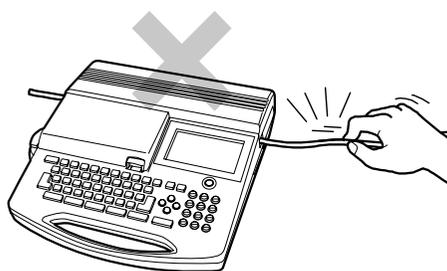
3. チューブ以外の消耗品（テープカセット、インクリボンカセット、記名板、カッター刃）は専用のものをお使いください。その他のものは絶対に使用しないでください。

4. チューブ印字の際は、チューブの曲がりググセ、ツブレた物、ヨゴレのひどい物は、使用出来ません。

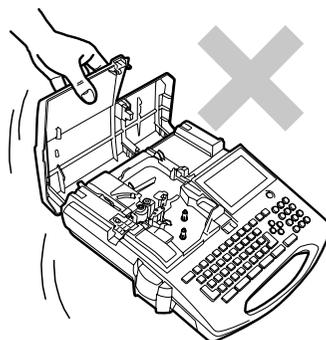
特に、チューブに付着した硬いゴミ等はプリンターヘッドの故障の原因になります。



5. テープチューブ出口をふさいだり、ものを入れたりしないでください。印字中にテープチューブはひっぱらないでください。



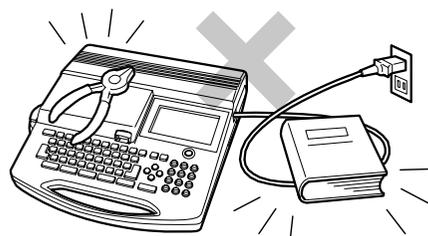
6. カセットカバーをつかんで持ち上げないでください。部品が破損し機械が落下することがあります。



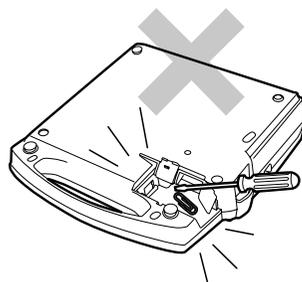
7. ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合、異常表示、メモリの内容が消えることがあります。
本機は住宅地又は隣接地域で使用する事を想定し、電波障害を防止する処置を行っています。しかし、本機をラジオ・テレビの受信機に近接して使用すると、受信障害の原因になる事がありますので設置場所に注意してください。

8. 本体の電源キーを入れたまま、または電源キーを切った直後に、電源ケーブルを引き抜かないでください。設定やメモリ内容の消去といった誤動作や故障の原因となる恐れがあります。LCD画面の表示が消えてから電源コードを抜いてください。

9. 本機の上や電源コードの上に物を置かないでください。



10. カードスロットやUSBポートに金属片等を入れないでください。故障の原因となる場合があります。



11. LCD画面を強く押さないでください。割れることがあります。

12. コーヒーやジュースなどの飲み物や水などを本機の上にこぼさないでください。



13. 本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール等の有機溶剤や薬品を使わないでください。機械が変形したり、変色する原因になります。

14. 寒い屋外から暖房の効いた室内に持ち込んだ時など、急激な温度変化により本体内部が結露することがあります。この時は室内に30分以上放置して霜が取れたことを確かめてからご使用ください。

15. トラブルの原因になりますので次の様な場所では使用、保管をしないでください。

①直射日光の当たる場所や、ヒーター等の熱源に近い場所

②ほこりや湿気の多い場所

③振動や衝撃の加わる場所

④ (LM-340T、LM-390T) 温度が15℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください。
(LM-340T/W、LM-390T/W) 温度が5℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください。

・本機を高温（35℃以上）環境に放置するとLCD画面が黒くなり、文字が見えにくくなる事があります。機械使用温度範囲内でご使用ください。

・本機を低温（5℃以下）環境に放置するとLCD画面の表示が薄くなり、見えにくくなる事があります。機械使用温度範囲内でご使用ください。

⑤温度が0℃以下、40℃以上になる場所で保管しないでください。



16. 保管、輸送する時は、ご購入時の専用キャリングケースまたは包装箱をご使用ください。

× 毛

第 2 章

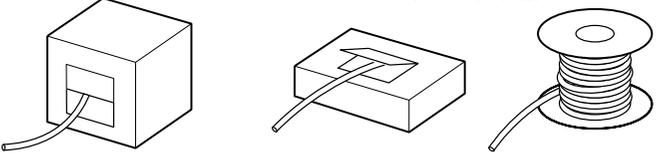
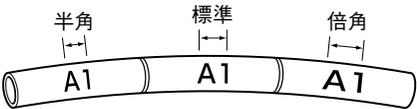
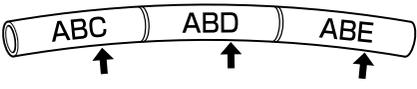
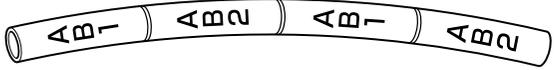
お使いになる前に

2-1 主な特徴 ～ この機械でできること	14
2-2 同梱品の確認	16
2-3 各部の名称	17
2-4 キーの名称と役割	18
2-5 画面の見かた	21
2-6 用語の説明	23

第2章 お使いになる前に

2-1 主な特徴 ～ この機械でできること

〔チューブ印刷機能〕

<p>1) 使用できるチューブ (38ページ参照)</p>	<p>・塩ビチューブ／非塩ビチューブ ・市販チューブ／黒色熱収縮チューブ</p> 
<p>2) 連番指定 (89ページ参照)</p>	
<p>3) 文字サイズ (84ページ参照)</p>	
<p>4) 文字幅 (85ページ参照)</p>	
<p>5) 連続印刷 (88ページ参照)</p>	
<p>6) アルファベット連番 (89ページ参照)</p>	
<p>7) 縦書き (92ページ参照)</p>	
<p>8) 文字選択 (6 9 / <u>6</u> 9 / 6. 9.) (98ページ参照)</p>	

第2章 主な特徴 ～ この機械でできること

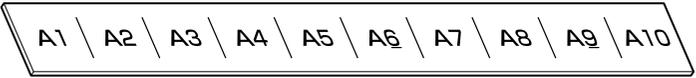
〔テープ印刷機能〕

専用テープカセットを使用します。

<p>1) 連番指定 (89ページ参照)</p>	
<p>2) ハーフカット (100ページ参照)</p>	
<p>3) 縦書き (92ページ参照)</p>	
<p>4) 定長印字 (48ページ参照)</p>	

〔記名板印刷機能〕

LM-390T・LM-390T/Wのみ。専用記名板・アタッチメントを使用します。

<p>1) 連番指定 (89ページ参照)</p>	
<p>2) 縦書き (92ページ参照)</p>	

・その他のラベル

<p>1) 多行 (55ページ参照)</p>	
<p>2) 枠囲み (87ページ参照)</p>	

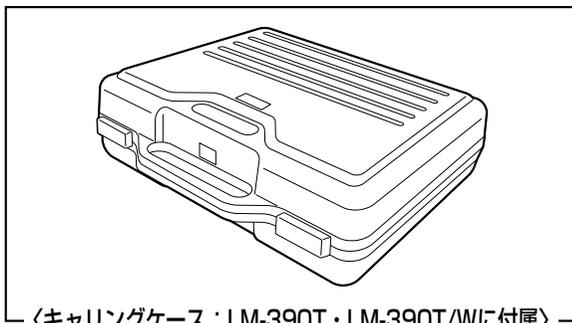
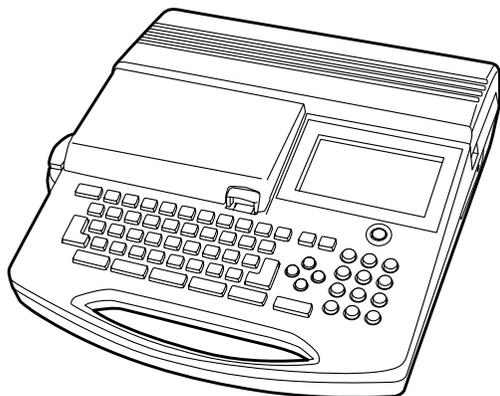
第2章 お使いになる前に

2-2 同梱品の確認 (LM-340T・LM-340T/W・LM-390T・LM-390T/W)

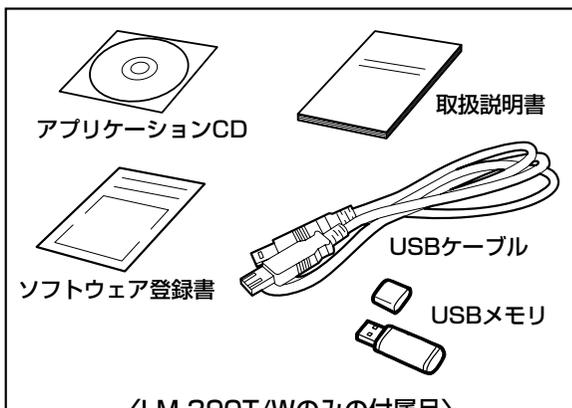
以下の同梱品が揃っているか、ご確認ください。

第2章

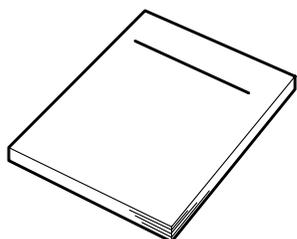
同梱品の確認



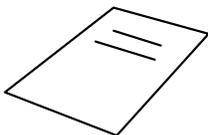
〈キャリングケース：LM-390T・LM-390T/Wに付属〉



〈LM-390T/Wのみの付属品〉



〈取扱説明書〉
(本書)



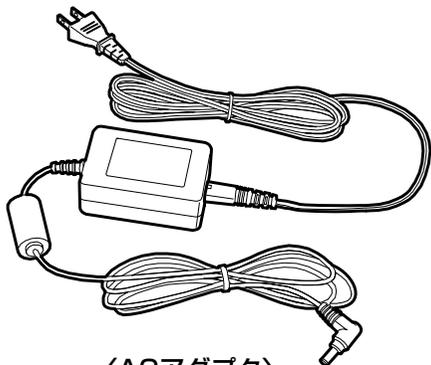
〈保証書〉



〈インクリボン：黒〉



〈テープカセット〉
(9mm幅・白)



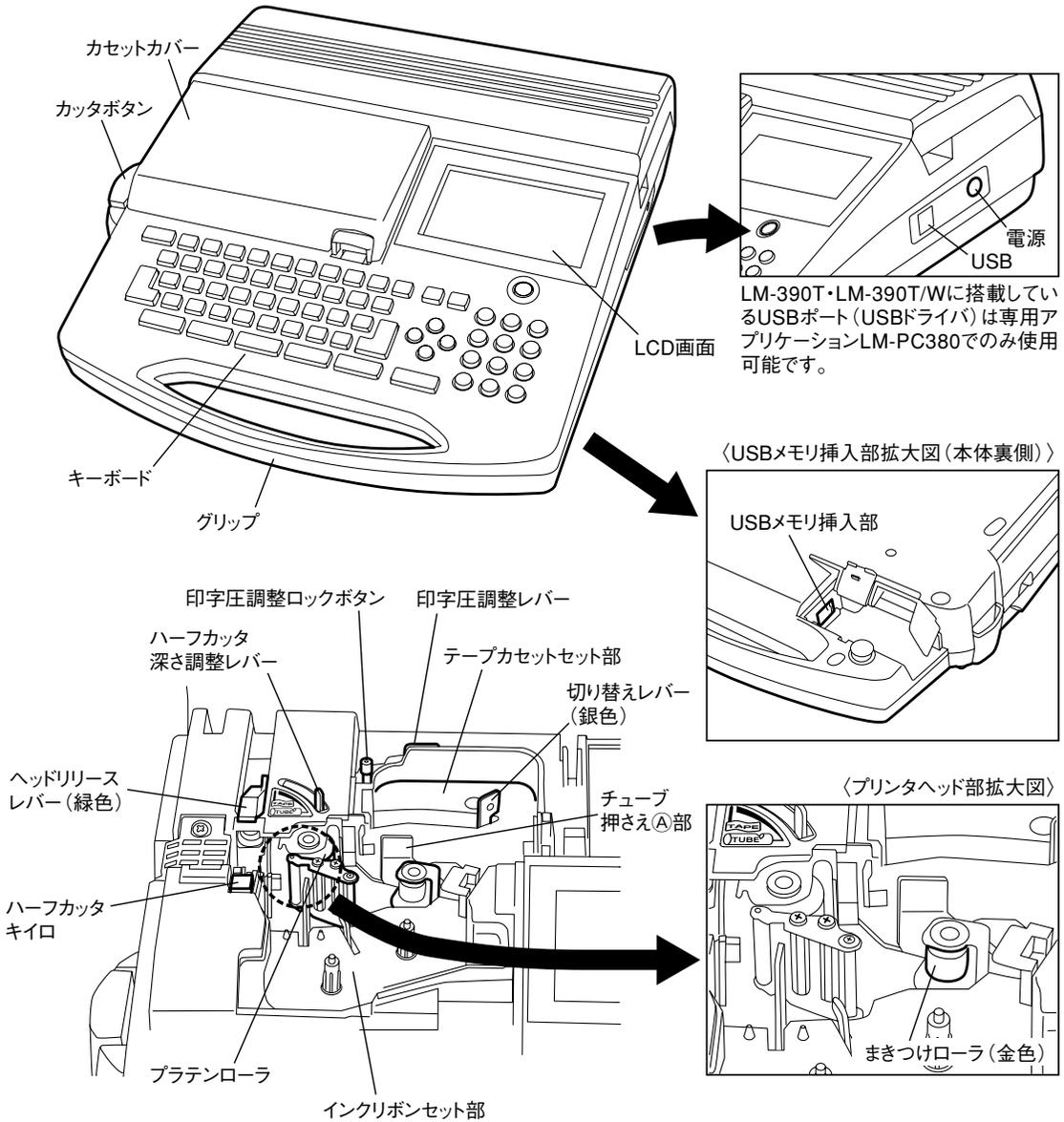
〈ACアダプタ〉



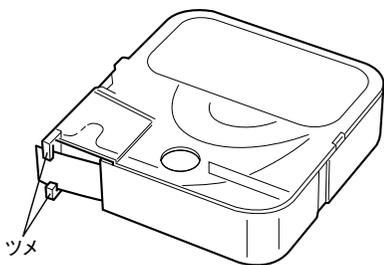
〈ハーフカッタ〉
(キイロ)

※本機にセットされています。

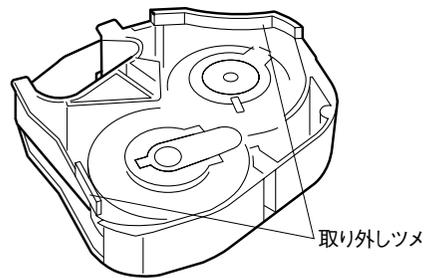
2-3 各部の名称



●テープカセット



●インクリボンカセット

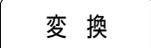
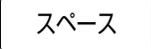
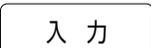


2-4 キーの名称と役割



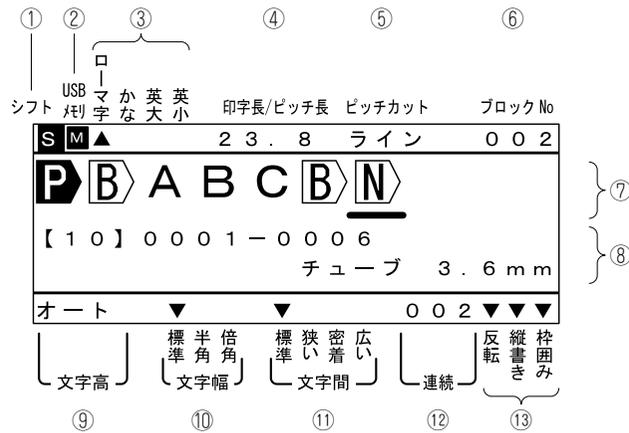
キーの配置	キー名称	使用するキー	はたらき	参照ページ
①	電源		電源のON/OFF 時に使います。	39
②	取消		設定途中での取消しや入力中の読みのクリアなどに使います。	81
	印刷物	+	チューブ・テープ・記名板のサイズを設定します。	39
③	文字高さ		カーソルのある行の文字高さを変更します。	84
	印字長	+	デバイスラベル用のテープ印字等で、あらかじめ印字長を指定します。	114
	文字幅		カーソルのある行の文字幅を変更します。	85
	反転	+	カーソルのあるブロックの反転印刷（白抜き文字）を設定します。	93
	文字間隔・行間隔		入力中のファイル全体に関わる文字と文字の間隔、行間隔を設定します。	86
	縦・横	+	縦書きを設定をします。テープ・記名板とチューブの場合では印刷結果が異なります。	92
	ピッチ長		カーソルをあわせたブロックマーク以降のピッチ長を変更します。	90
	ピッチカット	+	ピッチ印刷時のブロック間の処理（ハーフカット、実線印刷、無し）を設定します。	91
	連続		カーソルのあるブロックの連続印刷個数を設定します。	88

キーの配置	キー名称	使用するキー	はたらき	参照ページ
③	枠囲み	ソフト + 枠囲連続	デバイスラベル用のテープ印字等で、印字全体の枠囲みを設定します。	87
	連番	連番	カーソルのあるブロックの連番を設定します。	89
	記号	ソフト + 記号連番	記号を一覧から選択して入力します。	75
	語句	語句	よく使うフレーズを登録/呼出します。	126
	漢JIS	ソフト + 漢JIS語句	JISコード（本書巻末に収録）を入力して、漢字やギリシャ文字などを入力します。	73
	オプション	オプション	以下の機能は、このキーを押して表示されるメニューから選択して設定します。 ・オプション設定：印字濃度、低速モード、表示濃度、6/9選択、上下印字位置、カット位置、オートオフ、ピッチ長初期値、文字配置、連番印刷順序、LCD バックライト、先頭空送り、英数書体、チューブウォーマー ・PC ファイル転送：PC（専用ソフト）からのデータ受信モードにします。 ・PC ダイレクト印刷：PC（専用ソフト）からの直接印字モードにします。	95
	USBメモリ	ソフト + USBメモリオプション	本機にセットしたUSB メモリ（外部メモリ）へのデータの登録/呼出などを行ないます。	123
	メモリ	メモリ	本体内部メモリへのデータの登録/呼出などを行ないます。	116
	イメージ	イメージ	現在入力しているファイルの印刷時のイメージを表示します。	111
	複写	ソフト + 複写メモリ	カーソルのあるブロックを複写（コピー）します。	81
	貼付	ソフト + 貼付イメージ	直前に複写したブロックを、カーソル位置に貼り付けます。	82
④	BS（バックスペース）	BS	入力画面などでカーソルの1文字前を削除します。	78
	削除	削除	入力画面などでカーソルの1文字後を削除します。設定画面では選択値を初期化します。	78
	設定初期化	ソフト + 設定初期化BS	入力中の設定をすべてクリアし、入力初期状態にします。入力中の文字や記号がある場合は、初期化できません。全文削除後に操作します。	80

キーの配置	キー名称	使用するキー	はたらき	参照ページ
④	全文削除	 + 	先頭の P 以外の入力中データをすべてクリアします。	79
⑤	テンキー	 ~ 	数字やカンマ、ピリオドを入力します。	62
⑥	カーソルキー	 ,  ,  , 	カーソルの移動、選択項目を切り替えます。	39
	ジャンプ	 +  , 	入力中のデータの文頭(文末)にカーソルを移動します。	39
⑦	確定		変換中の漢字候補の確定や、設定画面で選択した項目・数値の確定を行ないます。	39
⑧	改ブロック	 + 	改ブロックします。	23
	USBメモリ 取外し	 + 	USBメモリを本機から取り外すときに押します。 USBメモリへのアクセスを中止し、安全に本機から取り外しができます。	35
⑨	変換		入力中の確定前の文字を漢字変換します。	67
	単漢字	 + 	入力中の確定前の文字を単漢字変換します。漢字変換ですぐに変換したい文字が出ないときなどに使います。	69
	スペース		空白(スペース)を入力します。	59
	入力		入力モード(ローマ字、かな、英数大文字、英数小文字)を切り替えます。 キーを押すと表示部のインジケータが変わります。	62
⑩	シフト		各機能キーのそばに表示されている機能を使うときに押します。 他のキーと同時に押せません。  を押してから各機能キーを押します。	59
⑪	印刷		入力した文書(データ)を印刷します。	47
	テープ送り	 + 	本機にセットしたチューブやテープ・記名板を一定量空送りします。	—
⑫	文字キー	 ~ 	文字を入力します。かな入力モード時は、かなが表示されているキーのみが有効です。	—
	改行		カーソル位置で改行します。	51

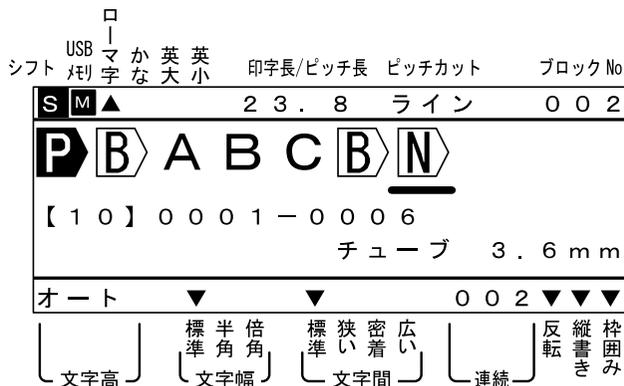
2-5 画面の見かた

基本入力画面（入力待機時）でのそれぞれの表示の意味は、下図の通りです。



図の番号	表示部	意味
①	シフト・インジケータ	<input type="checkbox"/> シフト を1度押すと点灯します。再度押すか、他のキーを押すと消えます。
②	USBメモリ	USBメモリが本機にセットされ使用可能な状態を示します。 <input type="checkbox"/> 改ブロック (USBメモリ) を押すと消えます。
③	入力モード インジケータ	インジケータ 現在の入力モードを表示しています。 <input type="checkbox"/> 入カ を押すと切り替わります。
④	印字長/ピッチ長	設定されている印字長またはピッチ長が表示されます。
⑤	ピッチカット	現在のピッチカット設定が表示されます。
⑥	ブロックNo.	カーソルのあるブロックが先頭から何番目のブロックが表示します。
⑦	確定画面	文字や編集マークの入力エリアです。
⑧	状態表示 (1)	設定状態を表示するエリアです。 上段：連番設定がある場合、連番の設定状態を表示します。 下段：設定されている印字メディアが表示されます。 漢字入力時は「よみ」が表示されます。
⑨	文字高さ インジケータ	カーソル行の文字高さの設定値が表示されます。 「オート」は自動文字高さ設定です。
⑩	文字幅 インジケータ	カーソル行の文字幅の設定値が表示されます。
⑪	文字間隔 インジケータ	文字間隔の設定値が表示されます。
⑫	連続印刷 インジケータ	カーソルのあるブロックの連続印刷設定値を表示します。
⑬	状態表示 (2)	枠囲み、縦書き、反転の設定を表示します。設定されている場合に点灯します。

画面に表示される編集マークの意味は次の通りです。



編集マーク	名 称	意 味
P	ピッチマーク	このマークが入力されているときは、ピッチ印刷モードになります。
B	ブロックマーク	ブロックの先頭を示します。
↵	改行マーク	改行されていることを示します。
N	連番マーク	連番が設定されていることを示します。

2-6 用語の説明

本機をお使いになる上で、次の用語は頻繁に出てきますのでご理解ください。

【ブロック】

を押すと **B** マークが入力され、新しく1行目が発生します。ブロックには2通りあります。

1) ピッチ印刷する場合

下図に示すように、ピッチ印刷する場合は設定したピッチ長さにそれぞれのブロックを割り当てて印刷します。

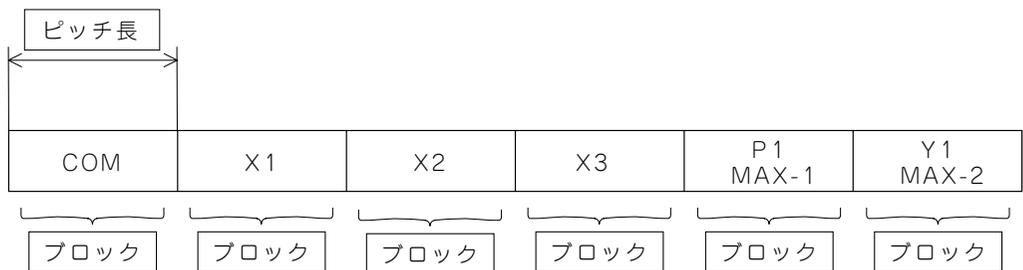
2) ピッチ印刷しない場合

この例のように、それぞれのブロックの文字長さに応じてレイアウトされます。



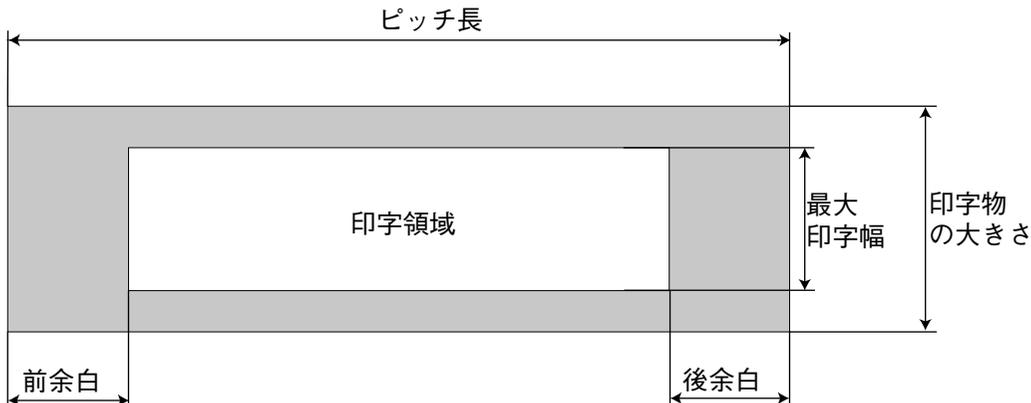
【ピッチ】

ピッチ印刷の場合、入力したブロックは、下図のように一定の長さでチューブやテープ、記名板に異なる文字を印刷できます。



【印字領域】

ピッチ長さや印字物サイズと印字領域の関係は次のようになっています。



	前余白	後余白	例) ピッチ長20mmの場合の 最大印字領域長さ
テープ印刷	1mm	1mm	18mm
チューブ印刷	2mm	2mm	16mm
記名板印刷	0.5mm	0.5mm	19mm

印字対象物	最大印字幅	
テープ	5mm	3.0mm
	9mm、12mm	7.4mm
チューブ	Φ2.5	2.0mm
	Φ3.2	3.0mm
	Φ3.6	3.0mm
	Φ4.2	4.0mm
	Φ5.2	4.6mm
	Φ6.5	4.6mm
記名板	8mm	6.5mm
	8.5mm	6.9mm
	9.5mm	7.4mm
	10.0mm	7.4mm

※記名板の印字は、専用記名板および専用アタッチメントを用いて、LM-390T/W・LM-390Tのみで使用できます。

第 3 章

サプライ品のセットのしかた

3-1 インクリボンをセットする	26
3-2 チューブのセットのしかた	28
3-2-1 チューブをセットする	28
3-2-2 チューブのはずしかた	30
3-3 テープカセットのセットのしかた	31
3-3-1 テープをセットする	31
3-3-2 テープのはずしかた	32
3-4 ハーフカッタ交換のしかた	33
3-5 USBメモリのセットのしかた	34

第3章 サプライ品のセットのしかた

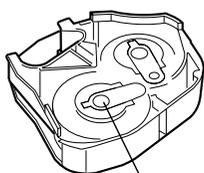
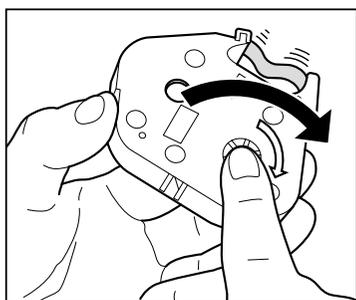
3-1 インクリボンカセットをセットする

1. インクリボンカセットを用意します。

お願い ●インクリボンがたるんでいた時は、下図のようにたるみを取ってください。

インクリボンのタルミの取りかた

インクリボンカセットを図のように持ち、カセット裏面の矢印方向へ巻き取りコア（黒色）を回転させ、インクリボンのタルミを取ります。その時、表面のボタンには触れないでください。



表面のボタン

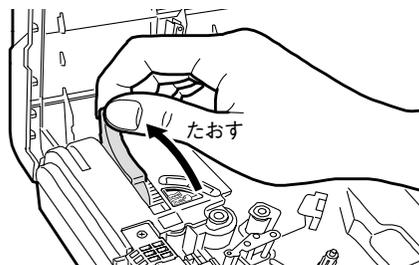
お願い

- タルミを取る以上に、巻き取りコアを強く回転させないでください。印字不良の原因になります。

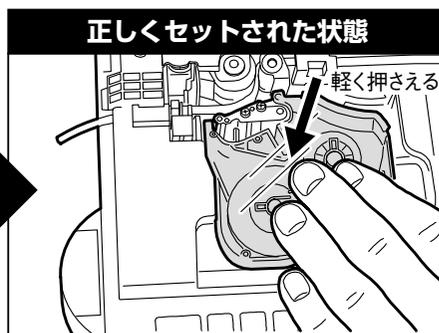
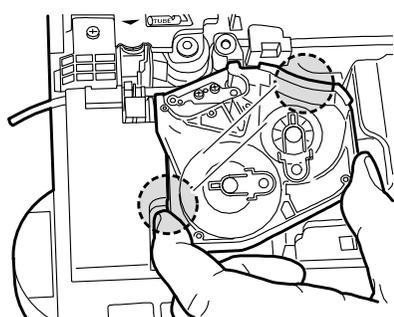
2. オレンジ色のつまみを引き上げながら、カセットカバーを開きます。



3. 緑色のヘッドリリースレバーを奥側にたおします。

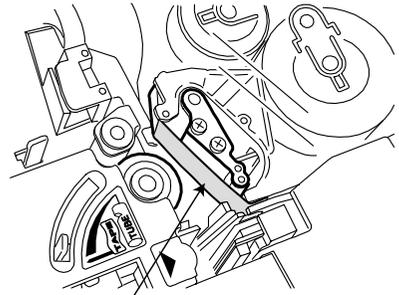
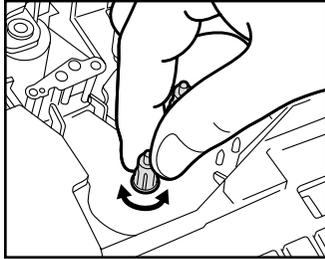


4. 図の様にインクリボンカセットの2つの取り外しツメ部を持ち、本体にセットします。次に浮き防止のため上から軽く押えます。



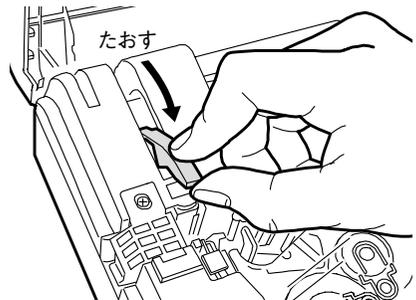
お願い

- インクリボンがたるんでいないか確認してください。たるんでいた場合は前項の **インクリボンのタルミの取りかた** の操作を行ってください。
- インクリボンカセットが入りづらい場合は、下図の様に軸を少し回転させてください。



たるんでいないか確認する

5. 緑色のヘッドリリースレバーを手前にたおします。(ヘッドリリースレバーは最後まで手を離さずに手前にたおしてください。)



6. カセットカバーをしっかりと閉じます。



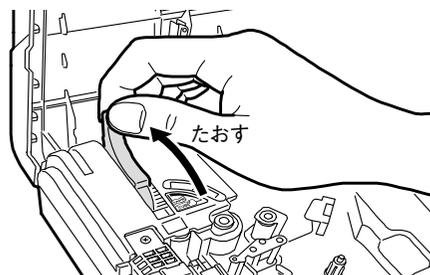
3-2 チューブのセットのしかた

3-2-1 チューブをセットする

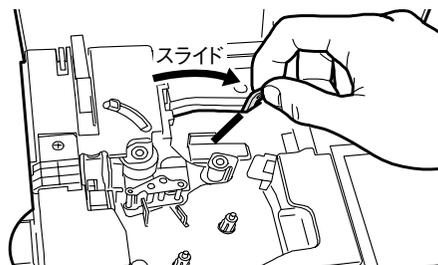
1. オレンジ色のツマミを引き上げながら、カセットカバーを開きます。



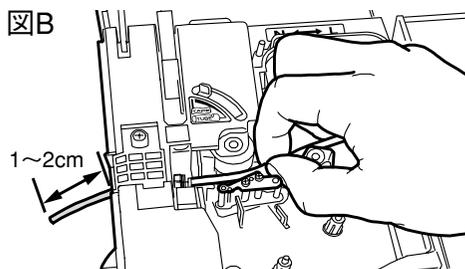
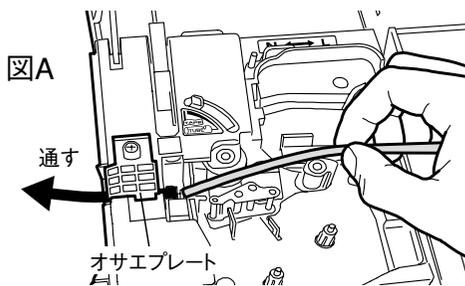
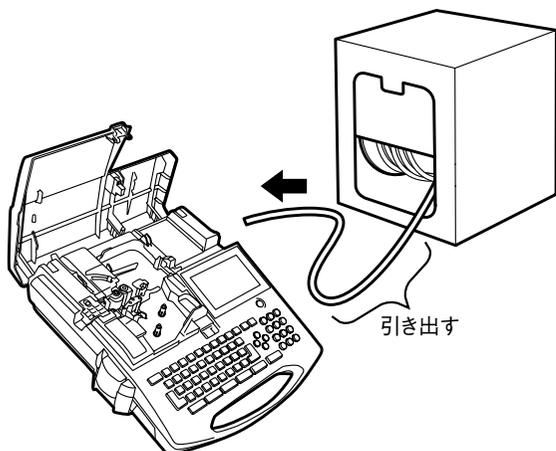
2. 緑色のヘッドリリースレバーを奥側にたおします。



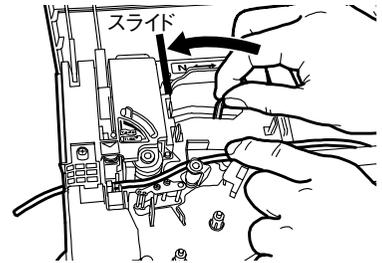
3. 銀色の切り替えレバーを図のように止まるまでスライドします。



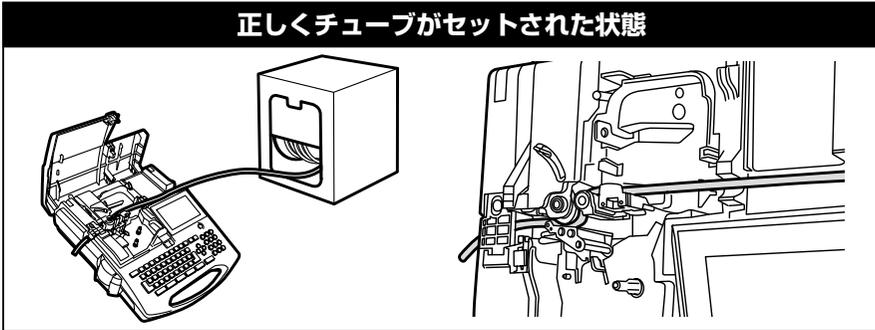
4. チューブを必要な長さに引き出した上でチューブをオサエプレートの下に通し (図A)、先端を本体より1~2cm出します (図B)。



5. チューブが浮かないように、**TUBE** シール付近を軽く押さえながら、チューブ先端をつまんで軽く引っ張り、チューブの途中のたるみを取りのぞいてから銀色の切り替えレバーを図のように止まるまでスライドさせます。



正しくチューブがセットされた状態



メモ

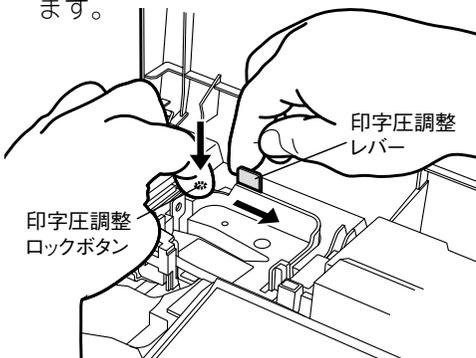
小径のチューブ（φ2.5）に印字する場合、チューブによってはハーフカット時の一時停止時に、インクリボンとのこすれにより汚れがつくことがあります。その時は、本機の印字圧調整レバーを弱にセットして使用してください。

※太径使用時や、低温時に印字圧調整レバーが弱に設定してあると、印字カスレや印字欠けをすることがあります。そのような時には通常に戻して使用してください。

印字圧調整レバー操作時はヘッドリリースレバーを中央位置にしてから操作してください。手前または奥にしたまま無理に操作すると故障の原因になります。

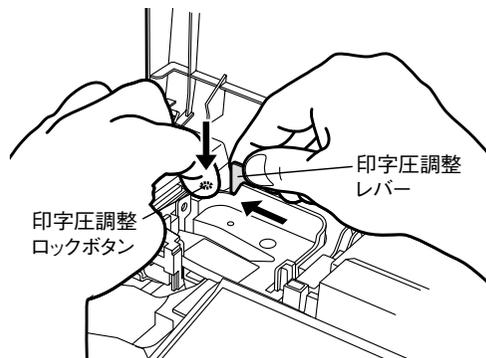
弱にセットする

- 印字圧調整ロックボタンを押したまま、印字圧調整レバーを右にスライドさせます。



通常に戻す

- 印字圧調整ロックボタンを押したまま印字圧調整レバーを戻します。



⚠ 注意

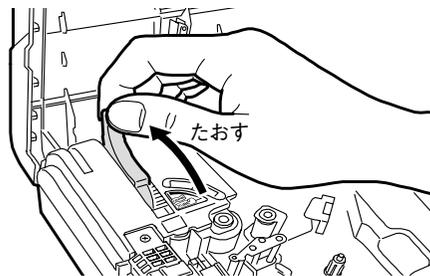
印字圧調整レバーを操作する時には、手をはさまないように注意してください。

3-2-2 チューブのはずしかた

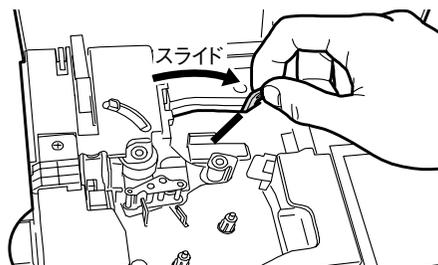
1. オレンジ色のツマミを引き上げながら、カセットカバーを開きます。



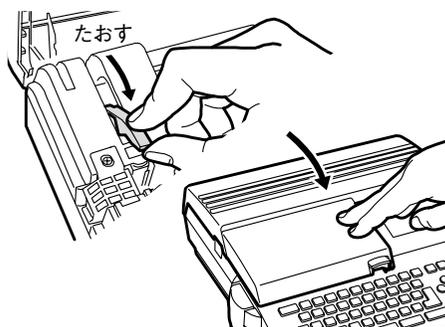
2. 緑色のヘッドリリースレバーを奥側にたおします。



3. 銀色の切り替えレバーを図の位置にスライドさせ、チューブをはずします。



4. 緑色のヘッドリリースレバーを手前にたおした後でカセットカバーをしっかりと閉じます。



3-3 テープカセットのセットのしかた

3-3-1 テープカセットをセットする

1. オレンジ色のつまみを引き上げながら、カセットカバーを開きます。



2. 緑色のヘッドリリースレバーを奥側にたおします。



3. 銀色の切り替えレバーを図の位置にスライドします。



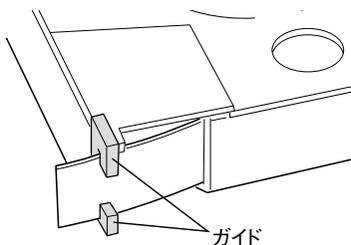
4. テープカセットを用意します。

お願い

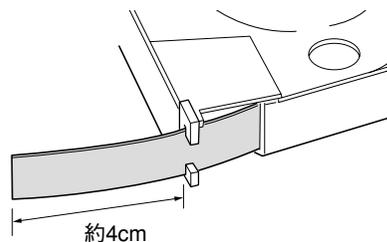
- テープカセットを本機にセットする前に下図の様にテープを準備してください。

テープの準備

- a テープ両側がテープガイドの中に入っていることを確認してください。

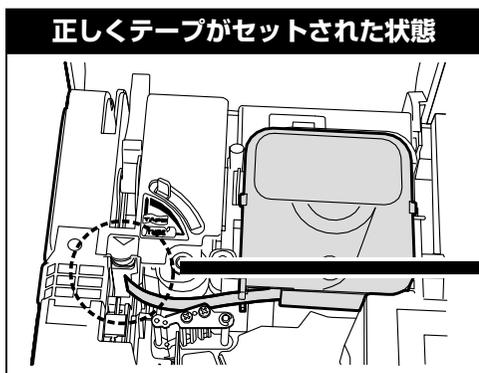


- b テープ先端を約4cm引き出してください。



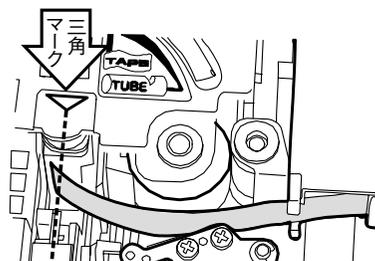
注意：テープ先端が折れているものはハサミなどで切ってからセットしてください。

5. 図の位置にセットします。



お願い

- テープ先端が三角マークを超えた位置にあることを確認してください。
(超えていないと送り不良の原因になります)

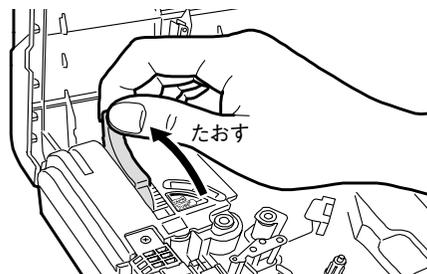


3-3-2 テープのはずしかた

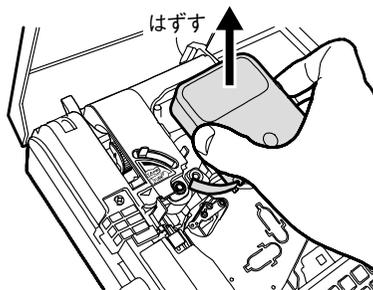
1. オレンジ色のツマミを引き上げながら、カセットカバーを開きます。



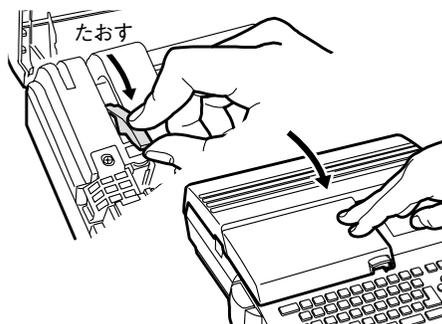
2. 緑色のヘッドリリースレバーを奥側にたおします。



3. テープカセットをはずします。



4. 緑色のヘッドリリースレバーを手前にたおした後でカセットカバーをしっかりと閉じます。

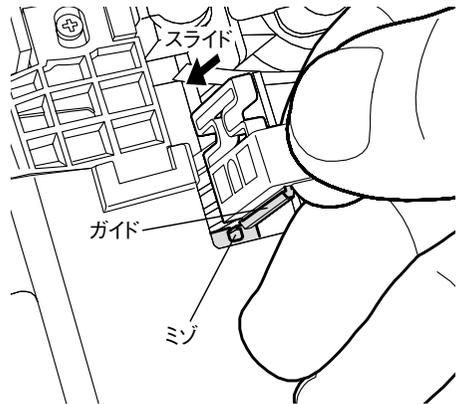
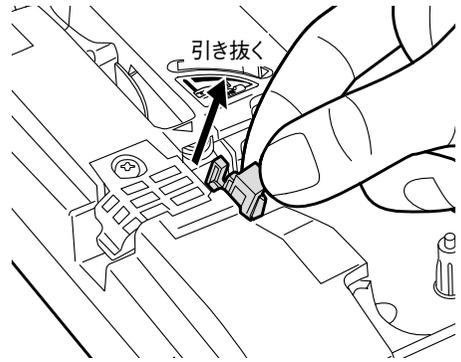


第3章
テープのはずしかた

3-4 ハーフカッタ交換のしかた

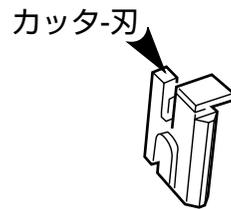
●標準でセットされているキイロのハーフカッタは、テープのハーフカットとチューブのハーフカットの両方に使用できます。チューブの場合気温や材質により切れ過ぎることがあります。そのような時はハーフカッタ深さ調整レバーを操作してカット深さを調整してから使用してください。

1. オレンジ色のつまみを引き上げながら、カセットカバーを開きます。
2. キイロのハーフカッタを上方に引き抜きます。
3. 新しいハーフカッタを用意します。
4. ハーフカッタのガイドと本機のミゾを合わせスライドさせながら、突きあたるまで挿入します。



これで交換は完了です

⚠ 注意	
	カッタ-刃には絶対手を触れないで下さい。



※テープのハーフカットを行う場合は、ハーフカッタ深さ調整レバーを必ず **TAPE** 側にセットして使用してください。レバーの位置が途中にあるとハーフカット出来ない場合があります。



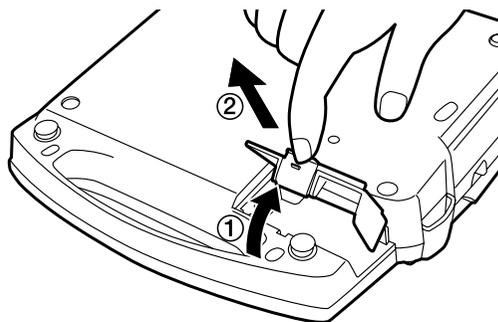
3-5 USBメモリのセットのしかた

⚠ 注意

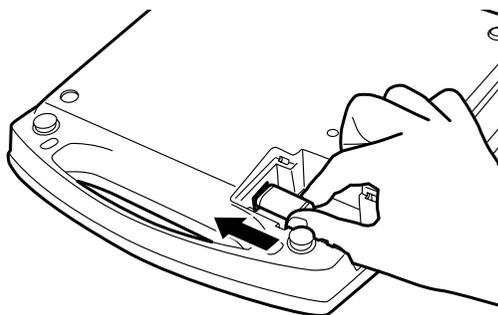
USBメモリ内のデータを保護するため、装脱着は本書の指示に従ってください。特にUSBメモリ取り外しの操作をせずに、取り外した場合はデータを破損する場合がありますので十分ご注意ください。

(セットのしかた)

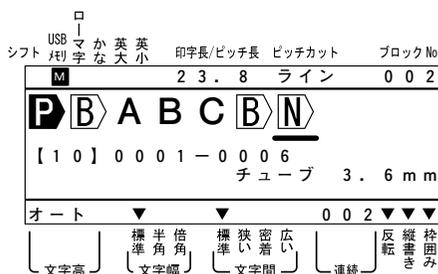
1. 本体裏面のUSBメモリカバーを外します。
※カバーを上を開けすぎると、ツメが破損するおそれがあります。
カバーが開いたら手前に引いて外してください。



2. USBメモリを、向きに気をつけて装着します。



3. USBメモリカバーを閉め、本体電源を入れます。
4. 画面左上のメモリインジケータが点灯します。本書123ページに従って、ファイルを呼び出します。



メモ

☆使用できるUSBメモリには、以下の条件があります。

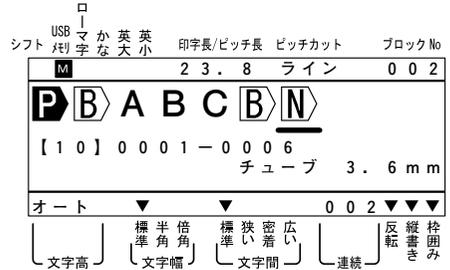
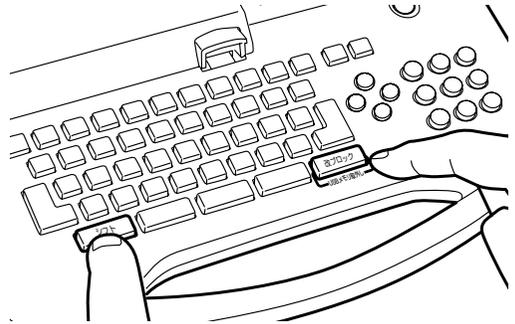
- 1) セキュリティ機能の無いもの
- 2) 外形が、L65mm×D22mm×H10mm以内のもの（本機にセットできるサイズです。）

☆パソコンから本機にセットしたUSBメモリに直接データを保存したり、呼び出したりすることはできません。

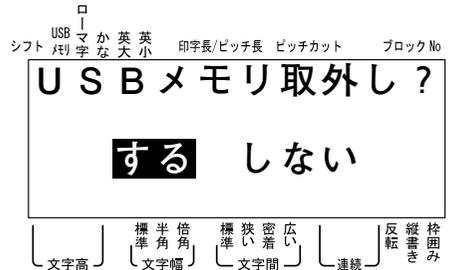
☆一度、USBメモリを外すキー操作をした後、再度読み込み可能とするためには、USBメモリを一度外してから、再度装着してください。

(取り外しかた)

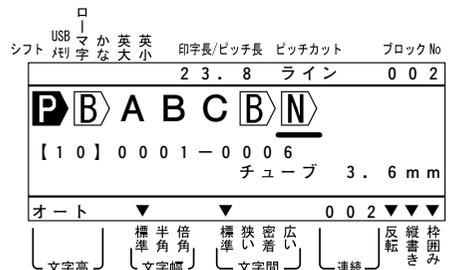
1. **シフト** を押してから **改ブロック** を押し
ます。



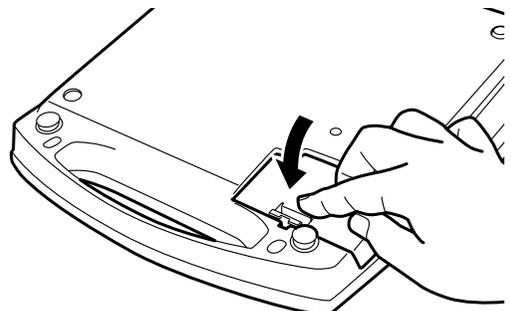
2. 「する」 を選択し、 **確定** を押し
ます。



3. 画面左上のUSBメモリインジケータが消灯
していることを確認します。



4. 本体裏面のUSBメモリカバーを開けて、
USBメモリを取り外します。
取り外し後、USBメモリカバーを閉めます。



× 毛

第 4 章

基 本 操 作

- 4-1 チューブに印刷する38
- 4-2 端子記名板に直接印刷する44
- 4-3 デバイスラベル用にテープ印刷する48
- 4-4 社名ラベルをテープ印刷する55

第4章 基本操作

4-1 チューブに印刷する

(ここがポイント)

・本機で印字できる塩ビ製チューブ内径はφ2.5mm～φ6.5mmまでの肉厚0.4mmです。熱収縮チューブを使用する場合は、指定の「スミチューブ®B2」のサイズはφ2.7、3.5、5.2をご使用ください。

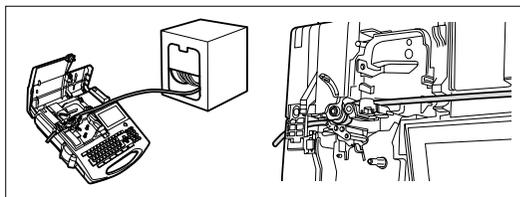
※使用出来るリボンカセットは黒（環境対応黒リボンも含む）と熱収縮チューブ用の白リボンです。

・使用する場所は15℃以上となるようにしてください。寒い場所では、印字がカスレやすくなります。

・チューブは専用チューブのご使用を推奨しますが、それ以外をご使用の場合は、次の点にご注意ください。

※チューブの引き出しに負荷がかからないよう、本機横にチューブを十分にたるませておく。

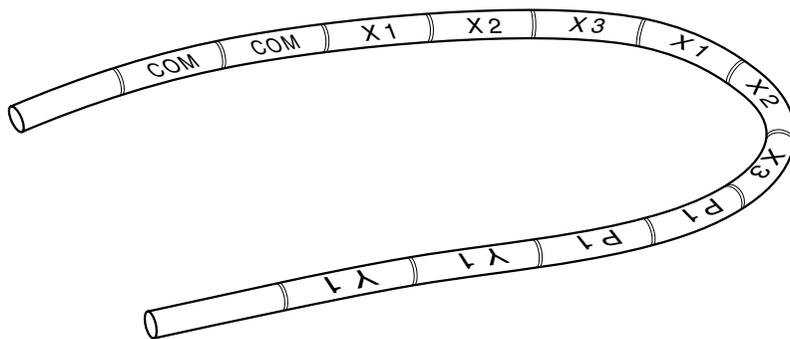
※その際、チューブにねじれが無いようにする。（最適な状態は、リールを使用する、またはある程度の長さでチューブを切ってお使いいただくこととなります。）



・品質には万全を期していますが、ご使用になる場所の気温やチューブの状態、種類によっては印字がカスレる場合があります。

・チューブへの印字は、1ブロックあたりセンター位置から最大左右に1mm程度ずれることがあります。チューブ自体の性質によるもので本機の異常ではありません。

次のようにマークチューブを作ってみましょう。



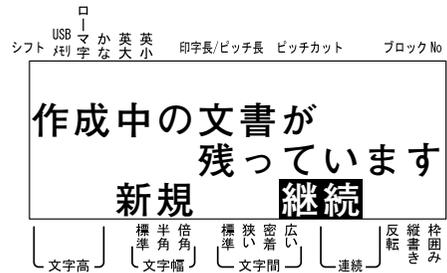
(作成条件)

- ・使用チューブ：内径φ3.6mmチューブ
この例では、マックス純正チューブ LM-TU436L を使用した場合とします。
- ・ピッチ長さ（1つ1つのブロックのチューブ長さ）：20mm

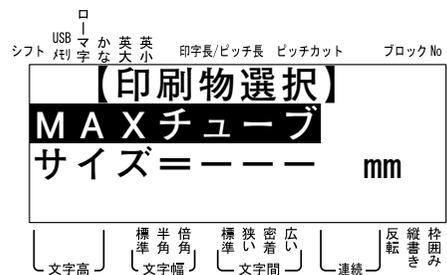
①本機にインクリボンカセットとチューブをセットします。

②電源をONにします。

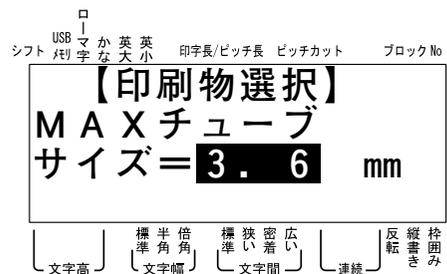
③作成中の文書がある場合は、**⏪**(または**⏩**)を押して「新規」を選択し、**確定**を押します。



④印刷物を選択します。ここでは「MAXチューブ」を選択し、**⏩**を押します。



⑤**⏩**を1回押して、サイズ「3.6mm」を選択します。



⑥**確定**を押して、印刷物を確定します。

参照

☆「インクリボンカセットのセット」26ページ、「チューブのセット」28ページ

メモ

☆印刷物選択の上段は、印刷物の種類を示しています。**⏪**または**⏩**を押すと、次のように切り替わります。

MAXチューブ⇔非塩ビチューブ⇔一般チューブ⇔収縮チューブ⇔テープ⇔記名板0.3mm厚⇔記名板0.5mm厚

☆収縮チューブを使用するときは、チューブ色に合わせて、白色インクリボンのLM-IR340W、または環境対応リボン黒 LM-IR340BPをお使いください。

☆記名板は、LM-390TまたはLM-390T/Wのみでご使用いただけます。

⑦画面左上の入力モードインジケータが「英大」になっていることを確認します。

異なる場合は、 を押して切り替えます。

⑧画面右下の「連続」インジケータが「002」になっていることを確認します。

異なる場合は、 を押して、2回に設定します。

⑨最初のブロックのマーキング内容を入力します。

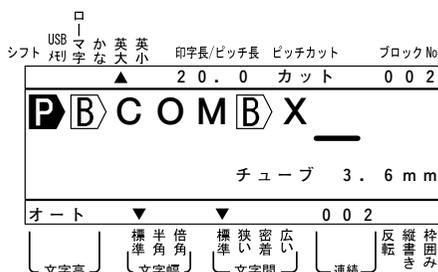
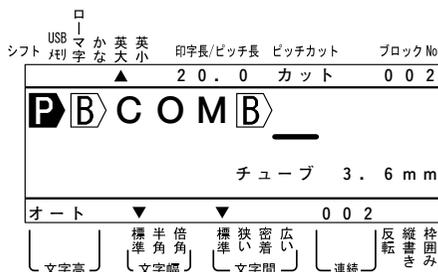
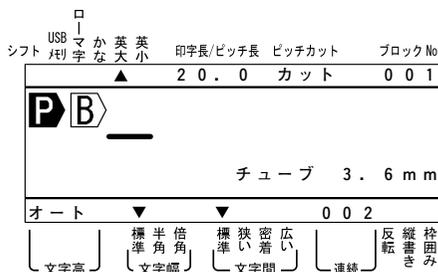
[C] [O] [M] と押して、 を押します。
右上のブロックNo.が002になります。

⑩次のブロックのマーキング内容を入力します。
[X] を押します。

次の文字は1~3の連番としたいので、次のように入力します。

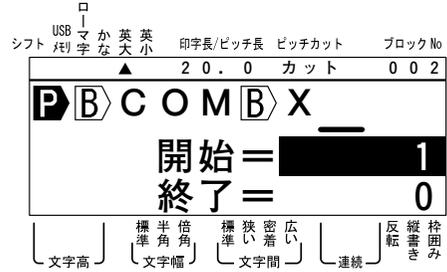
⑪ を押します。

⑫ を押して「10進数」を選択し を押します。

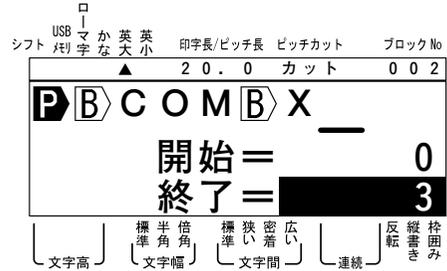


☆印刷物の変更は後からでもできます。 + + で変更もできます。

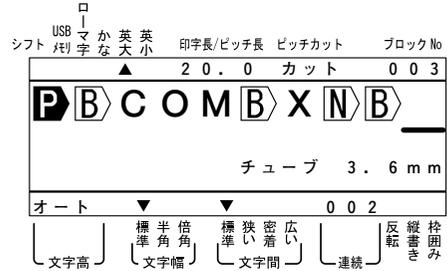
- ⑬ 1～3までの連番なので、「開始」は [1] と入力し、 を押します。



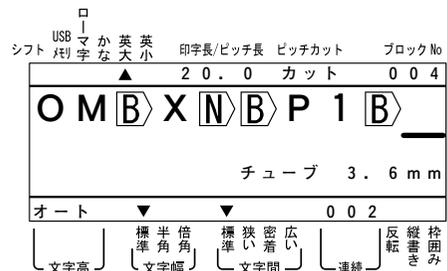
- ⑭ 「終了」は [3] と入力し、 を押します。



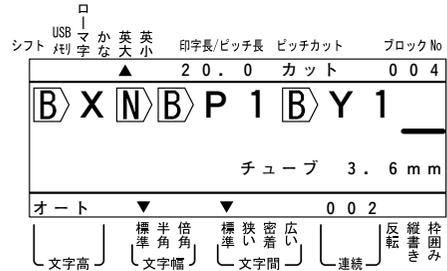
- ⑮ 画面には連番設定を示す  が表示されます。 を押します。



- ⑯ 次のブロックの入力です。[P]、[1] と入力し、 を押します。



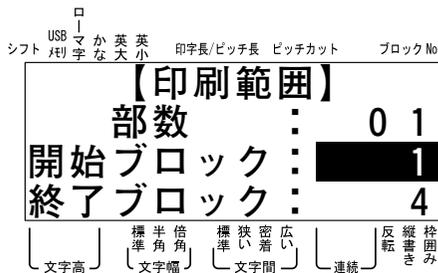
- ⑰ 次のブロックを入力します。
[Y]、[1] と入力します。



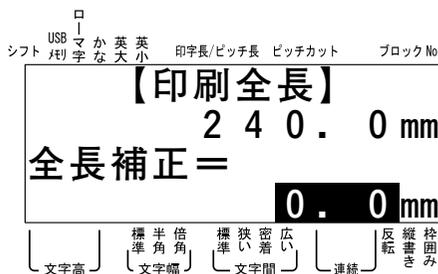
☆入力画面に「」が表示され、ここにカーソルがあるときは入力文字の下に、連番の設定内容「[10] 1-3」が表示されます。この表示の意味は、
[選択した10進数] (開始数値) - (終了数値)
です。カーソルが「」の下にある場合のみ表示されます。

以上で入力は終了です。
 続けて印刷してみましょう。

⑱  を押します。



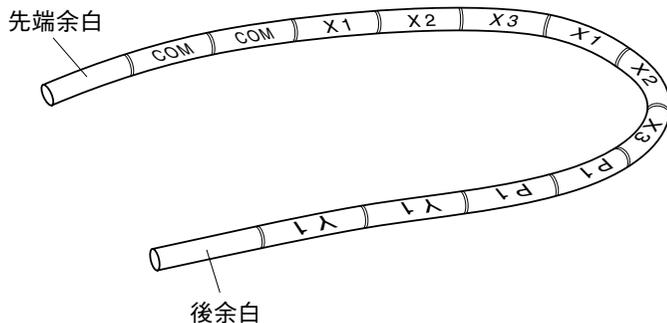
⑲ 画面を確認し、 を押します。



⑳ 続けて  を押します。印刷を開始します。

㉑ 印刷が終了したらカッタボタン  を押し、チューブをカットします。

印刷されたチューブには、下図のような先端余白と後余白がつきます。
 ※オプション設定の空送りをする設定になっていると先端余白が長くなります。

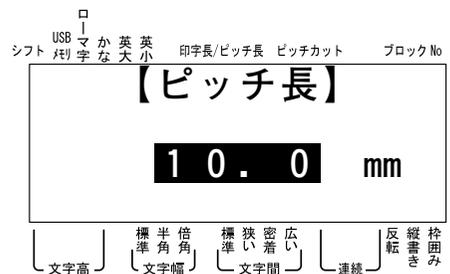
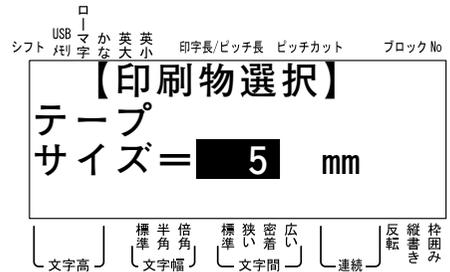


☆途中で印刷を中止したいときは、 を押してください。

- ⑳ チューブ印刷用に入力したデータを、(テープ印刷用)として利用する場合には、**シフト** キーを押してから **印刷物 取消** キーを押します。

- ㉓ 印刷物選択画面で **Ⓚ** または **Ⓛ** キーでテープを表示選択します。**Ⓜ** を押してサイズを選択し、**Ⓚ** または **Ⓛ** キーでテープ幅を選択します。**確定** を押します。

- ㉔ チューブ印刷の時にピッチモードで印刷すると、テープ印刷の時もピッチ長の再設定画面が表示されます。ピッチ長を設定し **確定** を押します。

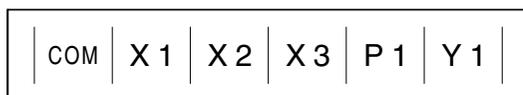


4-2 端子記名板に直接印刷する

(ここがポイント)

- ・専用の記名板（0.5mm厚、0.3mm厚。塩ビ製）または市販の塩ビ製記名板に、専用アタッチメント（品番：LM-KA390）を使用して直接印字できます。
- ・従来機種のように、専用テープに印刷して端子記名板に貼り付けて使うこともできます。
- ・使用できるインクリボンカセットは、LM-IR340Bのみです。
旧モデルのインクリボンカセットはご使用になれませんのでご注意ください。
- ・設定できるピッチ長は、
記名板：2.5mm～60mm
テープ：4mm～60mm 　　です。
- ・記名板の切断には市販のハサミを使用してください。本体搭載のカッターボタン（全カット）を使用すると故障の原因となります。

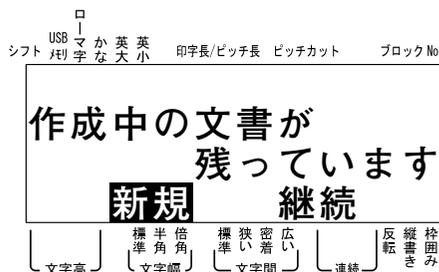
このサンプルを作ってみましょう



- ・使用する記名板：LM-KA485（8.5mm幅、0.5mm厚）
- ・使用するインクリボンカセット：LM-IR340B
- ・ピッチ長：10mm

- ①インクリボンカセットと専用アタッチメント、記名板をセットします。詳しいセット方法はアタッチメントに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ②本体の電源をONにします。

- ③ **Ⓚ**を押して「新規」を選択し、**確定**を押します。
前に操作した時に入力した文書が無い場合は、この画面は表示されません。



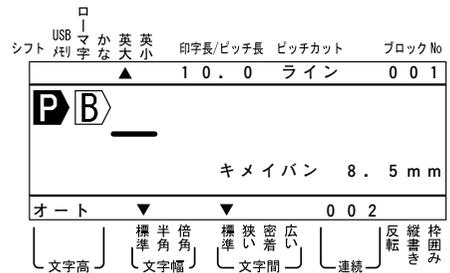
- ④ **Ⓚ** (または **Ⓜ**) を押して「記名板0.5mm厚」を選択し、**Ⓟ** を押します。



- ⑤ **Ⓚ** (または **Ⓜ**) を押して「8.5mm」を選択し、**確定** を押します。



- ⑥ 入力画面になります。[C] [O] [M] と入力し、**改ブロック** を押します。



☆印刷物選択の上段は、印刷物の種類を示しています。**Ⓚ** または **Ⓜ** を押すと、次のように切り替わります。

MAXチューブ⇔非塩ビチューブ⇔一般チューブ⇔収縮チューブ⇔テープ⇔記名板0.3mm厚⇔記名板0.5mm厚

☆記名板は、LM-390TまたはLM-390T/Wのみでご使用いただけます。

☆LM-340TまたはLM-340T/Wご使用の場合は、記名板には直接印字できません。

テープに印字し記名板に貼ってお使いください。

テープに印字する場合は、手順④でテープを選択してください。

⑦第2ブロックは連番の入力です。まず、[X]と入力します。

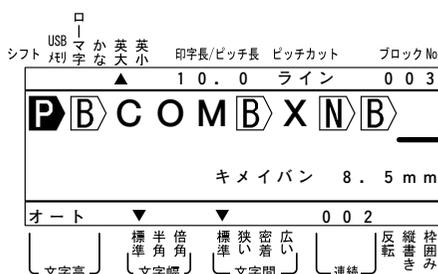
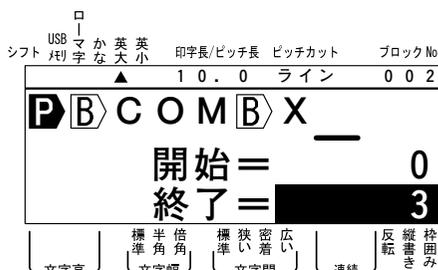
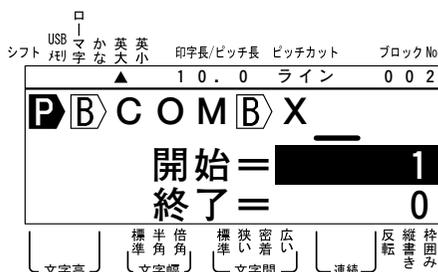
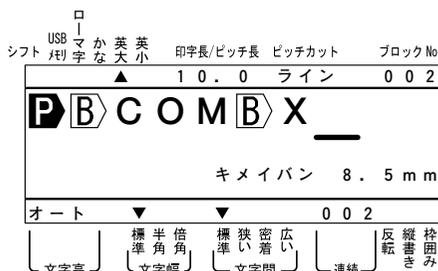
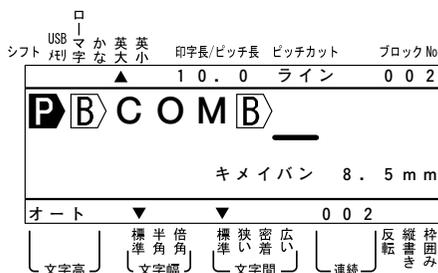
⑧続けて、**連番** を押します。

⑨「連番種類」は10進数で良いので **確定** を押します。

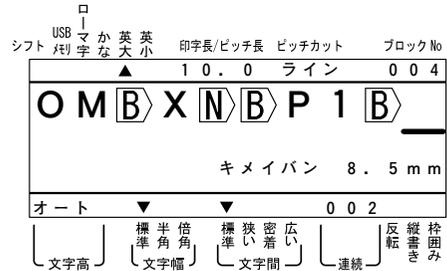
⑩1～3までの連番なので、「開始」は[1]と入力し、**OK** を押します。

⑪「終了」は[3]と入力し、**確定** を押します。

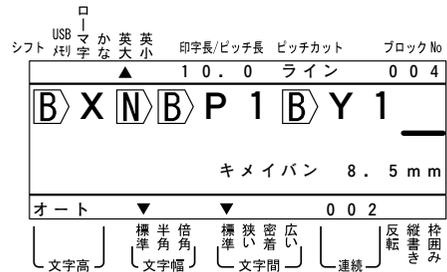
⑫画面には連番設定を示す **N** が表示されます。**改ブロック** を押します。



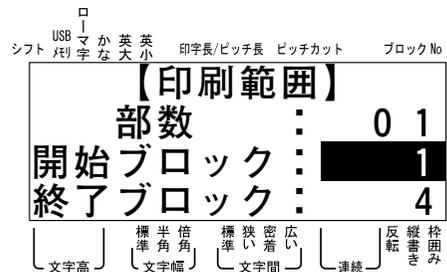
⑬次のブロックの入力です。[P] [1] と入力し、**改ブロック** を押します。



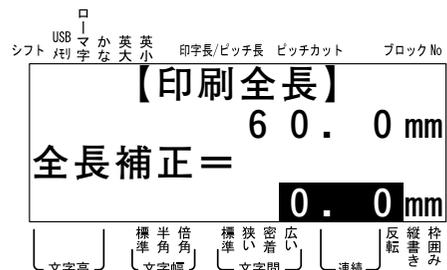
⑭同様に次のブロックを入力します。[Y] [1] と入力します。



⑮以上で入力終了です。印刷してみましょう。



⑯入力したブロックすべてを印刷するので **確定** を押します。



⑰そのまま **確定** を押します。印刷を開始します。

⑱印刷が終了したら、市販のハサミで記名板をカットしてください。

参照

- ☆ 「2-6 用語の説明」 23ページ
- ☆ 「7-11 印刷する」 111ページ

メモ

- ☆ テープを印字した場合は、✂️ を押し、テープをカットします。
- ☆ 「印刷範囲」で表示される部数は、同じものを指定された部数で印刷します。
- ☆ 「印刷範囲」で表示される開始・終了番号は入力したブロック番号です。初期値は入力中の最終ブロックまでとなっています。
- ☆ 「印刷全長」画面では全体の印刷長さと、補正したい場合の補正值が表示されます。

4-3 デバイスラベル用にテープ印刷する

(ここがポイント)

- ・専用テープに印刷します。
- ・使用できるインクリボンカセットは、LM-IR340B（黒）のみです。
- ・使用できるテープカセットは、LM-TP312W（12mm幅・白）/TP309W（9mm幅・白）/TP305W（5mm幅・白）/TP309T（9mm幅・透明）/TP305T（5mm幅・透明）/TP312Y（12mm幅・黄）/TP309Y（9mm幅・黄）/TP305Y（5mm幅・黄）の8種類のみです。
- ・設定できるピッチ長は最小4mm～最長60mm（0.1mm単位）です。

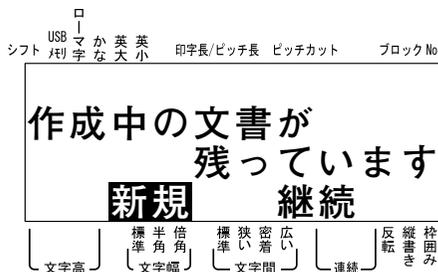
このサンプルを作ってみましょう

	R1 (A321)	R2 (A321)	R3 (A321)	S1 (A321)	S2 (A321)
--	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

- ・使用するテープ：LM-TP312W（12mm幅・白）
- ・使用するインクリボンカセット：LM-IR340B（黒）
- ・ピッチ長 30mm

- ①インクリボンカセットとテープカセットをセットします。
- ②本体の電源をONにします。

- ③ （または ）を押して「新規」を選択し、を押します。



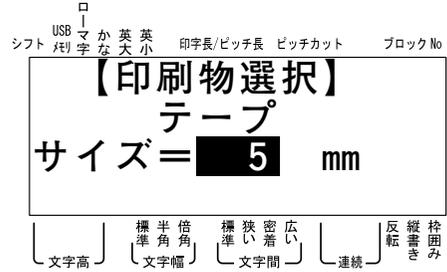
- ☆「3-1 インクリボンカセットのセットのしかた」26ページ
- 「3-3 テープカセットのセットのしかた」31ページ



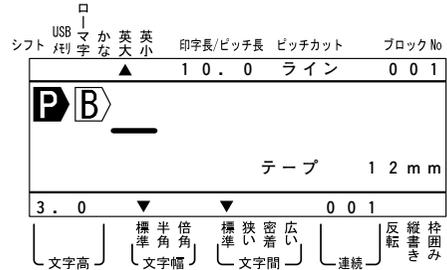
☆前に操作した時に入力した文書が無い場合は、③の画面は表示されません。

④画面が「印刷物選択」に変わります。

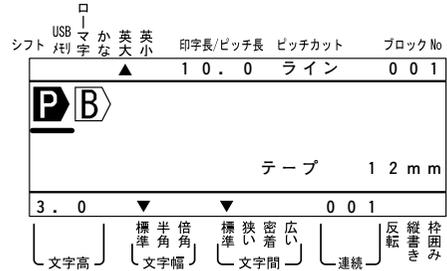
Ⓚ (または Ⓜ) を押して「テープ」を選択し、Ⓝ を押します。



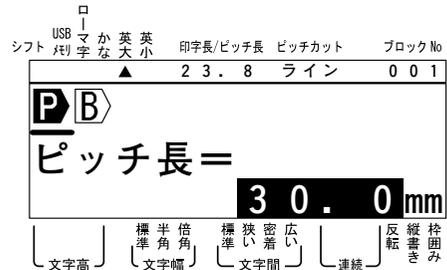
⑤ Ⓚ (または Ⓜ) を押して「12mm」を選択し、**確定** を押します。



⑥ Ⓚ を押して、先頭の **P** にカーソルをあわせます。



⑦ **ピッチ長** を押します。[3][0] と押して、「30mm」と表示されているのを確認し、**確定** を押します。

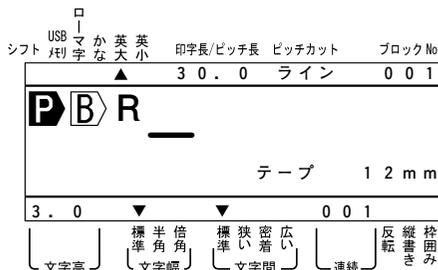
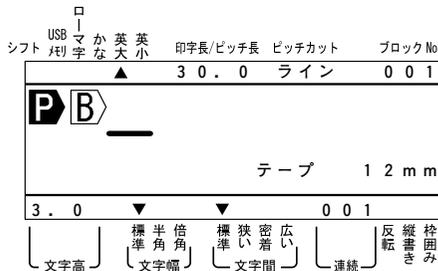


第4章 デバイスラベル用にテープ印刷する

メモ

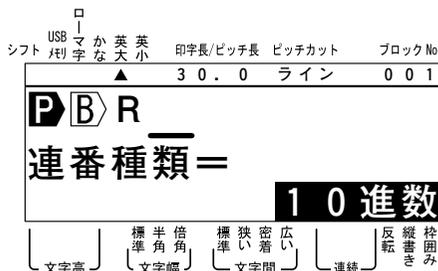
- ☆「印刷物選択」画面では印刷物の種類とそのサイズを選択します。上段が印刷物の種類、下段がサイズです。
- ☆上段・下段の切り替えは、Ⓜ (または Ⓝ) を押します。
- ☆印刷物選択の上段は、印刷物の種類を示しています。Ⓚ または Ⓜ を押すと、次のように切り替わります。
MAXチューブ⇔非塩ビチューブ⇔一般チューブ⇔収縮チューブ⇔テープ⇔記名板0.3mm厚⇔記名板0.5mm厚
- ☆印刷物選択の下段は、テープ幅を示しています。Ⓚ または Ⓜ を押すと、次のように切り替わります。
5⇔9⇔12⇔5

- ⑧入力画面になります。  を押して **B** の直後にカーソルを移動し [R] と入力します。

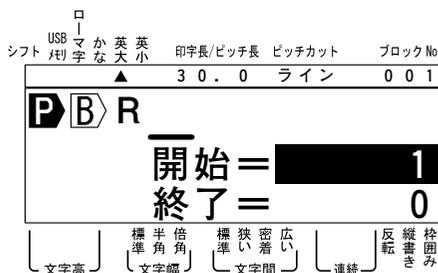


- ⑨続けて、 **連番** を押します。

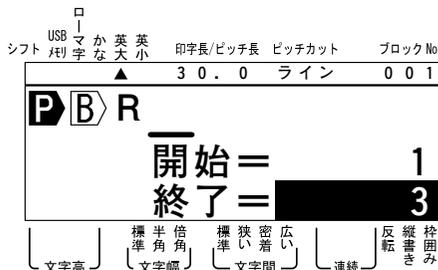
- ⑩「連番種類」は10進数を選択し、 **確定** を押します。



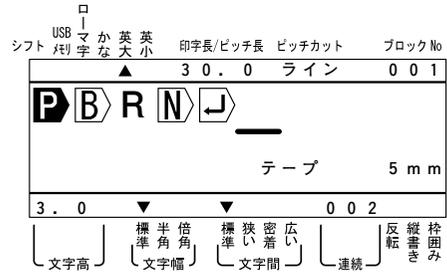
- ⑪1～3までの連番なので、「開始」は [1] と入力し、  を押します。



- ⑫「終了」は [3] と入力し、 **確定** を押します。



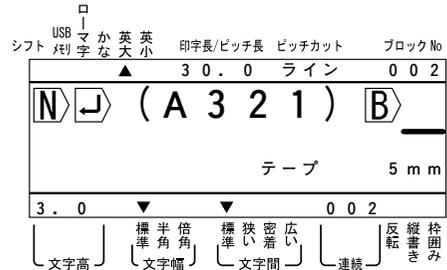
- ⑬画面には連番設定を示す **N** が表示されます。 を押します。



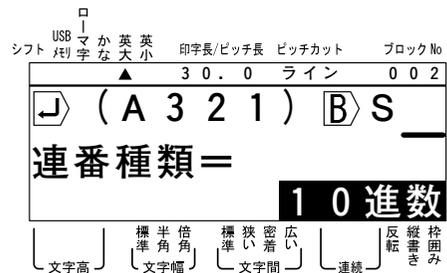
- ⑭ [() [A] [3] [2] [1] D] と2行目を入力し、**改ブロック** を押します。

「(」は **シフト** を押してから **Z** を押します。

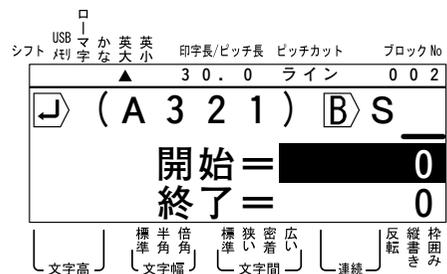
「)」は **シフト** を押してから **X** を押します。



- ⑮次のブロックの入力です。同様に [S] と入力し、**連番** を押します。



- ⑯「連番種類」は10進数を選択し、**確定** を押します。

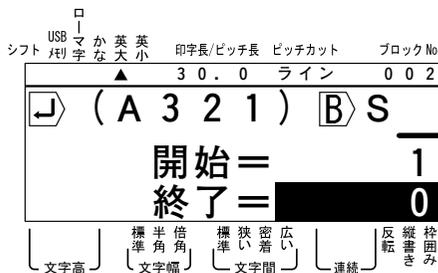


第4章 デバイスラベル用にテープ印刷する

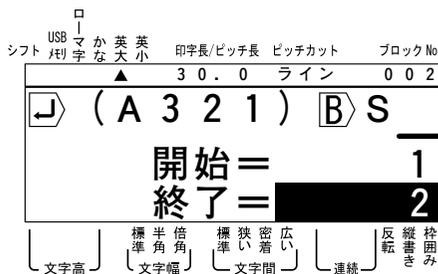


☆改行しての複数行印字は、チューブ印字においても設定できます。但し、チューブ径と文字サイズにより印字できない場合もあります。

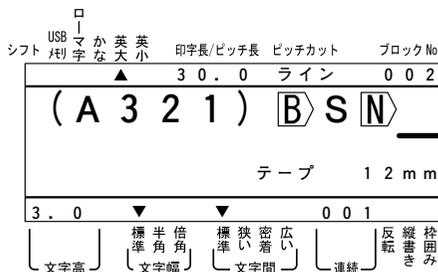
- ⑰ 1～2 までの連番なので、「開始」は [1] と入力し、 を押します。



- ⑱ 「終了」は [2] と入力し、 を押します。



- ⑲ 画面には連番設定を示す  が表示されます。 を押します。

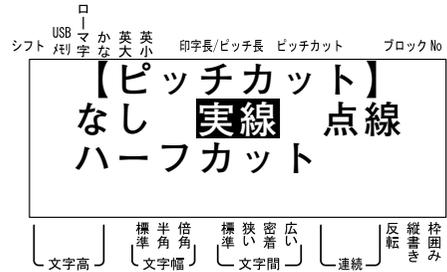


- ⑳ [() [A] [3] [2] [1] [)] と 2 行目を入力します。



- ⑳ 最後にブロック毎にハーフカットを入れる設定をします。 **シフト** キーを押してから

ピッチカット
ピッチ長 キーを押します。



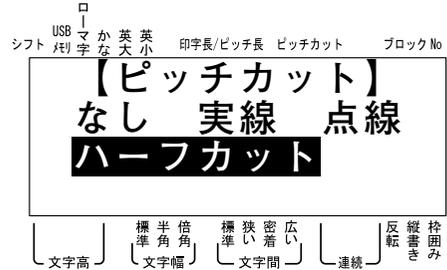
- ㉑ 「ピッチカット」設定画面で、**Enter** キーを押して「ハーフカット」を選択します。

- ㉒ **確定** キーを押し、ピッチカットの設定を終了します。

- ㉓ 以上で入力は終了です。

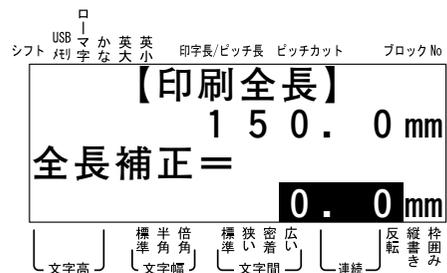
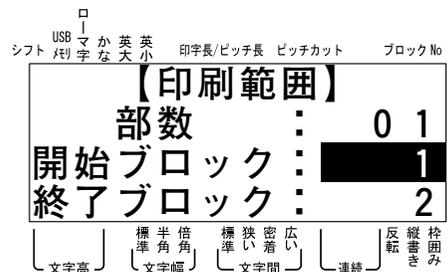
- ㉔ 印刷してみましょう。

印刷 を押します。



- ㉕ 入力したブロックすべてを印刷するので

確定 を押します。



☆ 「印刷範囲」で表示される部数は、入力されたブロック順番をそのままにグループとして指定された部数印刷する機能です。

⑳続けて  を押します。印刷を開始します。

㉑印刷が終了したらカッタボタン  を押し、テープをカットします。



- ☆ 「2-6 用語の説明」 23ページ
- ☆ 「7-11 印刷をする」 111ページ



- ☆ 「印刷範囲」で表示される開始・終了番号は入力したブロック番号です。初期値は入力中の最終ブロックまでとなっています。
- ☆ 「印刷全長」画面では全体の印刷長さ、補正したい場合の補正值が表示されます。

4-4 社名ラベルをテープ印刷する（ピッチ印刷しない場合）

（ここがポイント）

- ・専用テープに印刷します。
- ・使用できるインクリボンカセットは、LM-IR340B（黒）のみです。
- ・使用できるテープカセットは、LM-TP312W（12mm幅・白）/TP309W（9mm幅・白）/TP305W（5mm幅・白）/TP309T（9mm幅・透明）/TP305T（5mm幅・透明）/TP312Y（12mm幅・黄）/TP309Y（9mm幅・黄）/TP305Y（5mm幅・黄）/の8種類のみです。

（このサンプルを作ってみましょう）



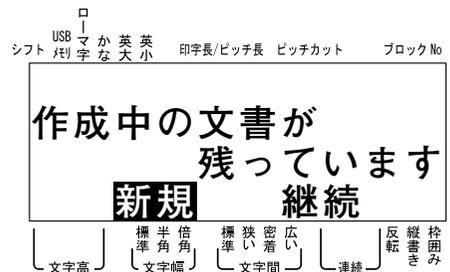
- ・使用するテープ：LM-TP312W（12mm幅・白）
- ・使用するインクリボンカセット：LM-IR340B

①インクリボンカセットとテープカセットをセットします。

②本体の電源をONにします。

③ **K** を押して「新規」を選択し、**確定** を押します。

確定

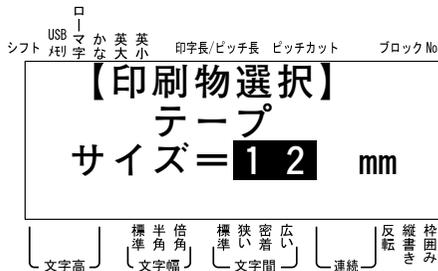


☆「3-1 インクリボンカセットのセット」26ページ、「3-3 テープカセットのセット」31ページ

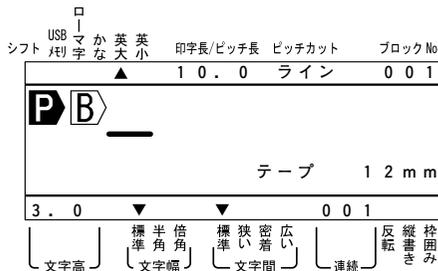


☆前に操作した時に入力した文書が無い場合は、上記③の画面は表示されません。

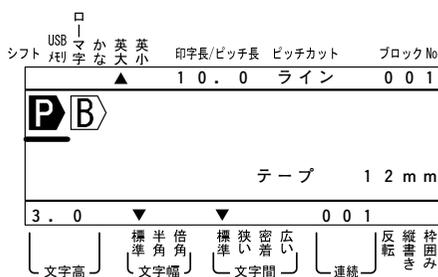
- ④ **Ⓚ** (または **Ⓜ**) を押して「テープ」を選択し、**Ⓟ** を押します。



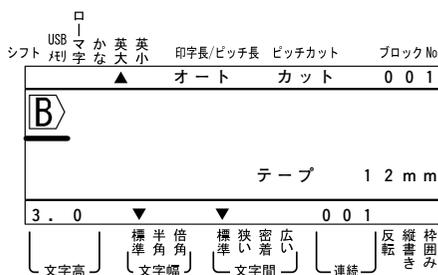
- ⑤ **Ⓚ** (または **Ⓜ**) を押して「12mm」を選択し、**確定** を押します。



- ⑥ 入力画面になります。**Ⓚ** を押して先頭の **P** にカーソルを合わせます。



- ⑦ **削除** を押します。



第4章 社名ラベルをテープ印刷する

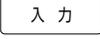
メモ

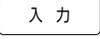
☆印刷物選択の上段は、印刷物の種類を示しています。**Ⓚ** または **Ⓜ** を押すと、次のように切り替わります。

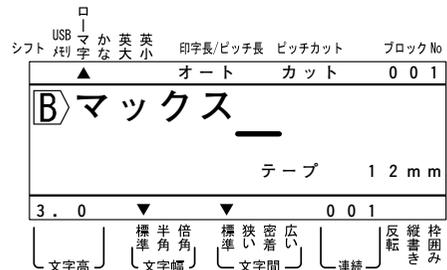
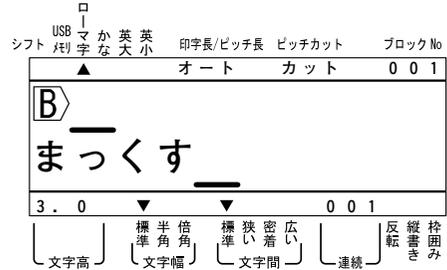
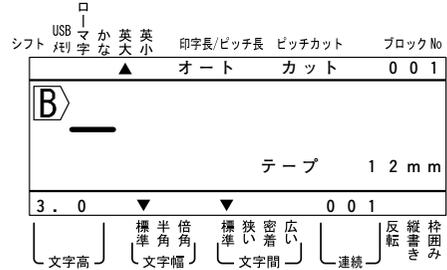
MAXチューブ⇔非塩ビチューブ⇔一般チューブ⇔収縮チューブ⇔テープ⇔記名板0.3mm厚⇔記名板0.5mm厚

☆上段・下段の切り替えは、**Ⓜ** (または **Ⓟ**) を押します。

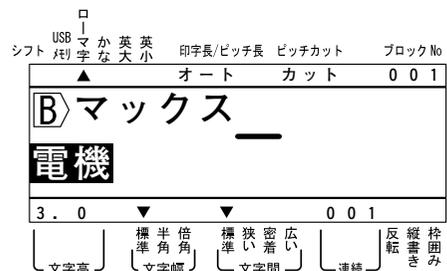
⑧  を押して **B** の直後にカーソルを移動します。

⑨  を押して、入力モードインジケータをローマ字にあわせます。

⑩ 「まっくす」と入力し、  を押してカタカナに変換し、  を押します。

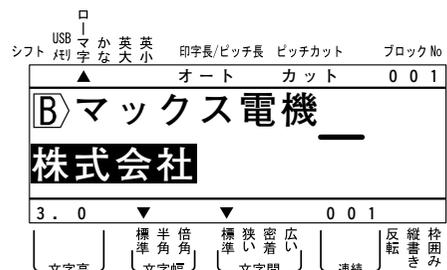


⑪ 「でんき」と入力し、  を数回押して「電機」にします。

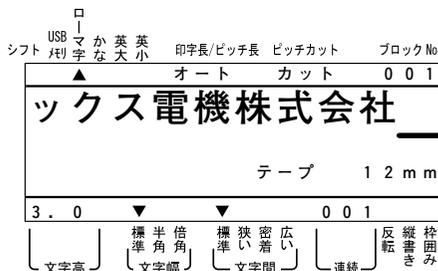


⑫  を押します。

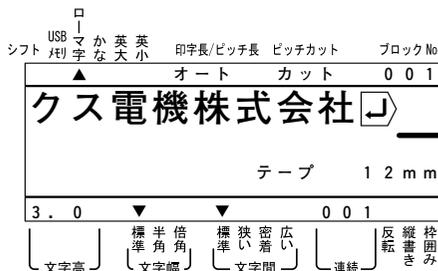
⑬ 「かぶしきがいしゃ」と入力し、  を押します。



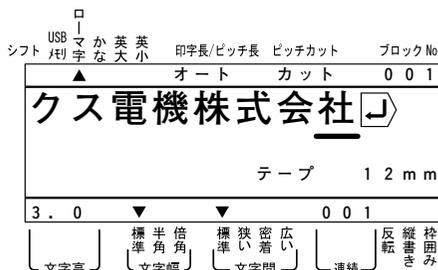
- ⑭ 「株式会社」に変換されたら、**確定** を押しします。



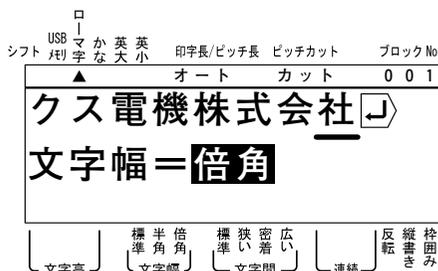
- ⑮ **改行** を押しします。



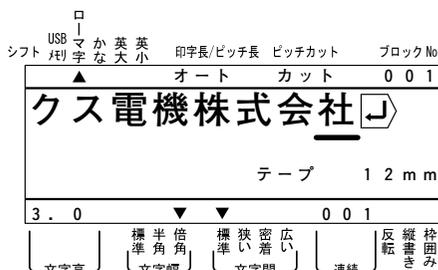
- ⑯ **⏪** を押しして **⏩** の前にカーソルを移動し **文字幅** を押しします。



- ⑰ **⏪** (または **⏩**) を押しして「倍角」を選択し **確定** を押しします。

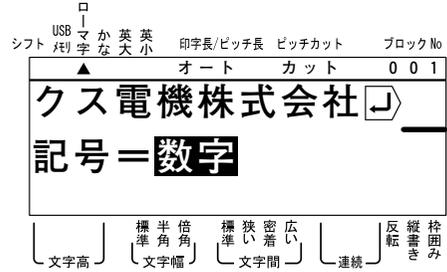


- ⑱ 画面下部の文字幅インジケータが倍角になります。

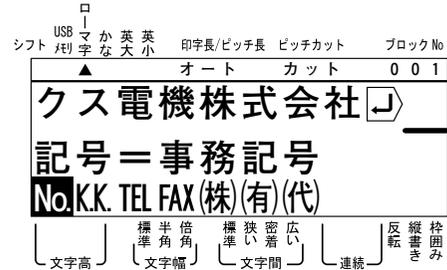


第4章
社名ラベルをテープ印刷する

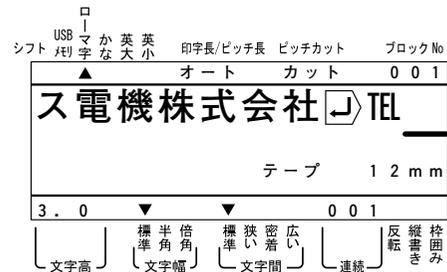
- ⑱  を押して  の後ろにカーソルを移動します。 を押してから を押します。



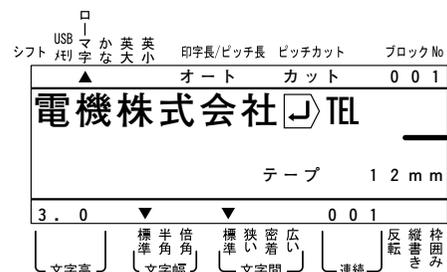
- ⑳  (または ) を押して「事務記号」を選択し、 を押します。



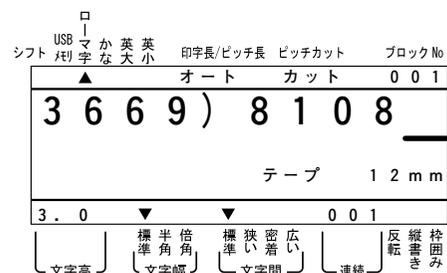
- ㉑  (または ) を押して「TEL」を選択し、 を押します。



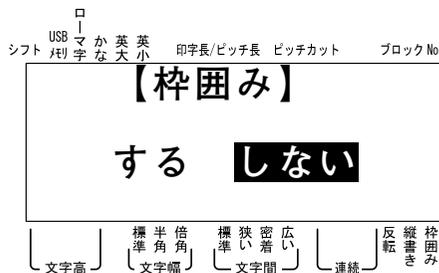
- ㉒ 1文字あけるので を押します。



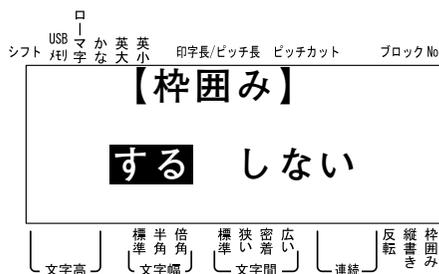
- ㉓ [0][3][()][3][6][6][9][)][8][1][0][8] と入力し、 を押します。



②4 枠囲みを設定するので、**シフト** を押してから **枠囲み連続** を押します。



②5 **K** を押して、「する」を選択し **確定** を押します。



②6 以上で入力は終了です。印刷してみましょう。

印刷 を押します。

②7 印刷が終了したらカットボタン **✂** を押し、テープをカットします。



☆「7-11 印刷する」111ページ



☆数字入力の時、入力モードを英大または英小にして入力しても結構です。この場合、長音は短いハイフンになります。また、直接確定入力となるので **確定** を押す必要はありません。

第 5 章

文字や記号を入力する

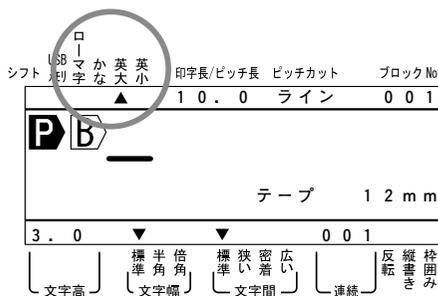
5-1 英数字入力のしかた	62
5-2 ローマ字入力のしかた	64
5-3 かな入力のしかた (かなめくり方式)	65
5-4 漢字変換のしかた (熟語変換)	67
5-5 単漢字変換のしかた	69
5-6 カタカナ変換のしかた	71
5-7 JISコード入力のしかた	73
5-8 記号入力のしかた	75

第5章 文字や記号を入力する

5-1 英数字入力のかた

アルファベット、数字を入力します。

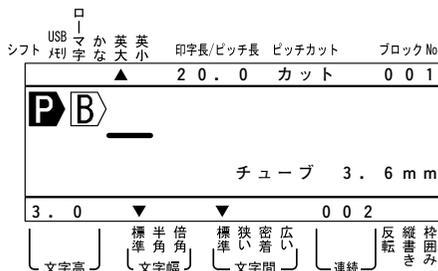
入力 を押すと、画面左上の入力インジケータが次のように切り替わります。
 英大→英小→ローマ字→かな→英大・・・



「英大」が選ばれているときは、押したアルファベットキーの大文字が入力されます。
 「英小」が選ばれているときは、押したアルファベットキーの小文字が入力されます。

例1. 「SW」と入力してみます。(純正チューブ 3.6mmを選択しているときの例です)

① **入力** を数回押して、入力インジケータを「英大」にします。



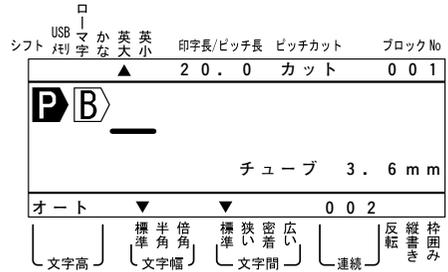
② [S] [W] と入力します。確定画面に直接文字が入力されます。



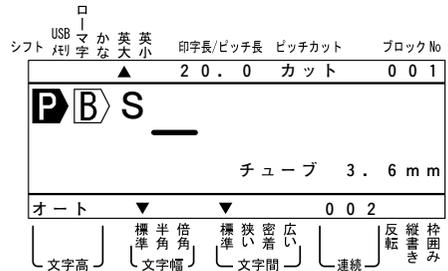
☆電源をONにした時の初期値は「英大」です。

例2. 「Sw-1」と入力してみます。(純正チューブ 3.6mmを選択しているときの例です。)

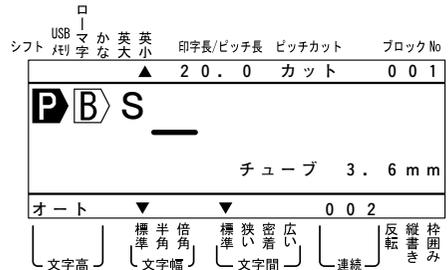
- ① **入カ** を数回押して、入力インジケータを「英大」にします。



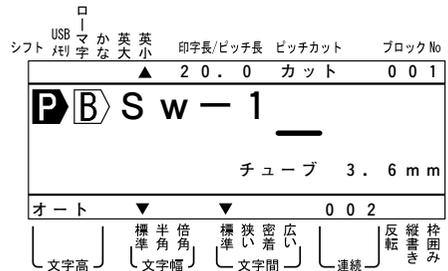
- ② [S] を入力します。



- ③ **入カ** を1回押して、入力インジケータを「英小」にします。



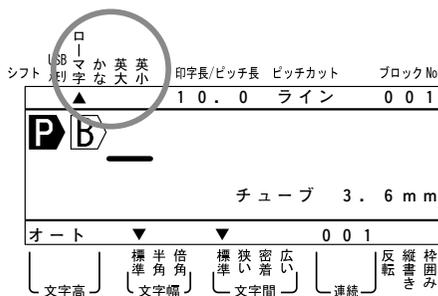
- ④続けて [w] [長音] [1] と入力します。



5-2 ローマ字入力のかた

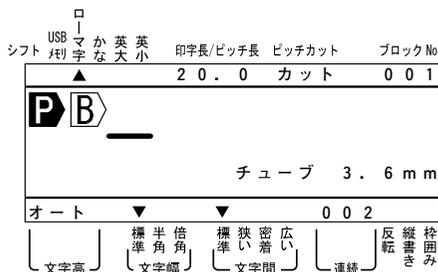
アルファベットキーを使って、ローマ字でひらがなを入力します。

入カ を押すと、画面左上の入力インジケータが次のように切り替わります。
 英大→英小→ローマ字→かな→英大・・・

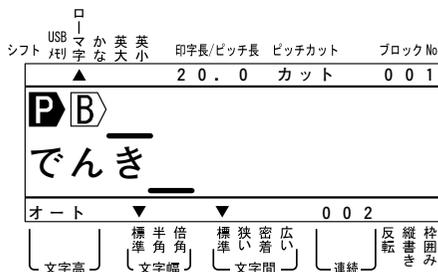


例. 「でんき」と入力してみます。(純正チューブ 3.6mmを選択しているときの例です。)

① **入カ** を数回押して、入力インジケータを「ローマ字」にします。

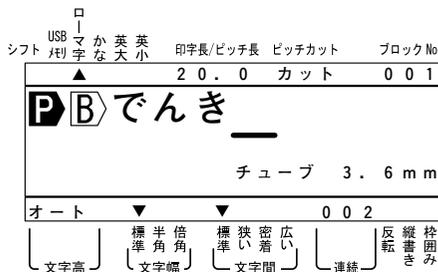


② [D] [E] [N] [N] [K] [I] と入力します。



③ よみ候補表示エリアに「でんき」と表示されます。

④ **確定** を押します。確定画面に文字が入力されます。



第5章 ローマ字入力のかた

参照

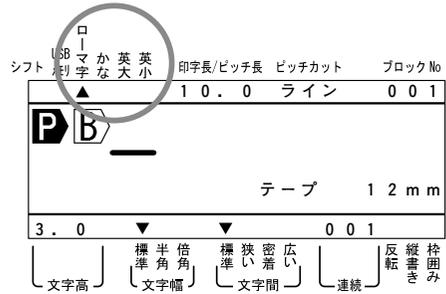
☆ 「5-4 漢字変換のかた」 67ページ

☆ **削除** や **BS** で1文字ずつ入力した文字を削除できます。「6 入力した文字を消去する、設定を初期化する」 78ページ

5-3 かな入力のかた（かなめくり方式）

かなめくりキーを使って、ひらがなを入力します。

入カ を押すと、画面左上の入力インジケータが次のように切り替わります。
 英大→英小→ローマ字→かな→英大・・・



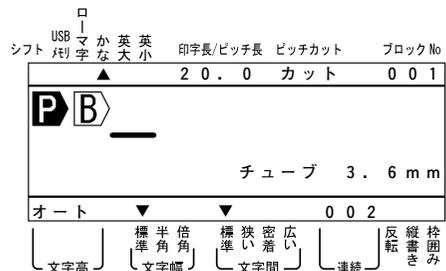
各キーに入っている文字は次の通りです。

（かな入力規則表）

あ行	あ→い→う→え→お→あ→い→う→え→お→あ
か行	か→き→く→け→こ→カ→ケ→か
さ行	さ→し→す→せ→そ→さ
た行	た→ち→つ→て→と→っ→た
な行	な→に→ぬ→ね→の→な
は行	は→ひ→ふ→へ→ほ→は
ま行	ま→み→む→め→も→ま
や行	や→ゆ→よ→ゃ→ゆ→ょ→ゃ
ら行	ら→り→る→れ→ろ→ら
わ行ん	わ→を→ん→ゐ→ゑ→ヴ→わ→わ
が行	が→ぎ→ぐ→げ→ご→が
ざ行	ざ→じ→ず→ぜ→ぞ→ざ
だ行	だ→ぢ→づ→で→ど→だ
ば行	ば→び→ぶ→べ→ぼ→ば
ぱ行	ぱ→ぴ→ぷ→ぺ→ぽ→ぱ

例1. 「でんき」と入力してみます。（純正チューブ 3.6mmを選択しているときの例です。）

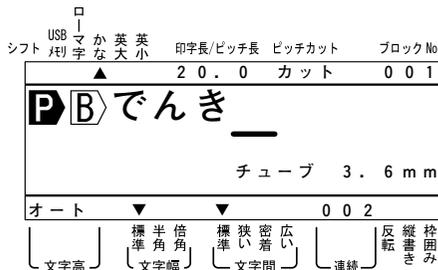
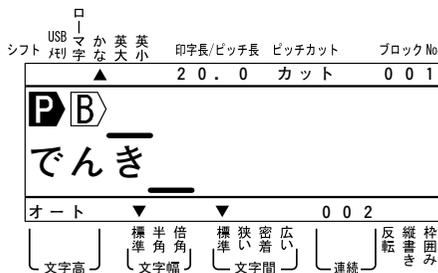
- ① **入カ** を数回押して、入力インジケータを「かな」にします。



② [だ行] を4回、[わ行ん] を3回、[か行] を2回押します。

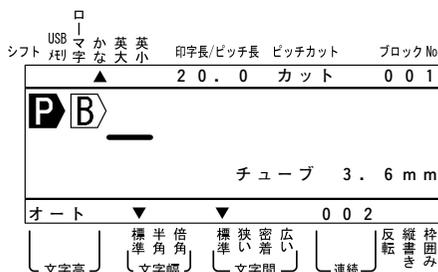
③ よみ候補表示エリアに「でんき」と表示されます。

④ **確定** を押します。確定画面に文字が入力されます。



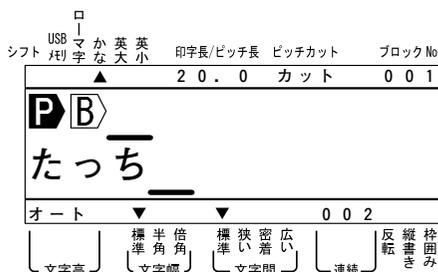
例2. 「タッチ」と入力してみます。

① **入力** を数回押して、入力インジケータを「かな」にします。

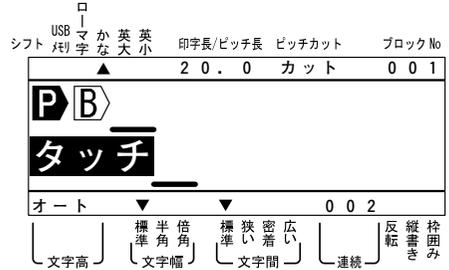


② [た行] を1回、**▶** を1回、[た行] を6回、**▶** を1回、[た行] を2回押します。

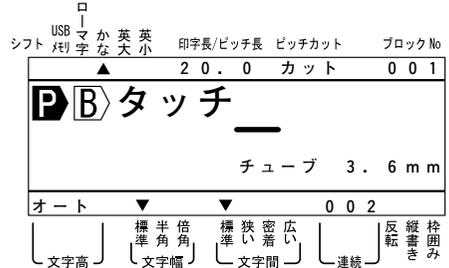
③ よみ表示エリアに「たち」と表示されます。



- ④ **入力** を押します。よみ候補が「タッチ」に変わります。



- ⑤ **確定** を押します。確定画面に文字が入力されます。

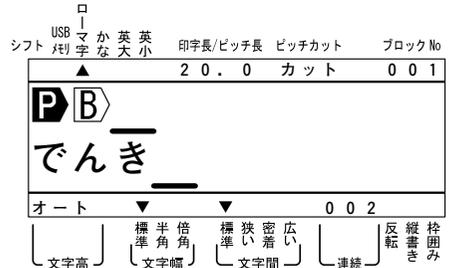


5-4 漢字変換のしかた（熟語変換）

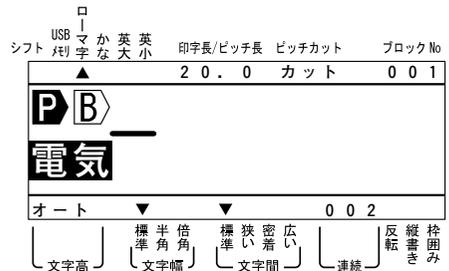
ローマ字入力やかな入力を入力した「よみ」を漢字に変換します。

例. 「電機」と入力してみます。

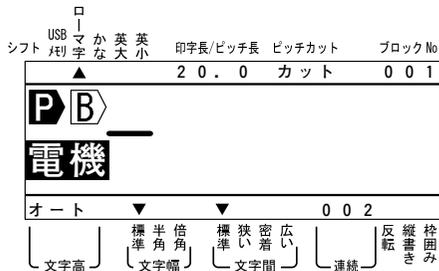
- ① 「でんき」とよみ表示エリアに入力します。



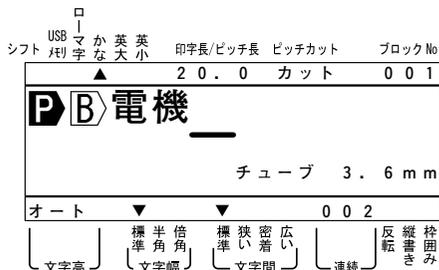
- ② **変換** を押します。



③もう3回 **変換** を押します。



④ **確定** を押します。確定画面に文字が入力されます。



(熟語変換でのキーの役割)

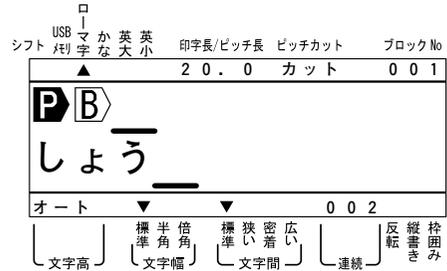
キー	役割
変換	よみを漢字に熟語変換します。(最長一致方式)
取消	漢字変換を中止します。変換前の場合はよみ入力をクリアします。
⏴	次の変換候補を表示します。
⏵	1つ前の変換候補を表示します。
⏴ (⏵)	変換するよみの範囲を短く (長く) します。

5-5 単漢字変換のしかた

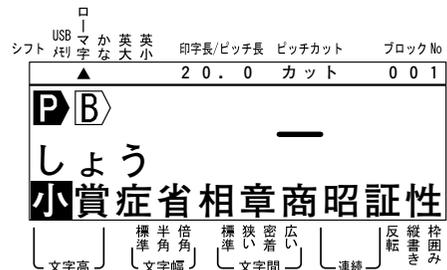
熟語変換で入力したい漢字にうまく変換できない場合は、よみを入力し **シフト** を押してから **変換** を押すと漢字の候補を一覧表示します。

例. 「硝」と入力してみます。

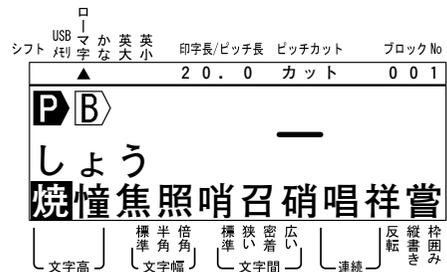
① 「しょう」とよみ表示エリアに入力します。



② **シフト** を押してから **変換** を押します。

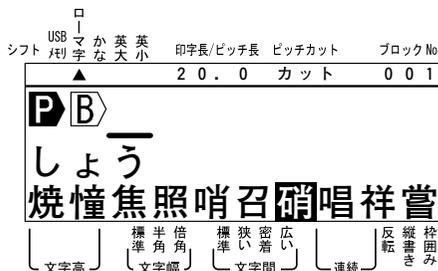


③ **▽** を4回押します。次々と候補が表示されます。

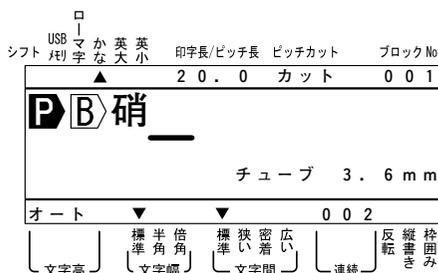


- ☆単漢字変換する場合は、漢字のよみを「音読み」で入力します。
- ☆単漢字変換では、よみに該当する漢字が無い場合はよみのみを表示します。

- ④  (または ) を押して、変換候補の「硝」の位置にカーソルを移動させます。



- ⑤  を押して、「硝」を確定させます。確定画面に文字が入力されます。



(単漢字変換でのキーの役割)

キー	役割
 → 	よみを単漢字変換で漢字に変換します。
	変換中の場合は、変換を中止しよみ入力状態に戻します。 読み入力状態の場合は、よみ入力をクリアします。
 ()	変換候補のカーソルが移動します。
	次の変換候補群を表示します。
	1つ前の変換候補群を表示します。



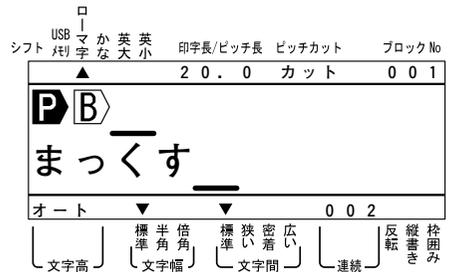
☆よみがわからない場合は、「5-7 JISコード入力のしかた」73ページを参照してください。

5-6 カタカナ変換のしかた

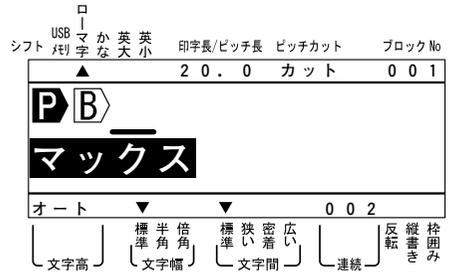
ローマ字入力やかな入力を入力した「よみ」をカタカナに変換します。

例1. 「マックス」と入力してみます。

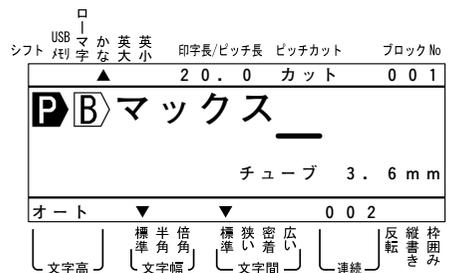
① 「まっくす」とよみ表示エリアに入力します。



② を押します。

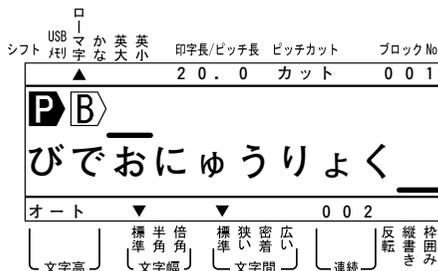


③ を押します。確定画面に文字が入力されます。

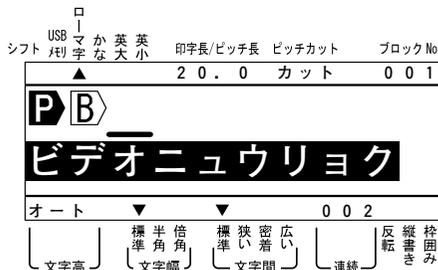


例2. 「ビデオ入力」と入力してみます。

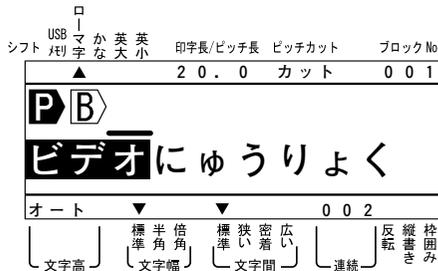
- ① 「びでおにゅうりょく」とよみ表示エリアに入ります。



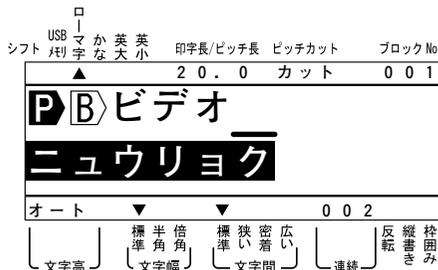
- ② を押します。



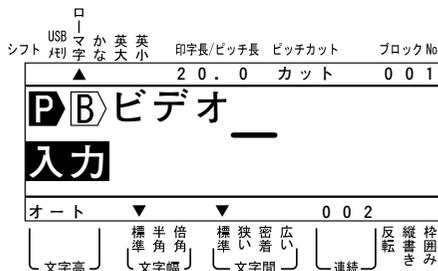
- ③ を押して「ビデオ」だけを反転表示にします。



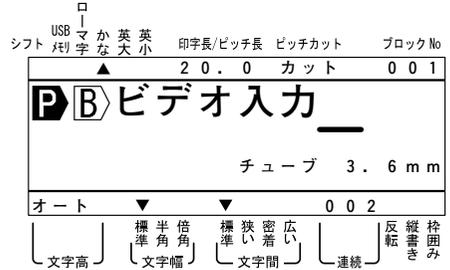
- ④ を押します。「ビデオ」だけが確定画面に入力されます。



- ⑤ を押し「ニューリョク」を漢字に変換します。



- ⑥ **確定** を押します。確定画面に文字が入力されます。



(カタカナ変換でのキーの役割)

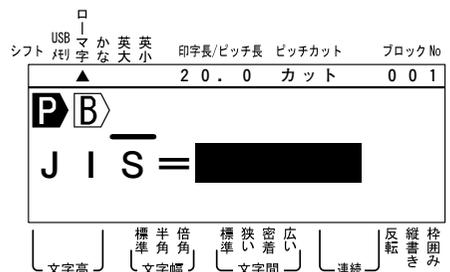
キー	役割
入力	よみをカタカナに変換します。
取消	よみ入力をクリアします。
Ⓚ (Ⓧ)	変換するよみの範囲を短く (長く) します。

5-7 JISコード入力のしかた

よみがわからない漢字や記号などは、本書巻末の「JISコード一覧表」を参照してJISコードによる入力ができます。

例. 「祥」と入力してみます。

- ① **シフト** を押してから **漢JIS 語句** を押します。

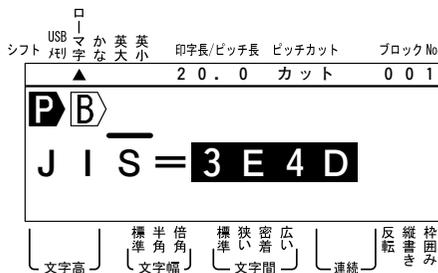


JISコード一覧表の見方

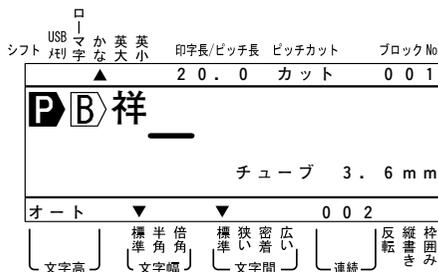
※「祥」の場合、「3E4」+「D」となり、
[3] [E] [4] [D] と入力します。

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(シ)	3D30	衆	襲	鸞	蹴	鞞	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	徒	戎
	3D40	柔	汁	洪	獸	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟
	3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
	3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	3D70	署	書	署	語	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
	3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	妾	娼	宵	將	小	少
	3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
	3E40	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	程	称	章
	3E50	笑	粧	紹	肖	菖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬

- ②本書巻末の「JISコード一覧表」に従って
[3][E][4][D]と入力します。



- ③ **確定** を押します。確定画面に文字が入力
されます。



(JISコード入力でのキーの役割)

キー	役割
シフト → 語句	JISコード入力モードにします。
取消	JISコード入力を中止し入力画面に戻ります。
BS	入力中のコードの末尾1桁を削除します。
削除	入力中のコードをクリアします。
変換	JISコード入力モードの場合、該当コードを含んだ候補一覧を表示します。



☆手順②で **変換** を押すと入力したJISコードの文字とその前後のJISコード文字が一覧で表示されます。⌂ または ⌄ で選択して **確定** を押すと入力できます。

☆また、手順②で「3E4」までを入力し **変換** を押すと「3E4O」を先頭に8文字の候補をJISコード順に表示します。

☆候補漢字が歯抜け状態が表示される場合がありますが、これはその部分のコードに該当する文字が無いことを示しています。

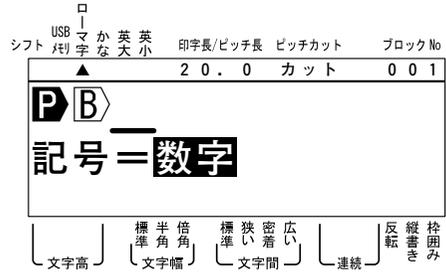


5-8 記号入力のしかた

記号を入力します。

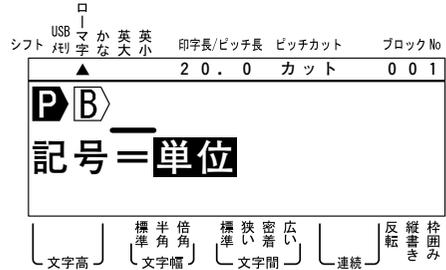
例. 「cm」と入力してみます。

① **シフト** を押してから **記号連番** を押します。

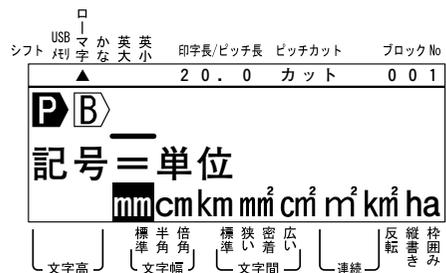


② **シフト** (または **記号連番**) を押して「単位」を表示します。

記号グループ名は次の通り切り替わります。
数字⇔英字丸囲み⇔単位⇔事務記号⇔上付文字⇔下付文字⇔電設①⇔電設②⇔電設③⇔筆記体⇔ギリシャ文字⇔数字⇔…



③ **確定** を押して入力する記号グループを選択します。

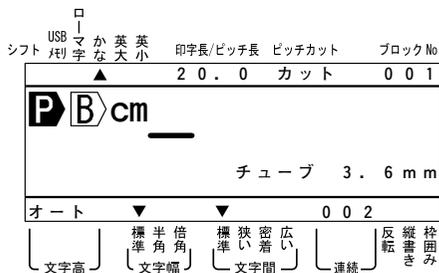


④ 記号一覧が最下段に表示されます。

シフト (または **記号連番**) を押して「cm」を反転表示します。



- ⑤ **確定** を押します。確定画面に「cm」が入力されます。



(記号入力でのキーの役割)

キー	役割
シフト → 連番	記号入力モードにします。
取消	記号入力を中止し入力画面に戻ります。
削除	記号グループの選択画面（手順②）で押すと工場出荷時のグループが表示されます。
シフト → L #	キートップの右下の記号を入力します。(例では#を入力)

第5章 記号入力のかた



☆「記号類一覧表」190ページ



☆選択したグループは電源をOFFにするまで記憶されます。次に記号を呼び出すときには、前回入力したグループが始めに表示されます。

第 6 章

入力した文字を消去する、 設定を初期化する

6-1 削除キーの使いかた	78
6-2 BSキーの使いかた	78
6-3 全文削除キーの使いかた	79
6-4 設定初期化キーの使いかた	80
6-5 取消キーの使いかた	81
6-6 入力した文書の複写・貼付のしかた	81

第6章 入力した文字を消去する、設定を初期化する

6-1 削除キーの使いかた

(使うキー) 

(入力画面での機能)

- ・カーソル位置の文字を1文字ずつ削除します。
- ・ (ブロックマーク) にカーソルがある場合は、そのブロックを削除します。
- ・ (連番マーク) にカーソルがある場合は、その連番マークを削除します。(連番設定も消去されます。)
- ・ (改行マーク) にカーソルがある場合は、その改行マークを削除し、行の連結を行ないません。
- ・ (ピッチマーク) にカーソルがある場合は、そのピッチマークを削除します。

※2つ以上のがある場合は、先頭のは削除できません。

※先頭のを削除するとピッチ印刷が解除されます。

(その他の画面での機能)

- ・選択項目がある機能設定画面では、選択値を初期化します。

6-2 BSキーの使いかた

(使うキー) 

(入力画面での機能)

- ・カーソル位置の直前の文字を1文字ずつ削除します。
- ・ (ブロックマーク) の直後にカーソルがある場合は、そのブロックを削除します。
- ・ (連番マーク) の直後にカーソルがある場合は、その連番マークを削除します。(連番設定も消去されます。)
- ・ (改行マーク) の直後にカーソルがある場合は、その改行マークを削除し、行の連結を行ないません。
- ・ (ピッチマーク) の直後にカーソルがある場合は、そのピッチマークを削除します。

※2つ以上のがある場合は、先頭のは削除できません。

※先頭のを削除するとピッチ印刷が解除されます。

(その他の画面での機能)

- ・数値入力する機能設定画面では、入力した数値の末尾1桁を削除します。

6-3 全文削除キーの使いかた

(使うキー)  を押してから 

(入力画面での機能)

・入力中の文書を全文削除します。

※先頭の  以外の  も削除されます。

※先頭ブロックの設定値は削除前そのまま残ります。

(その他の画面での機能) ありません。

6-4 設定初期化キーの使いかた

(使うキー) シフト を押してから BS

(入力画面での機能)

- ・ 設定値を初期化します。
- ・ 入力中の文書がある場合は、無効となります。全文削除後に再度操作してください。
- ・ 初期化される設定値と初期化されない設定値があります。下表を参照ください。

初期化される設定		初期化されない設定	
設 定	デフォルト値	設 定	デフォルト値
文字高さ	テープ：3.0mm ※テープはオート不可 チューブ：オート (3.0mm)	印刷物種類	MAXチューブ
		印刷物サイズ	(印刷物種類毎の最小値)
		6.9印字	下線
文字幅	標準	印字濃度	4
文字間	標準	カット位置	0.0mm
行間	標準	表示濃度	4
ピッチ長	テープ：ピッチ長初期値設定値 チューブ：ピッチ長初期値設定値	オートオフ	する
		低速モード*	しない
ピッチカット	テープ：実線 チューブ：ハーフカット	ピッチ長初期値	テープ：10.0mm チューブ：20.0mm
縦・横設定	横書	連続初期値	テープ：1回
枠囲み	しない		チューブ：2回
反転	しない	連番印刷順序	連続優先
印字長	オート	英数書体	標準
左右余白	左余白：2mm 右余白：2mm	上下印字位置	0.0mm
		LCDバックライト	明るい
連続	テープ：連続初期値設定値 チューブ：連続初期値設定値	先頭空送り	する
		チューブウォーマー	OFF
文字配置	中央		

※チューブウォーマーの設定は、LM-390T/W、LM-340T/Wのみです。



☆記名板はLM-390T・LM-390T/Wのみで使用できます。

6-5 取消キーの使いかた

(使うキー)

取消

(入力画面での機能)

- ・漢字変換中で、変換対象が反転しているときは反転を解除します。
- ・漢字変換中で、よみだけが入力されている場合は、よみをクリアします。

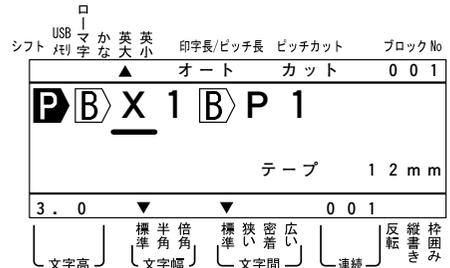
(その他の画面での機能)

- ・印刷画面では、設定を中止し入力画面に戻ります。
- ・印刷中は、印刷を中止します。
- ・機能設定画面では、設定を取り消して入力画面に戻ります。

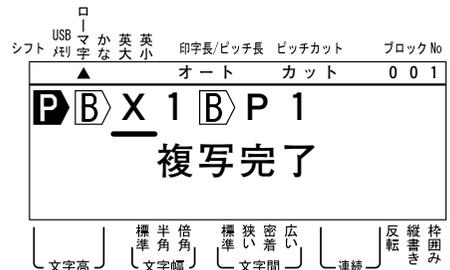
6-6 入力した文書の複写・貼付のしかた

入力文書をブロック単位で複写し、ブロックマーク位置や文末に貼り付けられます。このとき同時に複写したブロックの設定値（文字高さ／文字幅／連続／連番）も複写／貼付されます。なお、複写できる最大文字数は51文字までです。

- ① 入力文書内で、複写したいブロックにカーソルを合わせます。



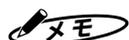
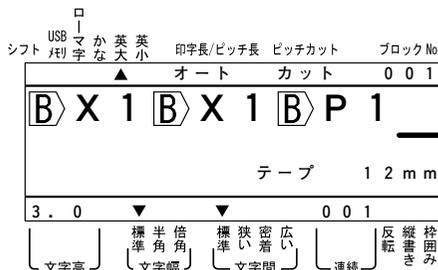
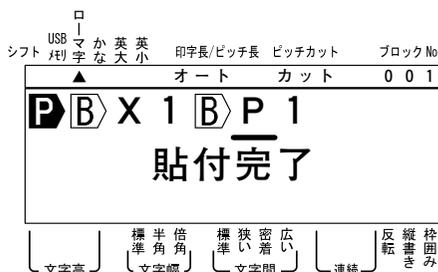
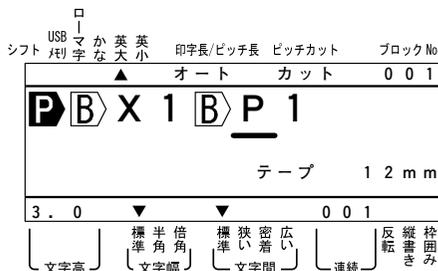
- ② **シフト** を押してから **複写メモリ** を押します。画面に「複写完了」が表示され、カーソル位置のブロック内容を設定値ごと複写（一時保存）します。



- ③ 複写内容を貼り付けたい位置にカーソルを合わせ、**シフト** を押してから **貼付** を押しします。

文書の途中にあわせると、カーソルのあるブロックの直前に複写したブロックを挿入貼付けします。文末に合わせると、複写したブロックを文末に貼付けます。

- ④ 画面に「貼付完了」を表示後、複写した内容を指定位置に設定値ごと貼り付けます。



- ☆ 「複写」せずに「貼付」操作をすると「複写データなし」エラーを表示し、貼り付けできません。また「貼付」で「文字数オーバー」や「ブロック数オーバー」になる場合も各エラーメッセージを表示して貼り付けできません。
- ☆ 文書入力していないブロックを「複写」すると、「登録文書無し」エラーを表示して、複写できません。

第 7 章

機能を使いこなす (キーに割り当てられた機能別に説明)

7-1 文字高さを変える	84	7-10-13 LCDバックライト	107
7-2 文字幅を変える	85	7-10-14 英数書体を選択する	108
7-3 文字間隔や行間隔を変える	86	7-10-15 チューブウォーマーを使う (LM-390T/W、LM-340T/Wのみ)	109
7-4 文字を枠で囲む	87	7-11 印刷する	111
7-5 連続印刷枚数を設定する	88	7-11-1 イメージ表示	111
7-6 連番を設定する	89	7-11-2 印刷範囲を選択する	112
7-7 ピッチ印刷の設定を変える	90	7-11-3 印刷物全体の長さを補正し、 印刷する	113
7-7-1 ピッチ長を変える	90	7-12 決めた長さで印字する (ピッチ印刷ではない場合)	114
7-7-2 ピッチカットの設定を変える	91	7-13 メモリに保存する/呼び出す	116
7-7-3 印刷方向を縦に変える	92	7-13-1 内部メモリに保存する	116
7-8 反転印刷	93	7-13-2 内部メモリを呼び出す	117
7-9 入力済みデータの一括書式変更	94	7-13-3 選択した本体メモリを削除する	119
7-10 オプションキーで設定できること	95	7-13-4 すべての本体メモリを削除する	120
7-10-1 印字濃度を調整する	95	7-13-5 外部メモリに保存する	121
7-10-2 低温時の印刷モード	96	7-13-6 外部メモリ (USBメモリ) から 文書を読み込む	123
7-10-3 先頭空送り	97	7-13-7 外部メモリのファイルを削除する	125
7-10-4 「6, 9」の印刷文字を変える	98	7-14 よく使う語句を保存する/呼び出す	126
7-10-5 上下印字位置	99	7-14-1 語句を登録する	126
7-10-6 ハーフカット位置を調整する	100	7-14-2 登録した語句を呼び出す	128
7-10-7 オートオフ機能を停止する	101	7-14-3 登録した語句を削除する	129
7-10-8 ピッチ長の初期値を設定する	102	7-14-4 登録してある語句を初期化する	130
7-10-9 連続印刷枚数の初期値を設定する	103		
7-10-10 文字配置を変える	104		
7-10-11 連番連続の印刷順序を設定する	105		
7-10-12 表示濃度を調整する	106		

第7章 機能を使いこなす(キーに割り当てられた機能別に説明)

7-1 文字高さを変える

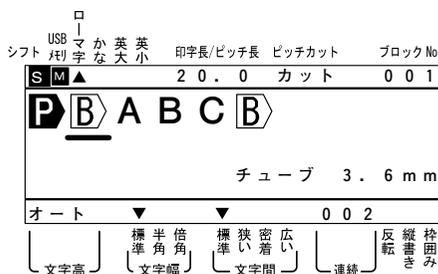
「オート」がONの場合、印刷物のサイズに合わせて最適な文字高さに自動で設定されます。文字高さを変更しても、「オート」がONの場合は自動設定が優先されます。「指定した文字高さで印刷する場合は、オートをOFFに設定してください。

カーソルのある行の文字高さを設定します。

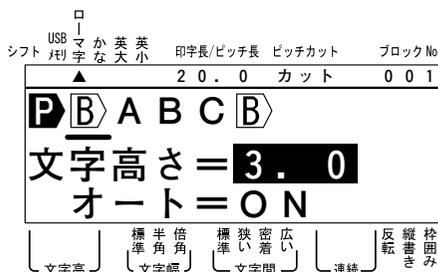
初期値は3.0mm、設定範囲は1.3・2.0・2.4・3.0・4.0・6.0mm。チューブサイズやピッチ長に合わせて文字高さを調整する「オート」のON・OFF切り換えも設定できます。

※2.4mmは英数字のみ有効です。

- ① キーを押します。



- ② 設定画面上段に「文字高さ」、下段に「オート」を表示し、「文字高さ」の数値が反転表示になりますので、変更するときは キーまたは キーで数値を選びます。



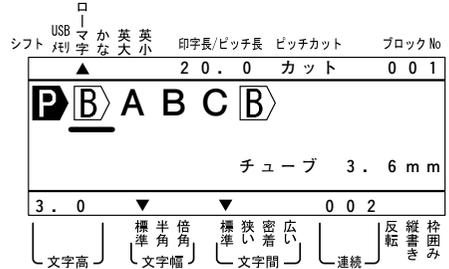
- ③ キーで設定画面下段「オート」の「ON」が反転しますので、 キーまたは キーでON/OFFを切り換えます。



☆「文字高さ」を2.4mmで設定した行に英数以外の文字（ひらがな、カタカナ、漢字等）がある場合は、その行のすべての文字を2.0mmで出力（印刷）します。

- ④ **確定** キーを押すと、設定が確定されます。
 また設定を初期値に戻す場合は **削除** キーを、
 文字高さ設定を中止するには **取消** キーを
 押します。

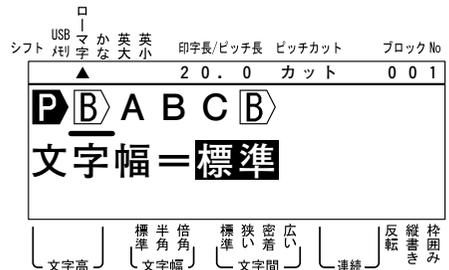
※「オート」をOFFに設定し、文字高さを設定した
 場合、印刷物のサイズにより印刷高さオー
 ーバーのエラーが出る事があります。その時
 は、文字高さを変更してください。



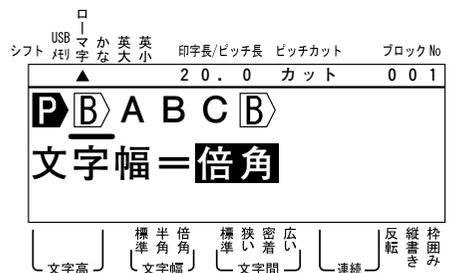
7-2 文字幅を変える

カーソルのある行の文字幅を設定します。
 設定範囲は標準・半角・倍角で、初期値は標準です。
 文字高さ設定で「オート」をOFFに設定していないと文字幅を変更しても有効となりませ
 ん。

- ① **文字幅** キーを押します。



- ②設定画面に「文字幅」と表示し、右に現在の
 設定が反転表示しますので **Ⓚ** キーまたは
Ⓜ キーで変更し、 **確定** キーを押します。
 初期値（標準）に戻すには **削除** キーを、文字
 幅設定を中止するには **取消** キーを押しま
 す。

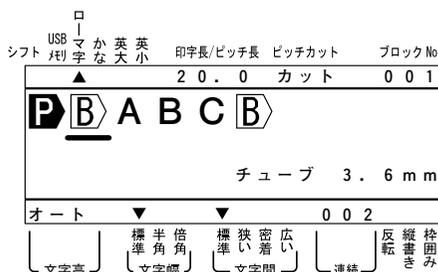


7-3 文字間隔や行間隔を変える

作成した文書の文字間隔や行間隔を設定します。初期値は各々標準で、設定範囲は「字間」が標準・狭い・密着・広い、「行間」が標準・狭い・広い・密着になります。

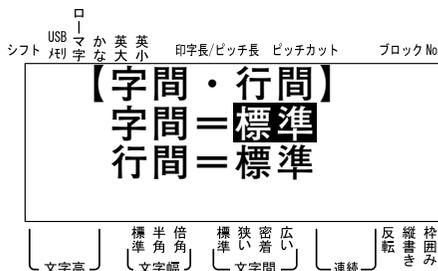
文字高さ設定で「オート」をOFFに設定していないと文字間隔や行間隔を変更しても有効となりません。

① **字行間** キーを押します。

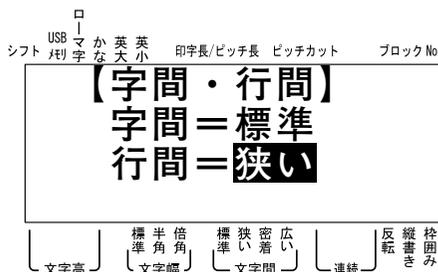


② 画面に【字間・行間】と表示します。

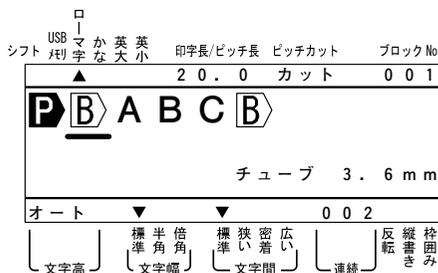
上段に「字間」、下段に「行間」が表示され、「字間」右の標準が選択されています。



③ 設定を変えるには **△** キーまたは **▽** キーで変更する箇所を選び、**Ⓚ** キーまたは **Ⓛ** キーで変更する値を選びます。



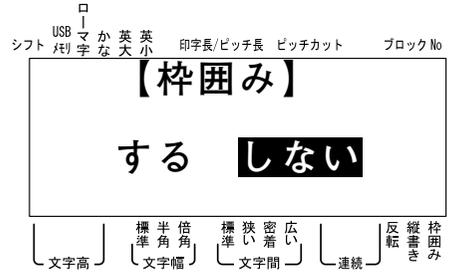
④ **確定** キーを押すと選んだ値で設定されます。設定を初期値に戻すには **削除** キーを、「字間・行間」設定を中止するには **取消** キーを押します。



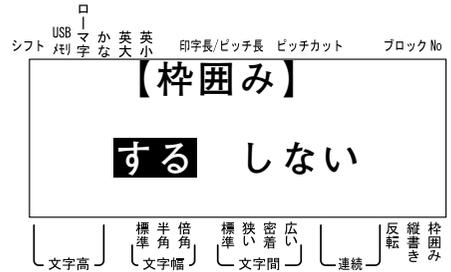
7-4 文字を枠で囲む

作成した文書すべてに対して枠囲みを設定します。(枠囲み) する/しないを設定します。初期値は「しない」になっています。

- ① シフト キーを押してから 枠囲み連続 キーを押します。



- ②画面に【枠囲み】と表示しますので、 キーまたは キーで設定を変えて、 キーを押します。設定を初期値(しない)に戻すには キーを、「枠囲み」設定を中止するには キーを押します。



- ☆ピッチモード時は、ブロック毎に枠囲みを行います。
- ☆印字長モード時は、文書全体を枠で囲みます。

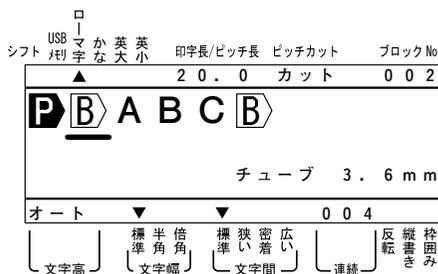
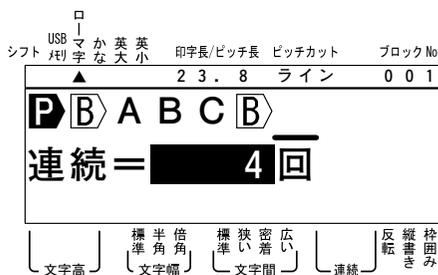
7-5 連続印刷枚数を設定する

ピッチ長モード時は、カーソルのあるブロックの連続印刷枚数の設定となります。工場出荷時の初期値はテープが1枚、チューブが2個で、1~100枚の間で設定できます。印字長モード時は、カーソル位置にかかわらずラベル全体の連続枚数の設定となります。初期値はオプションの連続初期値で設定することも出来ます。

① **連続** キーを押します。

② 設定画面に「連続」と表示し、右に現在の設定値を表示します。数字キー3桁入力で直接枚数を指定するか、**◀** キーまたは **▶** キーで1枚ずつ枚数を増減して、**確定** キーを押します。

初期値に戻すには **削除** キーを、連続設定を中止するには **取消** キーを押します。

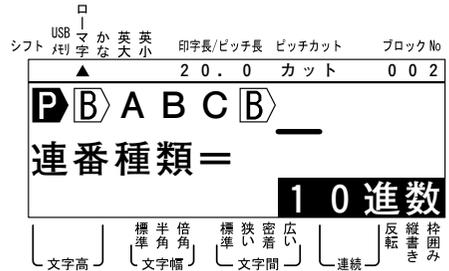


☆印字長モード時に「連続」印刷を設定すると、強制的にハーフカットされます。

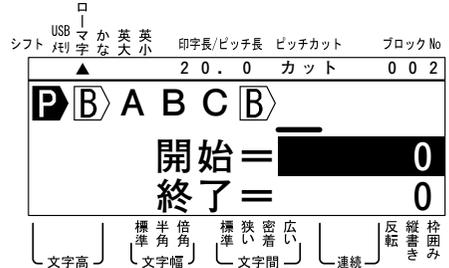
7-6 連番を設定する

カーソルのある位置に連番マーク **N** が無い時は設定した値の連番マークを新規に作ります。連番は8進数・10進数・16進数・アルファベットから選択でき、8進数で0~7777、10進数で0~9999、16進数で0~FFFF、アルファベットでA~Zの範囲で設定できます。初期値は10進数で開始・終了とも0です。

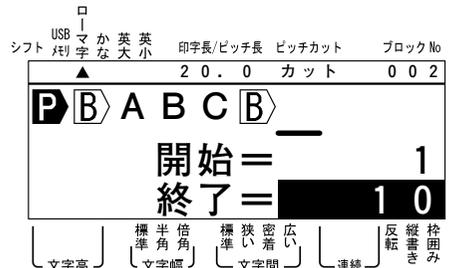
① **連番** キーを押します。



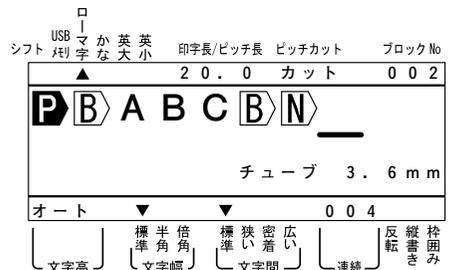
② 設定画面に「連番種類」を表示し、「10進数」が反転表示しますので、**⏪** キーまたは **⏩** キーで種類を選び **確定** キーを押します。初期値に戻すには **削除** キーを、「連番」設定を中止するには **取消** キーを押します。



③ 設定画面上段に「開始」、下段に「終了」を表示し、値は共に「0」になっています。**⏶** キーまたは **⏷** キーを押すと開始/終了を変更します。



④ 数字キーやアルファベットキーで直接、開始/終了の値を入力し、**確定** キーで「開始/終了」画面を閉じます。「開始/終了」値を初期化するには **削除** キーを、連番種類選択に戻すには **取消** キーを押します。



☆印字長モード時に連番印刷を設定すると強制的にハーフカットされます。また印字長モード時には文書全体で1個しか設定できません。

☆ **N** は1ブロック当たり1個で且つ文書全体で15個まで入ります。

7-7 ピッチ印刷の設定を変える

7-7-1 ピッチ長を変える

カーソルのある位置のピッチ長を設定します。カーソル位置のブロックの先頭にピッチマーク（**P**）がある時は、そのブロックのピッチ長を修正し、ピッチマークが無い時はピッチ長設定と共にブロックの先頭にピッチマークを挿入します。テープ印刷時の初期値は10mmで、設定範囲は4～60mm「オート」、記名板印刷時の初期値は10mmで、設定範囲は2.5～60mm「オート」、チューブ印刷時の初期値は20mmで、設定範囲は10～60mm「オート」です。各々0.1mm単位で設定します。ここで表示される初期値（新規作成時の値）はオプションのピッチ長初期値で設定変更することが出来ます。

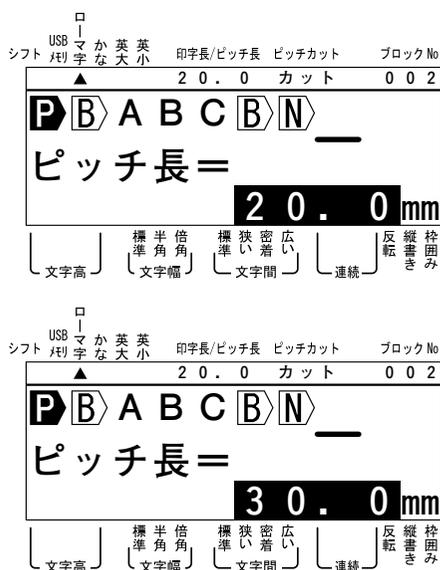
※LM-390T・LM-390T/Wは文書中に最大5個、LM-340Tは文書中に1個の指定が出来ます。

① **[ピッチ長]** キーを押します。

② 設定画面に「ピッチ長」と表示し、現在の設定値を反転表示しますので、数字キーで4桁まで直接入力するか、**[K]** キーまたは **[>]** キーを押して設定範囲内で0.1mmずつ値を増減し、**[確定]** キーを押します。

[△] または **[▽]** キーを押すと「オート」と数値指定を切り替える事が出来ます。

③ 初期値に戻すには **[削除]** キーを、ピッチ長設定を中止するには **[取消]** キーを押します。



☆ピッチマーク（**P**）は最大5（340T、340T/Wは1個のみ）個まで入力できます。6個以上入力しようとすると「**P**数オーバー」を表示します。

☆設定したピッチ長が直前（ブロック）のピッチ長と等しい場合には、ピッチマークは追加されません。

☆複数のピッチ長を設定した場合、先頭の**P**マークは削除できません。必ず先に他の**P**マークを削除して下さい。

☆文頭の**P**マークを削除すると、印字長モードに変更されます。尚、文書中に複数の連番印刷を指定している場合は先頭のみを残して、他は解除されます。

☆文末でピッチ長を設定すると、改ブロックを挿入後に**P**マークが挿入されます。

☆印字長モード（**P**マークが無い）からピッチ長モードに変更する場合は、必ず文書の先頭でピッチ長を設定してください。

☆ピッチ長オートとは、入力された文字数に応じてピッチ長を自動で可変する機能です。ピッチ長オートは入力中の文書全体に設定され、数値指定の**P**と混在は出来ません。最小サイズはオプションピッチ長初期値となります。

7-7-2 ピッチカットの設定を変える

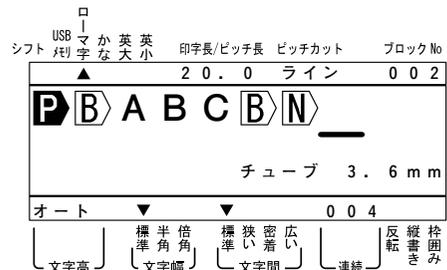
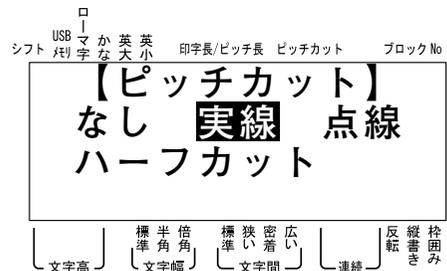
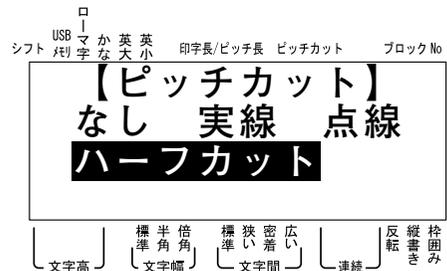
作成した文書のピッチカットを設定します。

設定範囲はチューブ・テープは「なし・実線・点線・ハーフカット」で、記名板は「なし・実線・点線」で、初期値はテープ・記名板印刷時が実線、チューブ印刷時がハーフカットです。

① **シフト** キーを押してから **ピッチカット** キーを押します。

②画面に【ピッチカット】を表示し、現在の設定を表示します。ⒶキーまたはⒷキーを押すと「ハーフカット／なし」を切り換えます。ⒸキーまたはⒹキーを押すと「なし／実線／点線／ハーフカット」を順に切り換えます。

③設定を有効にするには **確定** キーを、初期値に戻すには **削除** キーを、ピッチカット設定を中止するには **取消** キーを押します。



☆印字長モード時にはピッチカットは設定できません。

☆ハーフカットは記名板およびチューブφ6.0以上では設定できません。故障の原因となりますので使用しないでください。

7-7-3 印刷方向を縦に変える

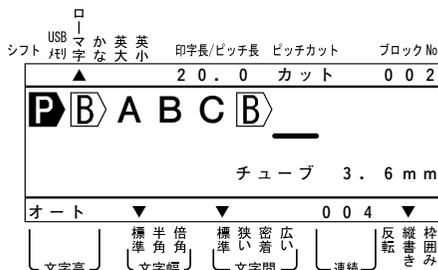
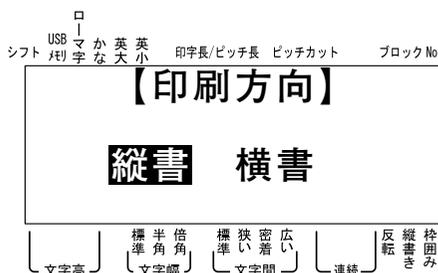
作成した文書の印刷方向（縦書き／横書き）を設定します。

① **シフト** キーを押してから **縦・横
字・行間** キーを押します。

②画面に【印刷方向】と表示しますので、**Ⓚ**

キーまたは **Ⓜ** キーで設定を変えて、

確定 キーを押します。設定を初期値（横書）に戻すには **削除** キーを、「印刷方向」設定を中止するには **取消** キーを押します。



☆チューブとテープでは縦書きのレイアウトが異なります。

入力例 **P B X 1 O B X 2 O B X 3 O**

チューブの場合: **(X 1 O X 2 O X 3 O)**

テープの場合: **X10 X20 X30**

入力例 **P B X 1 O A S B X 2 O A S B X 3 O**

チューブの場合: **(A S 1 O A S 2 O X 3 O)**

テープの場合: **X10 AS X20 AS X30**

☆また、ピッチ印刷をしない場合でも縦書きのレイアウトは異なります。

入力例 **B X 1 O B X 2 O B X 3 O**

チューブの場合: **(X 1 O X 2 O X 3 O)**

テープの場合: **X 1 O X 2 O X 3 O**

入力例 **B X 1 O A S B X 2 O A S B X 3 O**

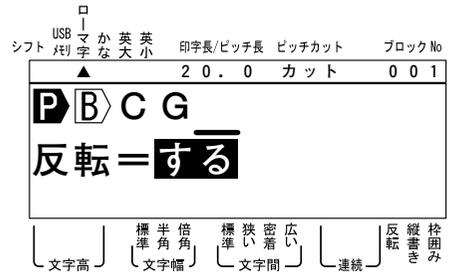
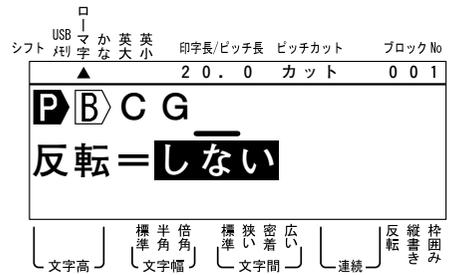
テープの場合: **A S 1 O A S 2 O X 3 O**

7-8 反転印刷

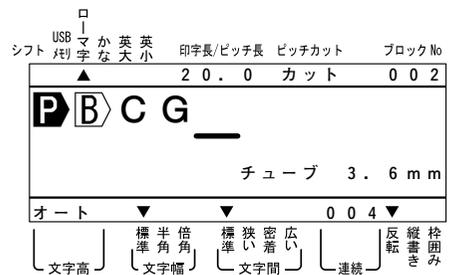
ブロック単位で反転印刷を行ないます。印刷領域を黒く印刷（黒リボン使用時）し、入力されている文字を抜き文字として印刷します。

① **シフト** キーを押してから **反転文字幅** キーを押します。

②画面に「反転」を表示し、現在の設定を表示します。**Ⓚ** または **Ⓧ** キーを押すと「する/しない」を切り替えます。



③設定を有効にするには **確定** キーを、初期値に戻すには **削除** キーを、反転設定を中止するには **取消** キーを押します。

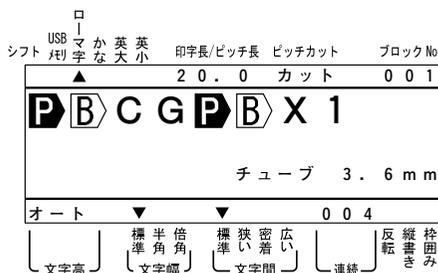


7-9 入力済みデータの一括書式変更

すでに入力されているデータの書式（文字高さ・文字幅・ピッチ長・連続・反転）を変更します。

①入力されている文書中に **P** マークが1つの場合

- ・先頭の **P** の下にカーソルを移動し、文字高さや文字幅などを設定する事で入力済のすべてのブロックの設定を変更します。
- ・その際に入力されている文字数やピッチ長などにより、先頭から順にエラー内容を表示しますので修正してください。



②入力されている文書中に **P** マークが複数ある場合

- ・入力されている文書中の先頭の **P** マークの下にカーソルを移動させ、文字高さや文字幅などを設定する事で次の **P** マークまでの間のブロックに対して設定を変更します。
- ・次の **P** マークについても同様に行う必要があります。文書全体に対して設定を行う場合は、次の **P** マークに対しても同様に行う必要があります。

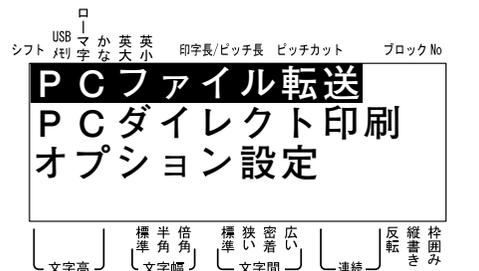
7-10 オプションキーで設定できること

オプション キーで設定できる内容(「PC通信モード」「印字濃度」「低温モード」「表示濃度」「6、9印字機能」「上下印字位置」「ハーフカット位置調整」「オートオフ設定」「ピッチ長初期値」「連続印刷初期値」「文字配置」「連番印刷順序」「先頭空送り」「英数の書体」「ヒーター設定)を説明します。
「PCダイレクト印刷」(LM-390T/Wのみ)につきましては、第8章で説明します。

7-10-1 印字濃度を調整する

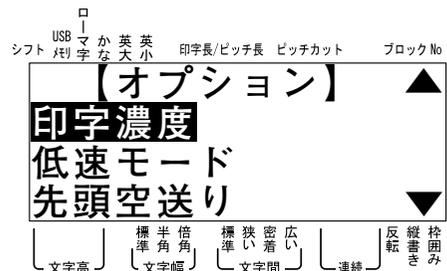
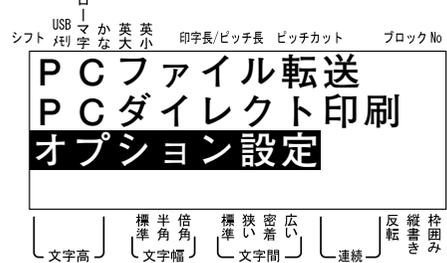
印刷時の濃度を調整します。設定した濃度は電源OFF時に保存され、次回起動時に内容が呼び出されます。初期値は「4」で、1～8まで8段階を横棒グラフで表示します。

① **オプション** キーを押し、**決定** キーでオプション設定を選択し、**確定** キーでオプション画面に入ります。

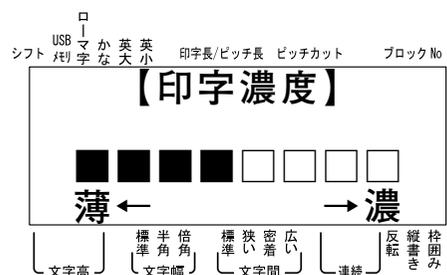


※この画面はLM-390Tのみ表示されます。

②画面に【オプション】と表示し、「印字濃度」を反転表示しますので、**確定** キーを押します。



③画面が【印字濃度】に変わり、現在の設定を横棒グラフで表示しますので、**薄** (または **濃**) キーで調整し、**確定** キーを押します。初期値「4」に戻すには **削除** キーを、オプション選択画面に戻すには **取消** キーを押します。

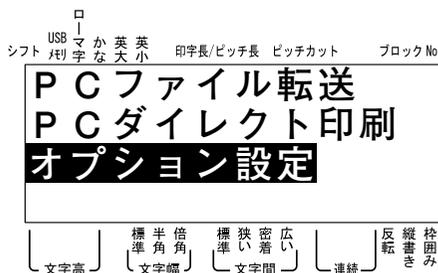


7-10-2 低温時の印刷モード

ご使用になる場所の気温が20℃以下の場合は、チューブへの印字がかすれる場合があります。この場合、低速モードを設定して下さい。

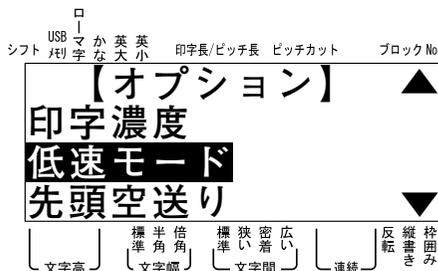
低速モードでは、印字速度が遅くなります。(20mm/sec)

- ① **オプション** キーを押し、**決定** キーでオプション設定を選択し、**決定** キーでオプション画面に入ります。

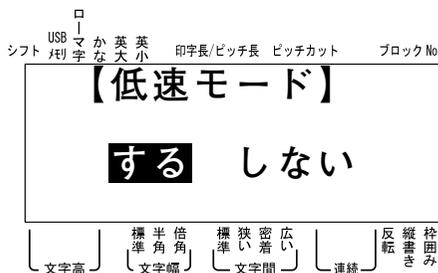
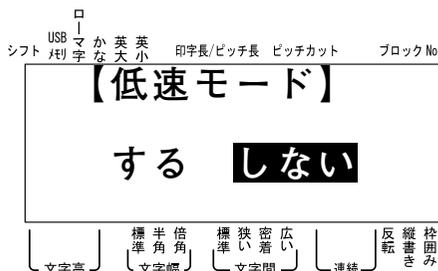


※この画面はLM-390Tのみ表示されます。

- ② **決定** キーを押して「低速モード」を反転表示し、**決定** キーを押します。



- ③ 「低速モード」設定画面で、**決定** キーを押して「する」を反転表示し、**決定** キーを押します。



☆低速モードの設定は、再度設定を変えるまで有効です。(電源OFFでは初期化されません。)

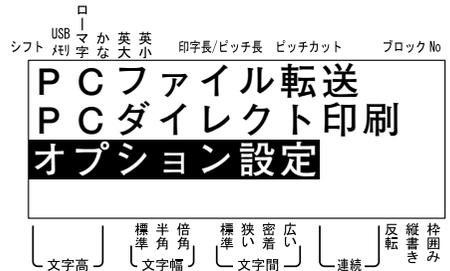
第7章 オプションキーで設定できること



7-10-3 先頭空送り

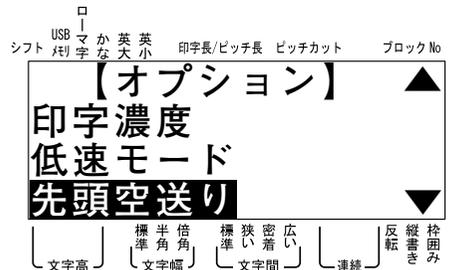
チューブへの印字は、チューブを平らにつぶして印字します。その為に本機では、巻き付けローラー方式によるチューブつぶし機構を搭載しています。新規に印字する場合は、巻き付けローラー部入口からサーマルヘッドまでの間は、充分につぶされているとはいいきれません。特にチューブが硬くなる冬の低温時などでは先頭部分の2~3個で印字ムラやカスレの原因となります。そのような時には、巻き付けローラーからサーマルヘッドまでの間を空送りすることで、充分につぶされた状態で印字する事が可能です。但し、空送り「する」に設定した場合、印字開始までにチューブを空送りするため、約57mmの印字していないチューブが付きます。

- ① **オプション** キーを押した後、**決定** キーを押してオプション設定を選び、**決定** キーを押します。

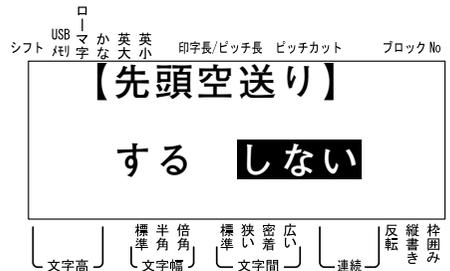


※この画面はLM-390Tのみ表示されます。

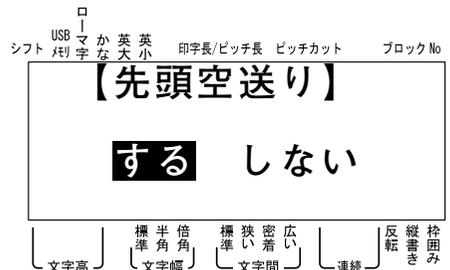
- ② **決定** キーを数回押して、「先頭空送り」を反転表示させ、**決定** キーを押します。



- ③ 「先頭空送り」設定画面で、**決定** キーを押して「する」を反転表示させます。



- ④ **決定** キーを押して、設定します。
 ※初期値は「する」です。**削除** キーを押すと初期値に戻ります。
 ※ **取消** キーを押すと、オプション選択画面に戻ります。



第7章 オプションキーで設定できること



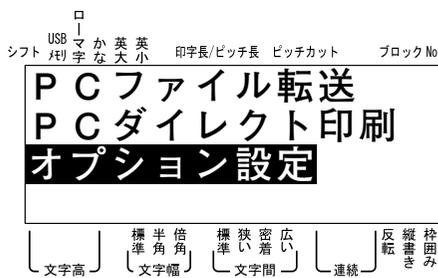
☆先頭空送りしない設定の場合、最初の2~3個の印字がかすれたり、文字欠けが出ることがあります。チューブセット直後の印刷で発生しやすくなります。
 ☆先頭空送りしない設定でも、先端に約17mmの印字していないチューブが付きます。

7-10-4 「6, 9」の印刷文字を変える

作成した文書中の「6」や「9」の印字方法を設定します。

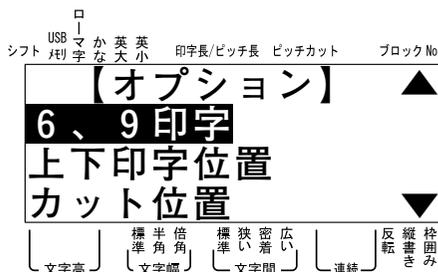
初期値は下線 (「6 9」) で、標準 (何も付加しない) と付点 (「6.9.」) が選べます。

- ① オプション キーを押した後、 キーを押してオプション設定を選び、 キーを押します。



※この画面はLM-390Tのみ表示されます。

- ② キーを数回押して、「6、9印字」を反転表示させ、 キーを押します。



- ③ 「6、9印字」設定画面で、 キーを押して「付点 (6.9.)」を反転表示させます。



- ④ キーを押して、設定します。

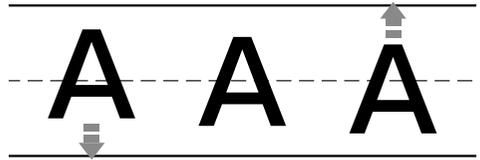
※初期値は「下線 (6 9)」です。 キーを押すと初期値に戻ります。

※ キーを押すと、オプション選択画面に戻ります。

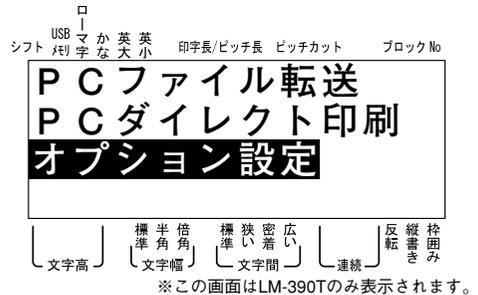


7-10-5 上下印字位置

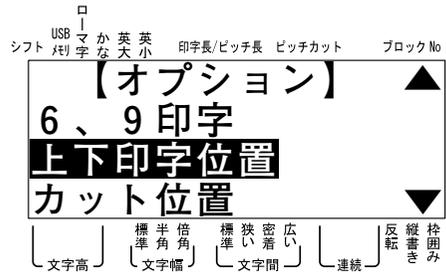
テープやチューブに印字する時の上下位置を微調整します。調整した値は電源OFF時に保存され、次回起動時に内容が呼び出されます。初期値は「0」で、プラス方向で印字位置が上に、マイナス方向で印字位置が下に移動します。1ドット (約0.085mm) 単位で調整出来ます。但し、記名板印刷にはこの機能は使用できません。



① **オプション** キーを押した後、**決定** キーを押してオプション設定を選び、**確定** キーを押します。



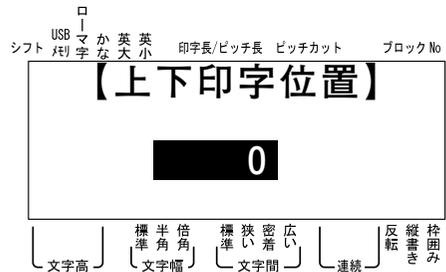
② **決定** キーを数回押して、「上下印字位置」を反転表示させ、**確定** キーを押します。



③ 「上下印字位置」設定画面で、**増** または **減** キーを押して、反転数値を変更します。

※ **減** : 数字が小さくなります。

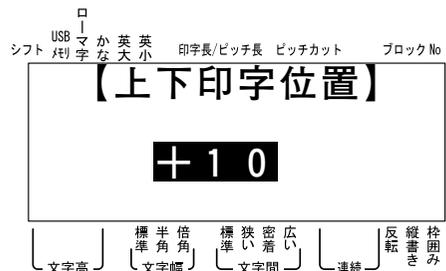
※ **増** : 数字が大きくなります。



④ **確定** キーを押して、設定します。

※初期値は「0」です。**削除** キーを押すと初期値に戻ります。

※ **取消** キーを押すと、オプション選択画面に戻ります。

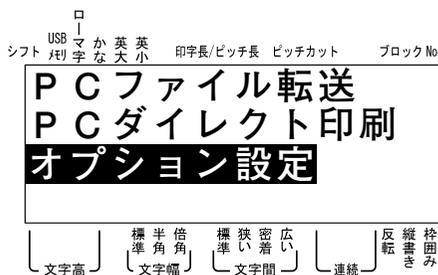


7-10-6 ハーフカット位置を調整する

ハーフカットの位置を調整します。調整した値は電源OFF時に保存され、次回起動時に内容が呼び出されます。

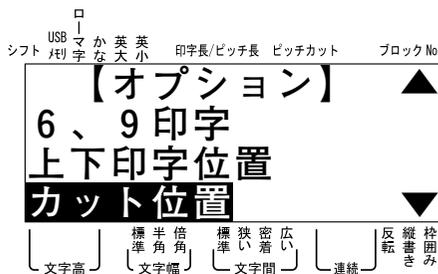
初期値は「0.0mm」、-2.0~+2.0mmの範囲内で、0.1mm単位で調整できます。

- ① **オプション** キーを押した後、**OK** キーを押してオプション設定を選び、**確定** キーを押します。



※この画面はLM-390Tのみ表示されます。

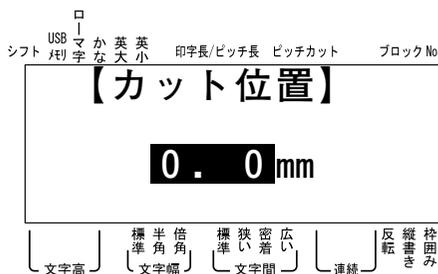
- ② **OK** キーを数回押して、「カット位置」を反転表示させ、**確定** キーを押します。



- ③ 「カット位置」設定画面で、**左** または **右** キーを押して、反転数字を変更します。

※ **左** : 数字が小さくなります。

※ **右** : 数字が大きくなります。



- ④ **確定** キーを押して、設定します。

※初期値は「0.0mm」です。**削除** キーを押すと初期値に戻ります。

※ **取消** キーを押すと、オプション選択画面に戻ります。

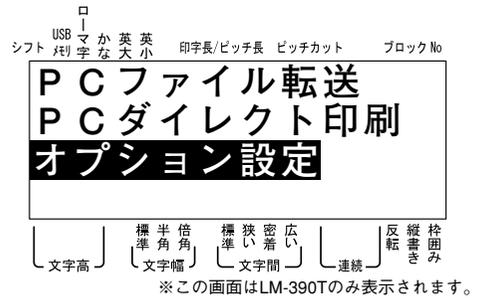


7-10-7 オートオフ機能を停止する

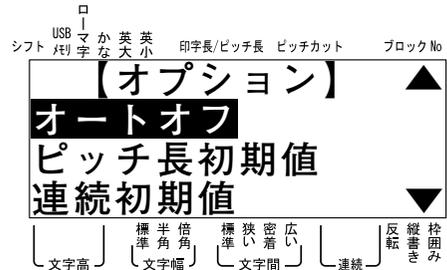
自動で電源OFFにする「オートオフ」機能を設定します。設定は電源OFF時に保存され、次回起動時に内容が呼び出されます。

初期値は「(オートオフ) する」で、する/しないを選択できます。

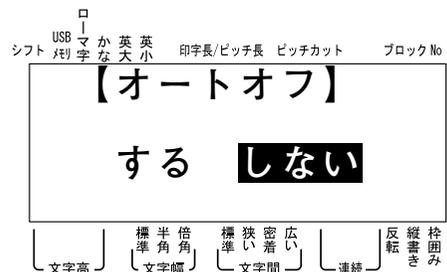
- ① **オプション** キーを押した後、**決定** キーを押してオプション設定を選び、**決定** キーを押します。



- ② **決定** キーを数回押して、「オートオフ」を反転表示させ、**決定** キーを押します。



- ③ 「オートオフ」設定画面で、**決定** キーを押して「しない」を反転表示させます。



- ④ **決定** キーを押して、設定します。

※初期値は「する」です。**削除** キーを押すと初期値に戻ります。

※ **取消** キーを押すと、オプション選択画面に戻ります。



☆最後にキー操作してから5分を経過するとオートオフします。なお途中でキー操作した場合はその時点から再度カウントし直します。

7-10-8 ピッチ長の初期値を設定する

ピッチ印刷する場合の初期値を設定します。ここで設定した値は、電源スイッチをOFFにしたときに保存され、設定初期化時や次回起動時の新規作成時に読み込まれます。設定できる範囲は、チューブのとき10.0mm～60.0mm（0.1mm単位）、テープのとき4.0mm～60.0mm（0.1mm単位）で、工場出荷時の設定はチューブ：20.0mm、テープ：10.0mmです。

① **オプション** キーを押した後、**決定** キーを押してオプション設定を選び、**決定** キーを押します。

② **決定** キーを数回押して、「ピッチ長初期値」を反転表示させ、**決定** キーを押します。

③ 「ピッチ長初期値」設定画面で、**決定** または **戻る** キーを押して変更する印字物の数値を反転表示させます。

※チューブ：チューブ選択時の初期値を変更します。

※テープ：テープおよび記名板選択時の初期値を変更します。

④ **左向き矢印** または **決定** キーを押して数値を変更した後、**決定** キーを押して、設定します。

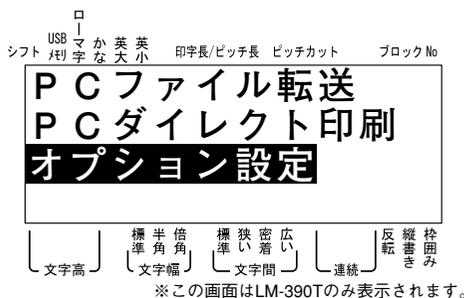
※ **左向き矢印**：数字が小さくなります。

※ **右向き矢印**：数字が大きくなります。

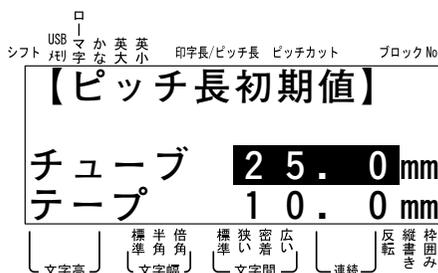
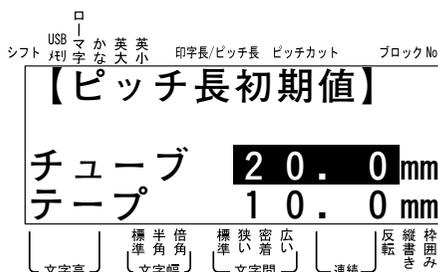
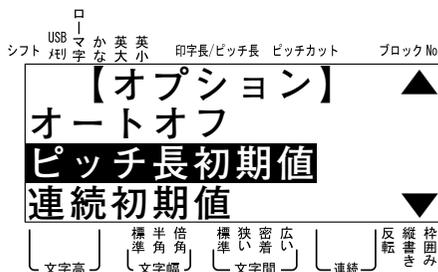
※初期値は チューブ：20.0mm
テープ：10.0mm、です。

※ **削除** キーを押すと初期値に戻ります。

※ **取消** キーを押すと、オプション選択画面に戻ります。



※この画面はLM-390Tのみ表示されます。



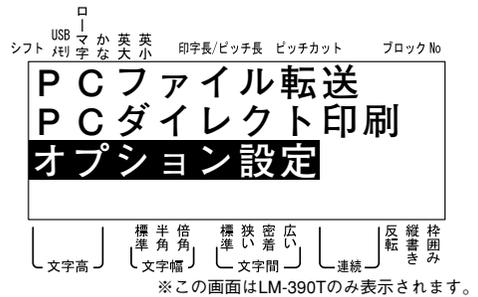
☆初期値として設定できる範囲は、以下の通りです。

チューブ：10.0 ～ 60.0mm（0.1mm単位） テープ：4.0 ～ 60.0mm（0.1mm単位）

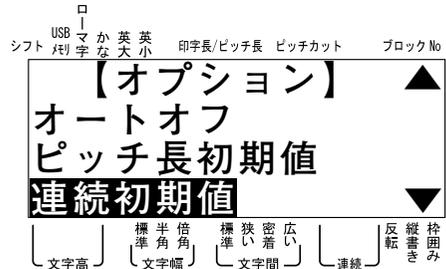
7-10-9 連続印刷枚数の初期値を設定する

連続で印刷する枚数の初期値を設定します。ここで設定した値は、電源スイッチをOFFにしたときに保存され、設定初期化時や次回起動時の新規作成時に読み込まれます。設定できる範囲は、チューブのとき1個～100個、テープのとき1枚～100枚で、工場出荷時の設定はチューブが2個、テープが1枚です。

① **オプション** キーを押した後、**決定** キーを押してオプション設定を選び、**決定** キーを押します。



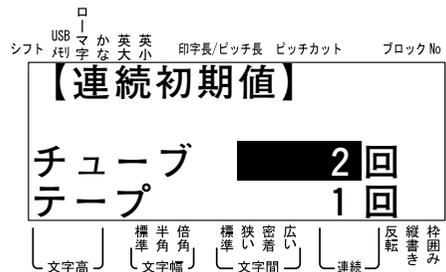
② **決定** キーを数回押して、「連続初期値」を反転表示させ、**決定** キーを押します。



③ 「連続初期値」設定画面で、**決定** または **決定** キーを押して変更する印字物の数値を反転表示させます。

※チューブ：チューブ選択時の初期値を変更します。

※テープ：テープおよび記名板選択時の初期値を変更します。



④ **決定** または **決定** キーを押して数値を変更した後、**決定** キーを押して、設定します。

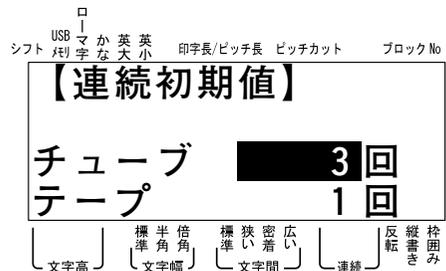
※ **決定** : 数字が小さくなります。

※ **決定** : 数字が大きくなります。

※初期値は チューブ：2回
テープ：1回、です。

※ **削除** キーを押すと初期値に戻ります。

※ **取消** キーを押すと、オプション選択画面に戻ります。

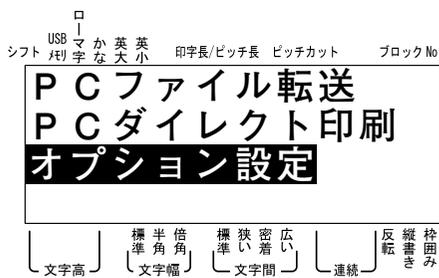


7-10-10 文字配置を変える

作成した文書の文字配置設定を変えます。

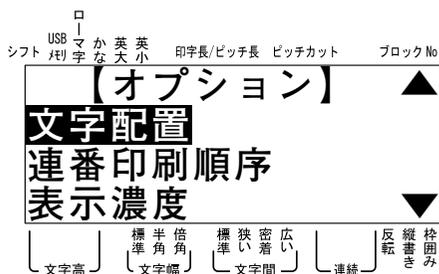
初期値は「中央」で、「前・中央・後」の中から選びます。

- ① **オプション** キーを押した後、**OK** キーを押してオプション設定を選び、**確定** キーを押します。

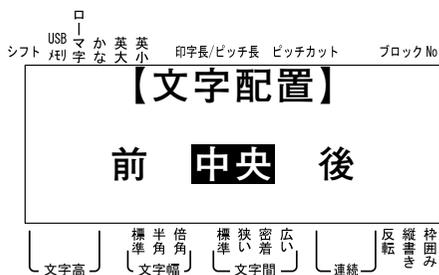


※この画面はLM-390Tのみ表示されます。

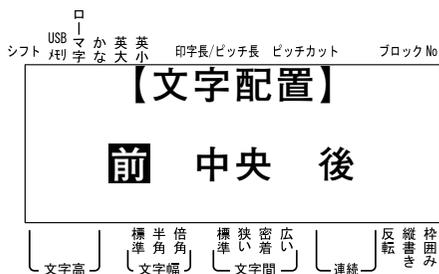
- ② **OK** キーを数回押して、「文字配置」を反転表示させ、**確定** キーを押します。



- ③ 「文字配置」設定画面で、**左** または **右** キーを押して「前」を反転表示させます。



- ④ **確定** キーを押して、設定します。
 ※初期値は「中央」です。
 ※ **削除** キーを押すと初期値に戻ります。
 ※ **取消** キーを押すと、オプション選択画面に戻ります。



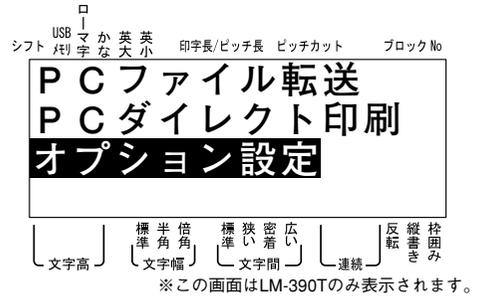
☆文字配置設定は「印字長モード」でのみ有効となります。



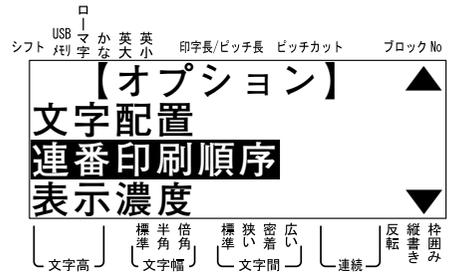
7-10-11 連番連続の印刷順序を設定する

連番を連続で印刷するときの出力順序を設定します。ここで設定した値は、電源スイッチをOFFにしたときに保存され、次回起動時に読み込まれます。ここでの設定変更は、作成中の文書には反映されません。また、メモリとしても保存されません。

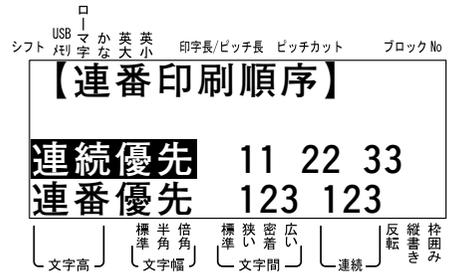
- ① **オプション** キーを押した後、**決定** キーを押してオプション設定を選び、**決定** キーを押します。



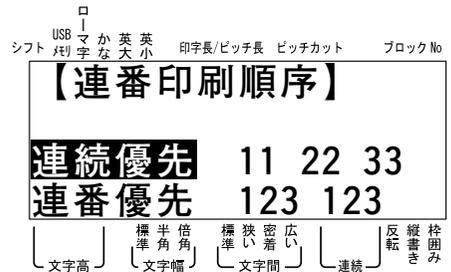
- ② **決定** キーを数回押して、「連番印刷順序」を反転表示させ、**決定** キーを押します。



- ③ 「連番印刷順序」設定画面で、**決定** または **戻る** キーを押して、選択する項目を反転表示させます。



- ④ **決定** キーを押して、設定します。
 ※初期値は「連続優先」です。
 ※ **削除** キーを押すと初期値に戻ります。
 ※ **取消** キーを押すと、オプション選択画面に戻ります。



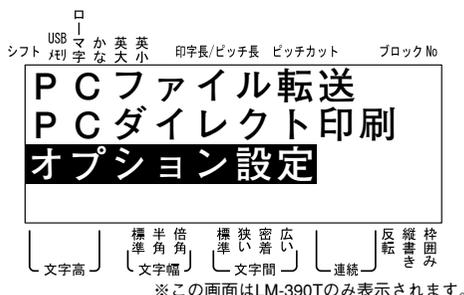
	連続優先	連番優先
印刷結果	X1 X1 X2 X2 X3 X3	X1 X2 X3 X1 X2 X3

7-10-12 表示濃度を調整する

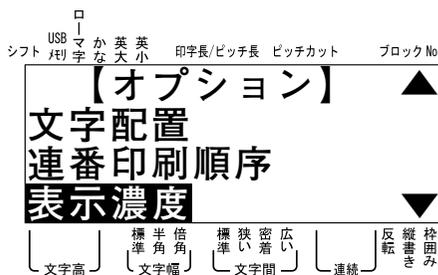
画面の表示濃度を調整します。設定した濃度は電源OFF時に保存され、次回起動時に内容が呼び出されます。

初期値は「4」で、1～8まで8段階を横棒グラフで表示します。

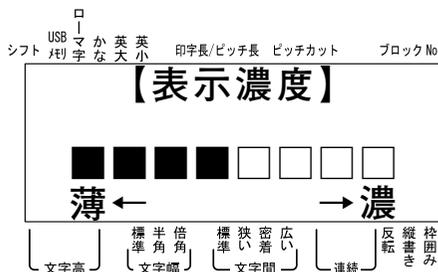
- ① **オプション** キーを押した後、**決定** キーを押してオプション設定を選び、**決定** キーを押します。



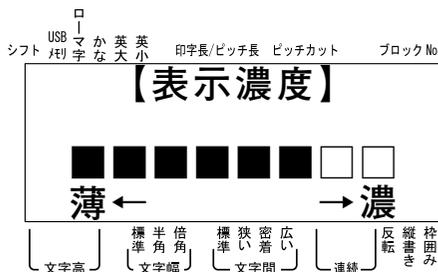
- ② **決定** キーを数回押して、「表示濃度」を反転表示させ、**決定** キーを押します。



- ③ 「表示濃度」設定画面で、**左向き矢印** または **右向き矢印** キーを押して、表示濃度を変更します。



- ④ **決定** キーを押して、設定します。
 ※初期値は「■■■■」(■4個)です。
 ※**削除** キーを押すと初期値に戻ります。
 ※**取消** キーを押すと、オプション選択画面に戻ります。



第7章 オプションキーで設定できること



☆表示画面が判読できない状態になった時は、電源ONにした直後に **P** **わ** **行** **ん** または **L** **#** キーを押すことで、表示濃度を1目盛りずつ調整できます。

P **わ** **行** **ん** : 濃度設定値を1目盛り増加します。 **L** **#** : 濃度設定値を1目盛り減少します。

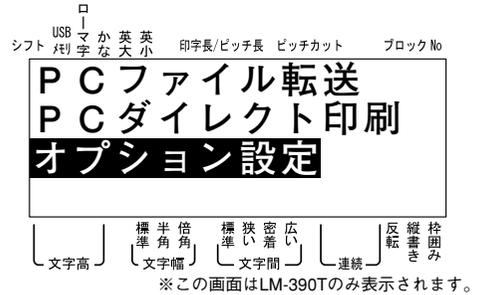
※ただし濃度は1～8の範囲内に限ります。

7-10-13 LCDバックライト

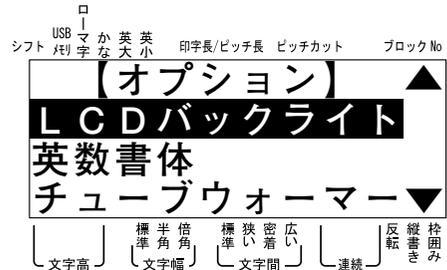
LCDバックライトの明るさを変えることができます。

「暗」に設定すると、明るい場所で作業する場合の省電力モードとしてご利用いただけます。

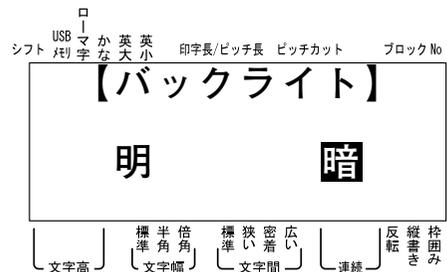
- ① **オプション** キーを押した後、**決定** キーを押してオプション設定を選び、**決定** キーを押します。



- ② **決定** キーを数回押して、「LCDバックライト」を反転表示させ、**決定** キーを押します。



- ③ 「LCDバックライト」設定画面で、**決定** キーを押して「暗」を反転表示させます。

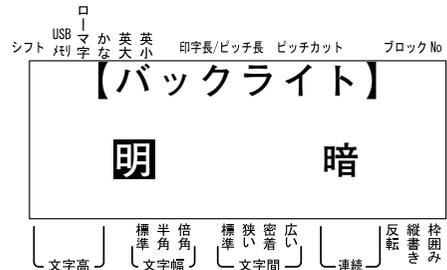


- ④ **決定** キーを押して、設定します。

※初期値は「明」です。

※ **削除** キーを押すと初期値に戻ります。

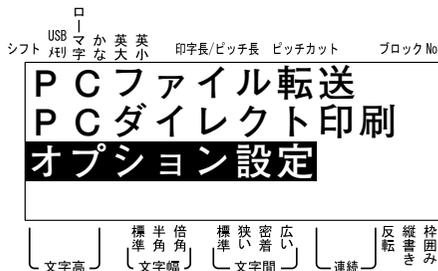
※ **取消** キーを押すと、オプション選択画面に戻ります。



7-10-14 英数書体を選択する

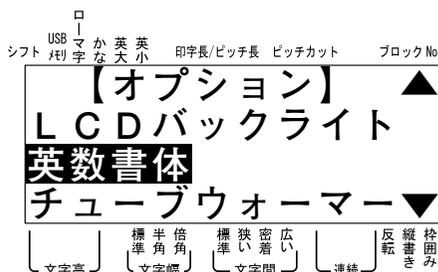
英数字を標準と太字の2種類から選択します。

- ① **オプション** キーを押した後、**決定** キーを押してオプション設定を選び、**確定** キーを押します。



※この画面はLM-390Tのみ表示されます。

- ② **決定** キーを数回押して、「英数書体」を反転表示させ、**確定** キーを押します。



- ③ 「英数書体」設定画面で、**決定** キーを押して「太字」を反転表示させます。

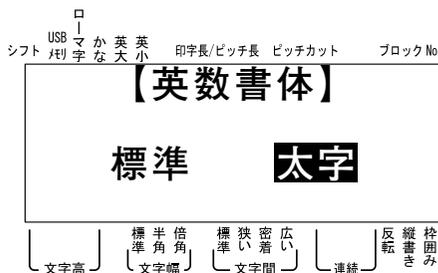


- ④ **確定** キーを押して、設定します。

※初期値は「標準」です。

※ **削除** キーを押すと初期値に戻ります。

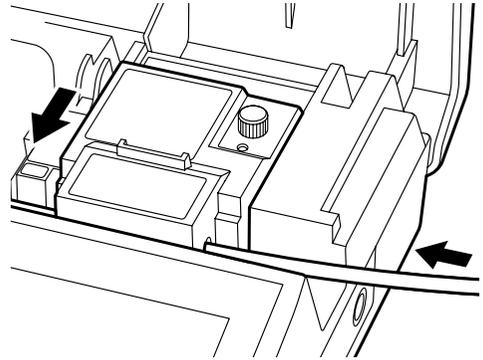
※ **取消** キーを押すと、オプション選択画面に戻ります。



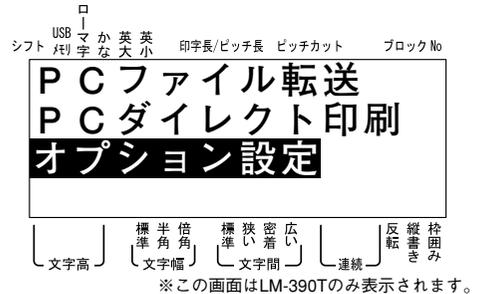
7-10-15 チューブウォーマーを使う (LM-390T/W、LM-340T/Wのみ)

ご使用の場所の気温が20℃以下の場合は、チューブへの印字がかすれる場合があります。この場合、チューブウォーマーを使うことで、チューブを暖めやわらかくして印字品質を向上させることができます。印字する直前に設定して、印字を行なってください。

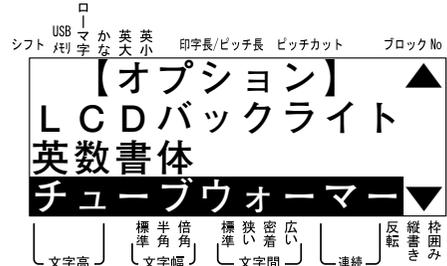
- ① 印字内容を入力後、チューブウォーマーを表示部側にカチッとするまでスライドし、チューブをセットします。



- ② **オプション** キーを押した後、**決定** キーを押してオプション設定を選び、**確定** キーを押します。



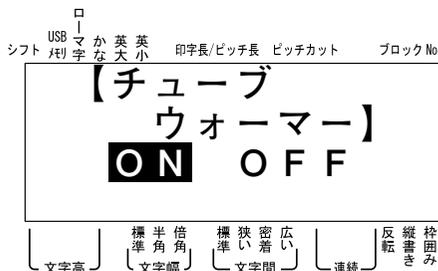
- ③ **決定** キーを数回押して、「チューブウォーマー」を反転表示させ、**確定** キーを押します。



- ④ 「チューブウォーマー」設定画面で、**決定** キーを押して「ON」を反転表示させます。



- ⑤ **確定** キーを押して、設定します。
 ※初期値は「OFF」です。
 ※ **削除** キーを押すと初期値に戻ります。
 ※ **取消** キーを押すと、オプション選択画面に戻ります。



- ⑥ ウォーマー部のLEDランプが点灯し、加温します。
 ※一定温度になると自動的に加温を停止しLEDランプは消灯します。
 ※一定温度を下回ると再度LEDランプが点灯し、加温を開始します。
 ※固い場合はチューブや室温に合わせて温度調整ダイヤルを回して調整してください。

- ⑦ **印刷** キーを押して印字します。



- ☆チューブウォーマーで使用できるチューブ径は、内径φ2.5~4.2mmまでです。
- ☆上記以外のチューブ径を設定している場合は、チューブウォーマーをONに設定できません。
- ☆チューブウォーマーON設定後、チューブ径を上記範囲外に設定変更すると、チューブウォーマーはOFFになります。
- ☆電源OFFすると、チューブウォーマー設定はOFFになります。
- ☆チューブウォーマーをONにした状態でチューブをセットしたままにしておくと、チューブが温まりすぎて正常に印字できない場合がありますので、ご注意ください。

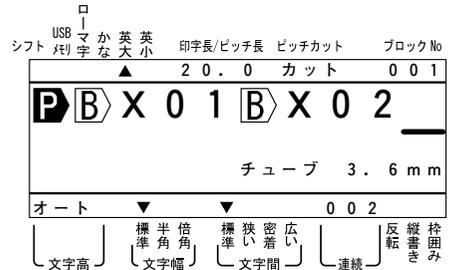
7-11 印刷する

作成した文書の印刷・イメージ確認と印刷全長補正について説明します。

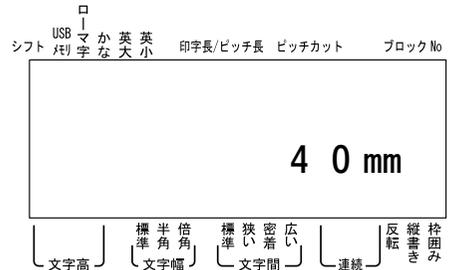
7-11-1 イメージ表示

作成した文書の印刷イメージを表示します。イメージ表示の直前に印刷全長をmm単位で表示します(2、3秒間)。画面を右から左へスクロールしながら全体を表示し、終了すると元の文書の入力画面に復帰します。

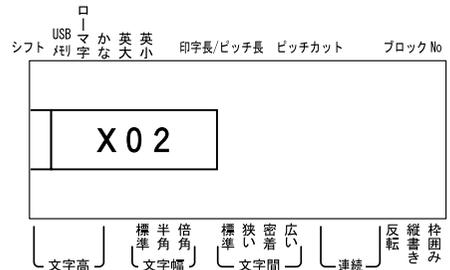
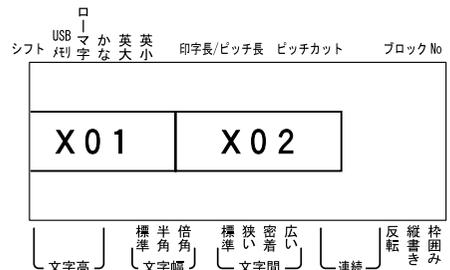
①文書を作成後、**イメージ**キーを押します。



②画面の右から左に向かって印刷物をスクロールしながら表示します。イメージスクロールを一時停止するには**△**キーを、スクロール速度を速めるには**▶**キーを、スクロール速度を遅らせるには**Ⓚ**キーを押します。



取消キーを押すと、イメージ表示を中止します。



☆作成文書が無い状態で**イメージ**キーを押すと「作成文書無し」エラーを表示し、イメージ表示しません。

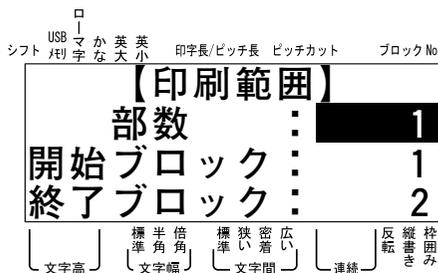
☆イメージ表示はLCD画面の上下中央で、右から左へスクロールして表示します。

7-11-2 印刷範囲を選択する

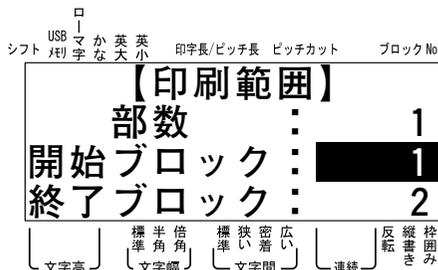
作成した文書の印刷範囲を開始・終了のブロック番号で指定し、印刷範囲を設定して印刷します。初期値は「開始＝1」「終了＝作成文書の最終ブロック番号」で、設定範囲は各々「1 (または開始番号) ～最終ブロック番号」です。

①  キーを押します。

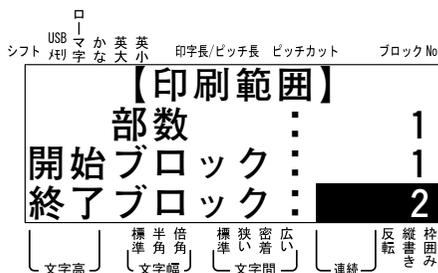
②画面に【印刷範囲】と表示し、「部数」の値が反転表示します。 または  キーを押し、入力済の印刷部数を設定します。部数は1～30まで設定できます。



③続いて  または  キーで開始番号か終了番号を選択し、 または  キーで印刷を開始するブロック番号と終了するブロック番号を指定します。直接、数字キーで3桁の整数を入力する事も出来ます。



④入力した数字の最後の桁を削除するには  キーを、設定を初期値に戻すには  キーを、印刷全長補正画面に進むには  キーを、印刷設定を中止するには  キーを押します。



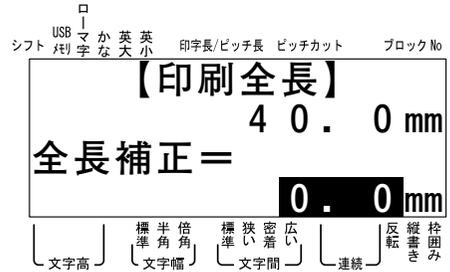
☆ピッチ印刷をしない場合(全ての  を削除した場合は、 キーを押すと、すぐに印刷を開始します。

☆印刷物をセットせずに上記②で  キーを押すと「印刷物なし」を表示して印刷範囲選択画面に戻ります。

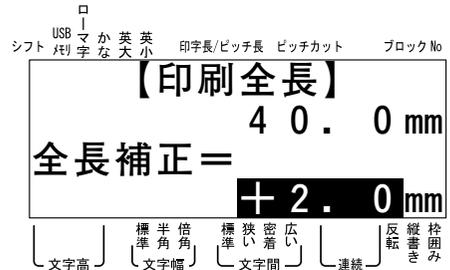
7-11-3 印刷物全体の長さを補正し、印刷する

前述の「印刷範囲」設定に引き続き、印刷物全体の長さ補正を設定し、印刷します。
初期値は0mm、設定範囲は「印刷個数×0.3mm～印刷全体長の+5%」で0.1mm単位です。

- ①画面に【印刷全長】と表示し印刷物全体の長さを0.1mm単位で、画面下段には「全長補正=0mm」と表示します。



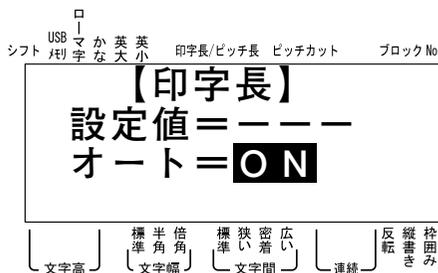
- ② **⏎** キーまたは **➡** キーで補正値を増減して **確定** キーを押すと、印刷を実行します。印刷物の「全長補正」を初期値に戻すには **削除** キーを、印刷範囲選択画面に戻すには **取消** キーを押します。



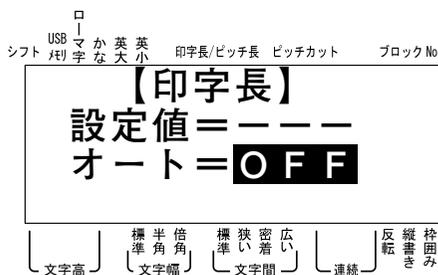
7-12 決めた長さで印字する（ピッチ印刷ではない場合）

ピッチ印刷ではない場合（先頭の **P** を削除して印字長モードにした場合）でも、印刷する長さをあらかじめ決めて印刷できます。

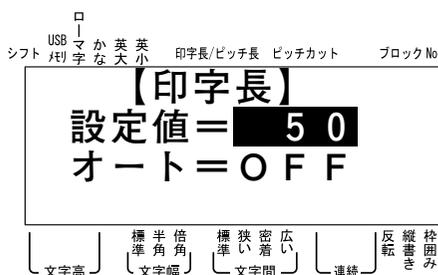
- ① **シフト** キーを押してから **印字長** キーを押します。



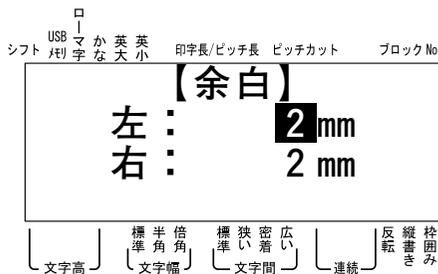
- ② 「印字長」設定画面で、「オート」の「ON」を **ON/OFF** キーで「OFF」にします。



- ③ 続けて **数字** キーを押して「設定値」の欄を反転表示し、数字キーで入力します。
- ・設定値の単位はmmです。
 - ・設定できる範囲は10~300mmです。



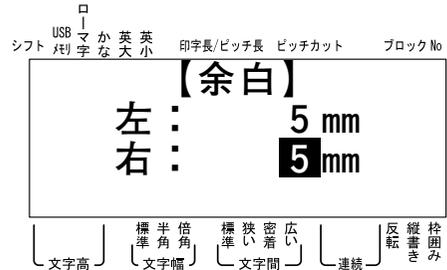
- ④ **確定** キーを押します。続けて余白を設定します。



- ⑤ 「余白」設定画面で「左」の欄を反転表示し、数字キーで左余白を入力します。
- ・設定値の単位はmmです。
 - ・設定値の範囲は、2～30mm (1mm単位)です。



- ⑥ キーを押して「右」の欄を反転表示し、数字キーで右余白を入力します。
- ・設定値の単位はmmです。
 - ・設定値の範囲は、2～30mm (1mm単位)です。



☆ピッチ印刷時 (先頭の **P** がある場合) には、この操作はエラーとなります。

☆印字長の設定値が65mm以下の場合に、右図のように「合計：**mm以下」のガイドメッセージが表示されます。メッセージに従って、左右余白の設定値を入力してください。

※「**mm」の**には、設定した印字長-6の値が表示されます。



7-13 メモリに保存する／呼び出す

作成した文書はメモリに保存できます。保存する内容は文書とチューブ／テープを識別する情報です。本体内に保存する内部メモリと、USBメモリに保存する外部メモリがあります。

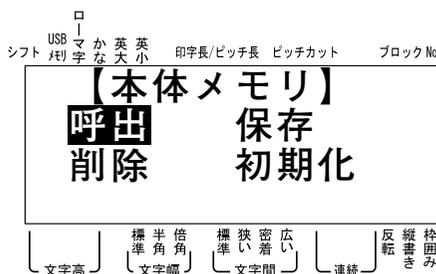
7-13-1 内部メモリに保存する

本体内部のメモリに文書を保存します。

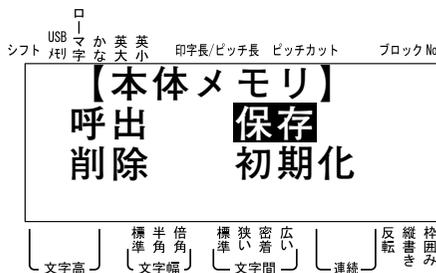
レタツイン本体には、最大50ファイル（合計文字数は最大100,000文字）まで文書を保存できます。

1ファイルは最大5000文字です。

- ① **MEMI** キーを押します。

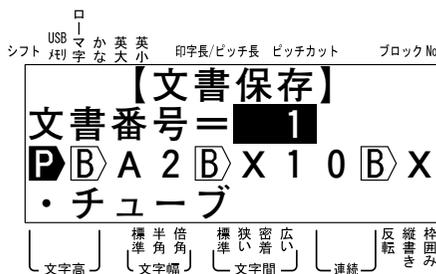


- ②画面が【文書メモリ】に変わり、呼出・保存・削除・初期化の内「呼出」が反転表示しています。



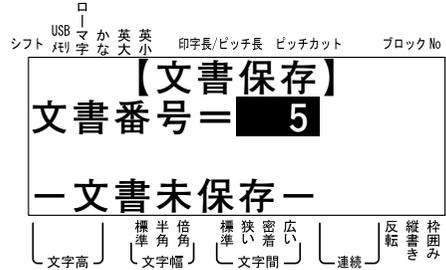
- ③ **▲** または **▼** キーを押すと呼出／削除、保存／初期化を切換え、**◀** キーまたは **▶** キーを押すと呼出／保存／削除／初期化を切換えられます。ここでは **▶** キーを押して「呼出」を「保存」に切換えて **確定** を押します。

- ④画面が【文書保存】に変わり、2行目に文書番号（1～50）、3行目には選択した番号に保存されている文書の先頭10文字、4行目には選択した番号に保存されている文書のチューブ／テープ区分を表示します。

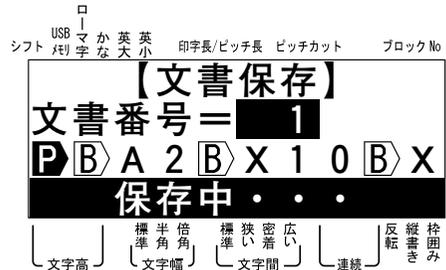
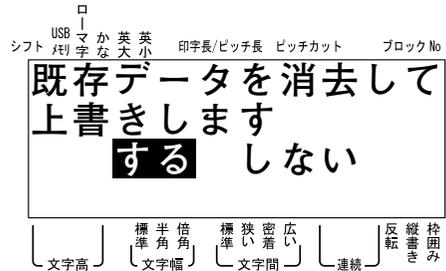


- ◀** または **▶** キーを押して、文書番号を選び、**確定** を押します。文書が保存されます。

選択した番号に文書が保存されていない場合は右図のように表示します。



⑤すでに同じ番号で文書が登録済みの場合「既存データを消去して上書きします」と表示しますので、**Ⓚ**キーまたは**Ⓛ**キーで「するしない」を選び **確定** キーを押します。画面4行目に「保存中」を表示し、消えたら保存完了です。



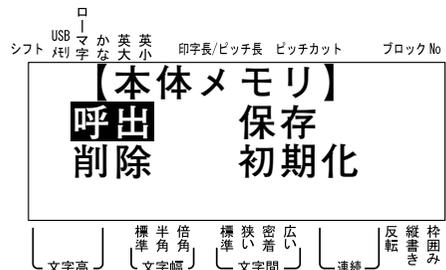
7-13-2 内部メモリを呼び出す

本体内部のメモリに保存した文書を読み出します。

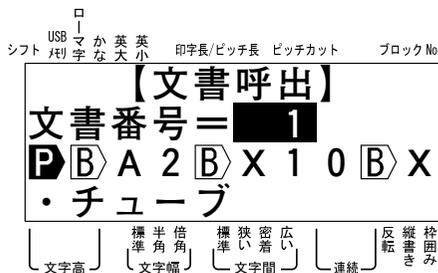
画面の2行目に文書番号 (1~50)、3行目には選択した番号に保存されている文書の先頭10文字、4行目には選択した番号に保存されている文書のチューブ/テープ区分を表示します。

① **メモリ** キーを押します。

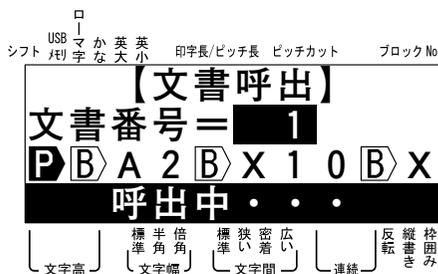
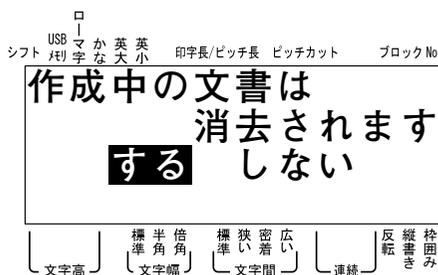
②画面が【本体メモリ】に変わります。「呼出削除」が反転表示していることを確認し、**確定** キーを押します。



③画面が【文書呼出】に変わりますので、**Ⓚ**キーまたは**Ⓚ**キーで文書番号を1桁ずつ増減するか、数字キーで直接入力して**確定**キーを押します。この時入力値の最後の桁を削除するには**BS**キーを、設定を初期化(文書番号を1に戻す)するには**削除**キーを、メモリ操作を中止するには**取消**キーを押します。

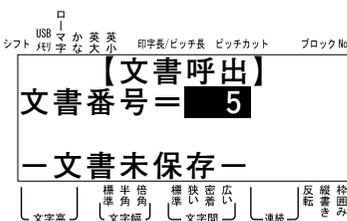


④「作成中の文書は消去されます」と表示し、「する」のまま**確定**を押すと、画面4行目に「呼出中」を表示します。表示が消えたら呼び出し完了です。



- ☆文書番号は数字キーで直接指定することもできます。
- ☆設定を初期化するには**削除**キーを、メモリ操作を中止するには**取消**キーを押します。
- ☆メモリに保存される情報は次のものです。
 - ・チューブ/テープ ・入力文字 ・文字高さ ・文字幅 ・連続設定 ・連番設定
 - ・印字長(ピッチ長) ・余白 ・縦一横書き設定 ・ピッチカット ・枠囲み設定
 - ・文字配置 ・文字間 ・行間

☆保存してない文書を呼び出すと警告音がして呼び出せません。



7-13-3 選択した本体メモリを削除する

本体メモリに保存してある文書を削除します。

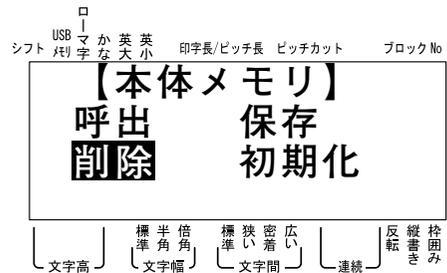
画面の2行目に文書番号 (1~50)、3行目には選択した番号に保存されている文書の先頭10文字、4行目には選択した番号に保存されている文書のチューブ/テープ区分を表示します。

① **MEMI** キーを押します。

②画面が【本体メモリ】に変わります。

OK キーを押して「削除」を反転表示させ、

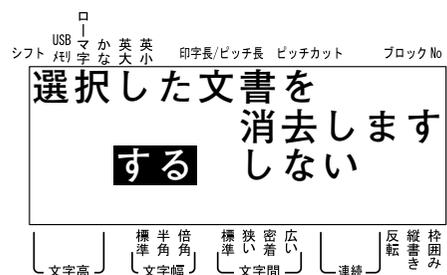
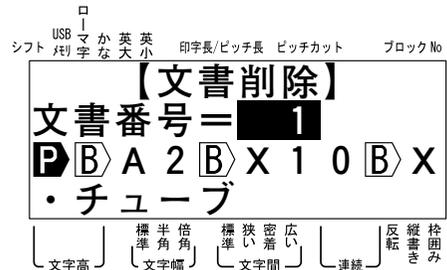
確定 キーを押します。



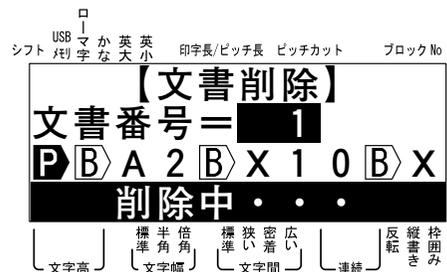
③画面が【文書削除】に変わりますので、

OK キーまたは **左右** キーで文書番号を1桁ずつ増減するか、数字キーで直接入力して **確定** キーを押します。この時入力値の最後の桁を削除するには **BS** キーを、設定を初期化する (文書番号を1に戻す) には **削除**

キーを、メモリ操作を中止するには **取消** キーを押します。



④【文書削除】画面4行目に「削除中」を表示し消えたら呼び出し完了です。

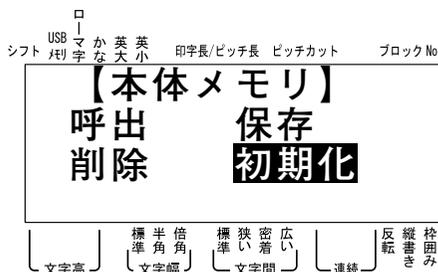


☆保存していない文書を削除しようとすると警告音がして削除できません。

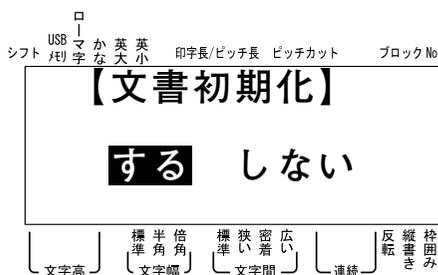
7-13-4 すべての本体メモリを削除する

本体内部の文書メモリをすべて削除（初期化）します。

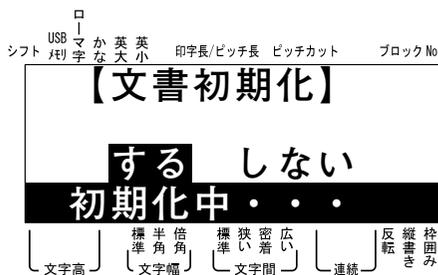
- ① **MEMI** キーを押します。
- ② 画面が【**本体メモリ**】に変わり、呼出・保存・削除・初期化の内「呼出」を反転表示しますので、**⊗**/**⊙** キーを順に押すか、**Ⓚ** キーを1回押して「初期化」を選び **確定** キーを押します。



- ③ 【**文書初期化**】画面に変わり「しない」が反転表示していますので、内部メモリを初期化する場合の **Ⓚ** キーで「する」を選び、**確定** キーを押します。文書初期化「しない」に戻すには **削除** キーを、メモリ操作を中止するには **取消** キーを押します。



- ④ 【**文書初期化**】画面4行目に「初期化中」を表示し消えたら、初期化完了です。



7-13-5 外部メモリに保存する

市販のUSBメモリを使って、作成した文書の保存・呼出しができます。USBメモリには、専用拡張子のLMF、またはCSVファイル形式で保存します。USBメモリに保存される主な内容は下表の通りです。

ファイル形式	LMFの場合	CSVの場合
フォルダ名	○	○
文字	○	○
選択した印字物	○	×
設定値 (文字高さ、ピッチ長など)	○	×

作成した文書を外部メモリに保存する時の各項目と内容

フォルダ

作成した文書をカード内のどこに保存するかを指定します。フォルダ名は英大文字 (A～Z) と数字 (0～9) を組み合わせて8文字以内で入力できます。

拡張子

LMF・CSVのどちらかを選択できます。CSV形式は文書内容のみ、LMF形式では作成時の印刷物選択 (チューブ・テープ区分) と設定値 (文字高さやピッチ長など) も記憶されます。

ファイル

作成した文書の登録名称を指定します。ファイル名は英大文字 (A～Z) と数字 (0～9) を組み合わせて8文字以内で入力できます。

日付

保存するファイルの日付 (年/月/日) を指定します。年月日は各2桁ずつ必ず入力します。数字 (0～9) 以外は入力できません。



☆使用できるUSBメモリには、以下の条件があります。

- 1) セキュリティ機能の無いもの
- 2) 外形が、L65mm×D22mm×H10mm以内のもの (本機にセットできるサイズです。)

☆パソコンから本機にセットしたUSBメモリに直接データを保存したり、呼び出したりすることはできません。

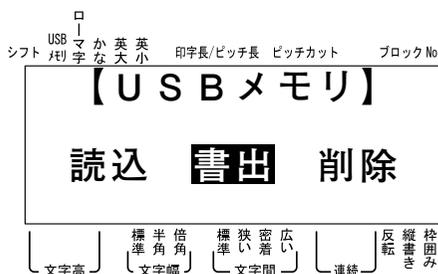
☆一度、USBメモリを外す操作 (を押してから を押す) をした後、再度読み込み可能とするためには、本体電源を切ってUSBメモリを一度外してから、再度装着してください。

①本書34ページに従い、USBメモリを本体にセットします。

② **シフト** キーを押してから、 **オカシ** キーを押します。

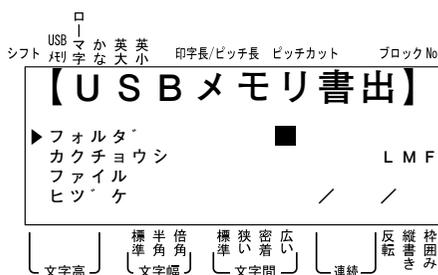
③画面が【USBメモリ】に変わります。

⏪ キーを押して「書出」を反転表示させ、
確定 キーを押します。

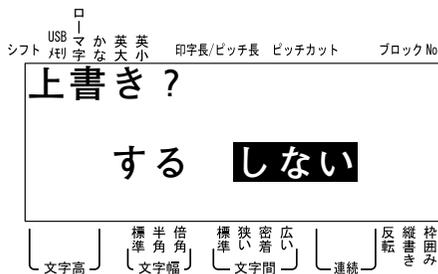
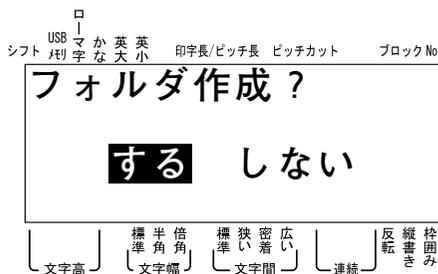


④画面が【書出】に変わりますので、フォルダ・拡張子・ファイル・日付の順に指定します。全て入力し終えたら、 **確定** キーを押します。

入力位置を切り換えるには **⬆** または **⬇** キーを、拡張子 (LMF・CSV) を切り換えるには **Ⓚ** キーまたは **Ⓛ** キーを、【文書カード】画面に戻すには **取消** キーを押します。



⑤初めて外部メモリに保存する場合や新規にフォルダ名を付け直した時には、「フォルダ作成?」と表示しますので、「する・しない」を **Ⓚ** キーまたは **Ⓛ** キーで選び **確定** キーを押します。「フォルダ作成?」で「しない」を選ぶと【書出】画面に戻り、「する」を選ぶと「書込中」を表示してカードに保存されます。登録済みのフォルダに同じ拡張子・ファイル名で保存する場合は「上書き?」と表示しますので、「する・しない」を **Ⓚ** キーまたは **Ⓛ** キーで選び **確定** キーを押します。「上書き?」で「しない」を選ぶと【書出】画面に戻り、「する」を選ぶと「書込中」を表示してカードに保存されます。



7-13-6 外部メモリから文書を読み込む

USBメモリに保存してある文書を読み込みます。

読み込めるファイル形式は、USBメモリに保存してあるLMF、CSV形式ファイルです。

CSV形式ファイルでは、文書内容（文字）のみ取り込むことができます。

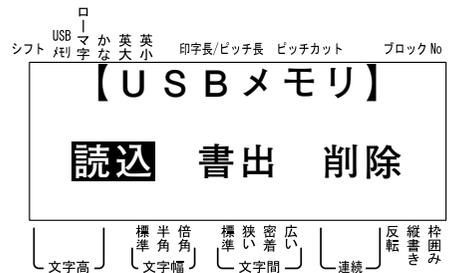
LMF形式ファイルでは、文書内容以外に印字物、文字高さ、ピッチ長などの設定情報も読み込みます。(LM-390T/W、LM-390Tのみ対応)

① **ソフト** キーを押し、**読み** キーを押します。

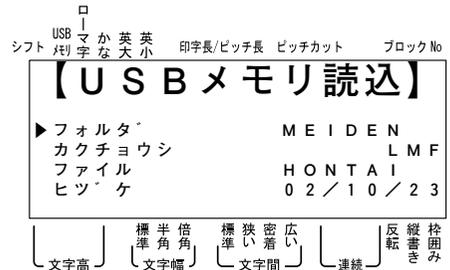
②画面が【USBメモリ】になります。

「読み」が反転表示していることを確認し、

確定 キーを押します。

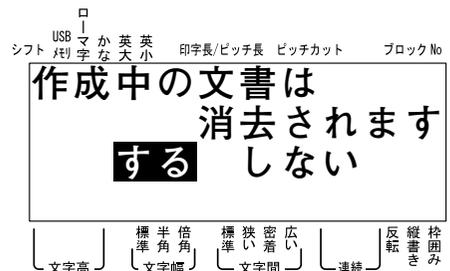


③画面が【USBメモリ読み】に変わり、保存している文書のフォルダ・拡張子・ファイル・日付を表示します。項目を切り換えるには **上** または **下** キーを、項目ごとに表示を切り換えるには **左** キーまたは **右** キーを押します。フォルダや拡張子を切り換えた時にファイル・日付を表示しない場合は、登録されたファイルがありません。また **上** または **下** キーを押しても日付は選べません。

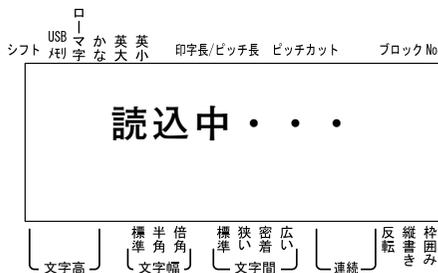


④読み込みたいファイルを選び、**確定** キーを押します。【USBメモリ】画面に戻すには **取消** キーを押します。

⑤「作成中の文書は消去されます」と表示しますので、**左** キーまたは **右** キーで「する・しない」を選び **確定** キーを押します。「しない」を選ぶと【USBメモリ読み】画面に戻ります。



- ⑥画面最下段に「呼出中」を表示し、選んだファイルを読み込みます。

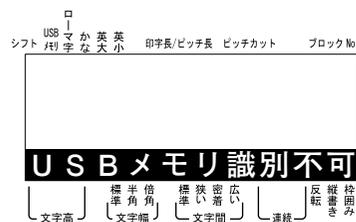
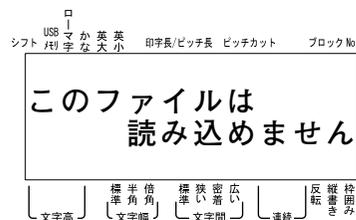


第7章

メモリに保存する／呼び出す



- ☆LMF形式でファイルバージョンがあわない場合は「このファイルは読み込めません」と表示し、読み込むことはできません。
- ☆保存ファイルと現在の印刷物選択が異なっても読み込むことができます。
- ☆USBメモリが、使用できるタイプではない場合などには、「USBメモリ識別不可」と表示されます。使用できるUSBメモリをご使用ください。



7-13-7 外部メモリのファイルを削除する

本機でUSBメモリ内の文書ファイルを削除できます。

① **シフト** キーを押してから、**削除** キーを押します。

② 画面が【USBメモリ】になります。

削除 キーを押して「削除」を反転表示させ、

確定 キーを押します。

③ 【USBメモリ削除】になります。

上 または **下** キーで項目を切り替え、**OK**

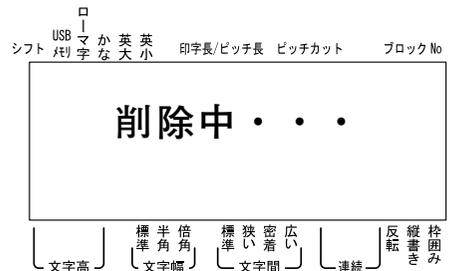
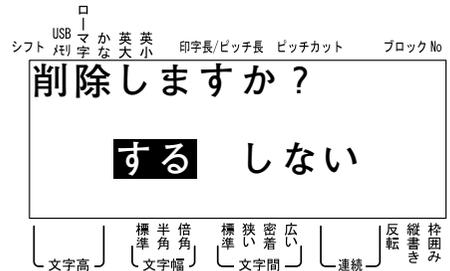
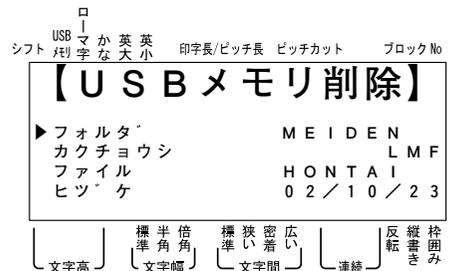
または **削除** キーで削除するファイル名を表示し、

確定 キーを押します。

④ **OK** キーを押して「する」を反転表示し、

取消 キーを押します。

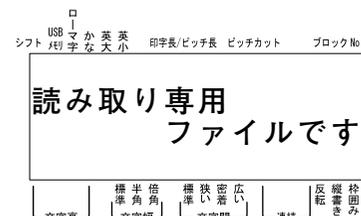
⑤ 「削除中・・・」を表示し、選択したファイルを削除します。



第7章 メモリに保存する／呼び出す



☆選択したファイルがパソコンで「読み取り専用」として設定されている場合、メッセージを表示した後、削除しないで、手順③画面に戻ります。

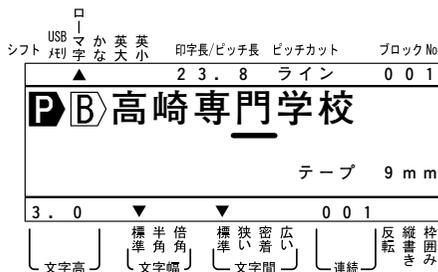


7-14 よく使う語句を保存する／呼び出す

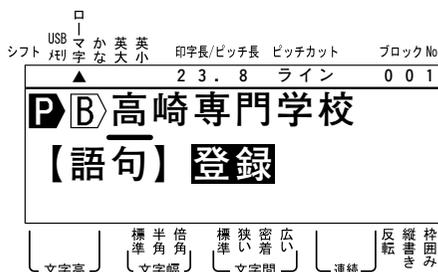
よく使う語句を最大15文字で30個保存して呼び出せます。但し行マーク・ブロックマーク・ピッチマーク・連番マークは語句登録できません。

7-14-1 語句を登録する

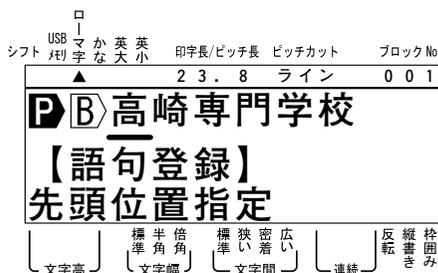
①登録したい文字を入力し、**語句** キーを押します。



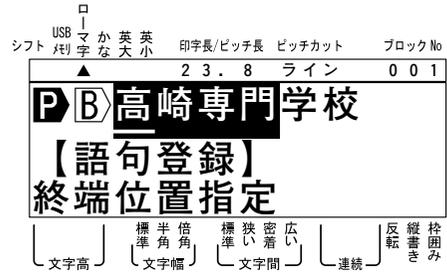
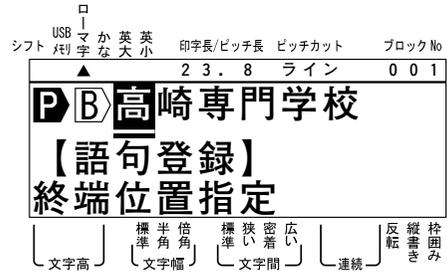
②画面の上下中央部に**【語句】**と表示し「呼出」が反転表示していますので、**⏪**または**⏩**キーで「登録」を選び、**確定** キーを押します。



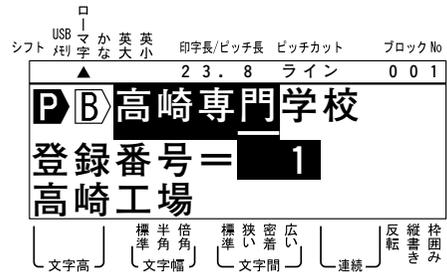
③画面が**【語句登録】**に変わり、画面最下段に「先頭位置指定」と表示しますので、入力した文字の内語句として登録する範囲の先頭の文字に**⏪**または**⏩**キーでカーソルを合わせ、**確定** キーを押します。



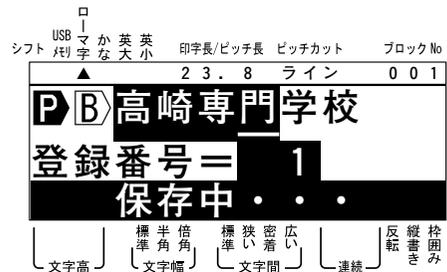
- ④画面最下段の表示が「後端位置指定」に変わりますので、語句登録する範囲の最後の文字に **Ⓚ** または **Ⓜ** キーでカーソルを合わせ、**確定** キーを押します。(語句として登録できる文字数は、1個当り15文字までです。16文字以上はカーソルが移動せず、指定できません。)



- ⑤画面の上下中央に「登録番号=」と表示して「1」を反転表示しますので、1~30の数字を直接キー入力するか、**Ⓚ** または **Ⓜ** キーで登録番号を選んで **確定** キーを押します。語句未登録の番号を選ぶと画面最下段には「一語句未保存一」を、登録済みの番号に上書きする場合は登録した語句の先頭10文字を表示します。(上書きで保存する場合もメッセージ表示しませんので注意して下さい。)



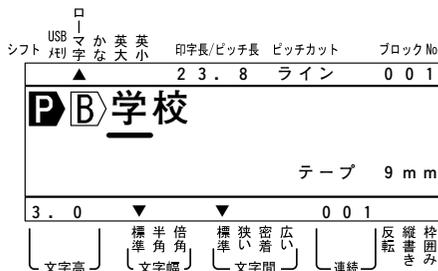
- ⑥画面最下段に「保存中」を表示し元の入力画面に戻れば語句登録は完了です。



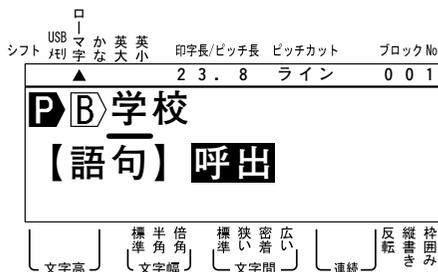
7-14-2 登録した語句を呼び出す

呼び出した語句はカーソルの位置に挿入されますので、呼び出したい位置にカーソルを合わせて操作します。

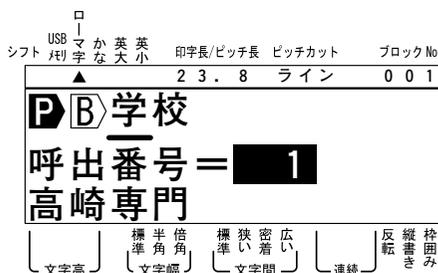
① **語句** キーを押します。



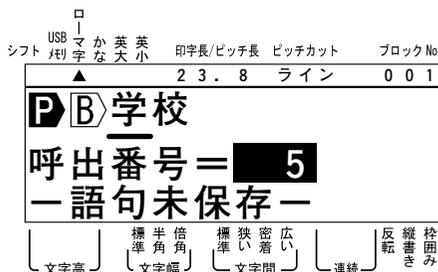
②画面の上下中央に【語句】と表示し「呼出」が反転表示しますので、そのまま **確定** キーを押します。



③画面の上下中央に「呼出番号=」と表示して「1」を反転表示しますので、呼び出したい語句の番号を1～30の数字を直接キー入力するか、**Ⓚ**または**Ⓛ**キーで選んで **確定** キーを押します。

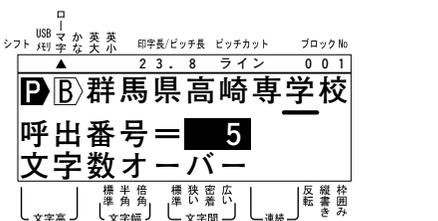


語句未登録の番号を選ぶと画面最下段には「一語句未保存」を、登録済みの番号を選ぶと登録した語句の先頭10文字を表示します。



☆既に入力済みの文字と合わせて、最大入力文字数を超える場合は「文字数オーバー」を表示し、規定文字数以内だけを挿入・表示します。

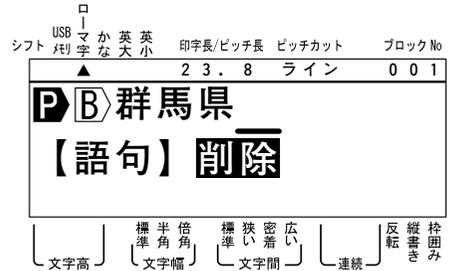
※最大入力文字数は5000文字です。



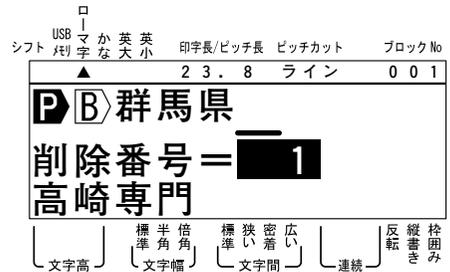
7-14-3 登録した語句を削除する

① **語句** キーを押します。

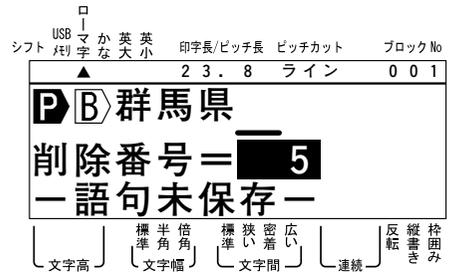
②画面の上下中央部に【語句】と表示し「呼出」が反転表示していますので、**⏪** または **⏩** キーで「削除」を選び、**確定** キーを押します。



③画面の上下中央に「削除番号=」と表示して「1」を反転表示しますので、削除したい語句の番号を1～30の数字を直接キー入力するか **⏪** または **⏩** キーで選んで **確定** キーを押します。



語句未登録の番号を選ぶと画面最下段には「一語句未保存一」を、登録済みの番号を選ぶと登録した語句の先頭10文字を表示します。

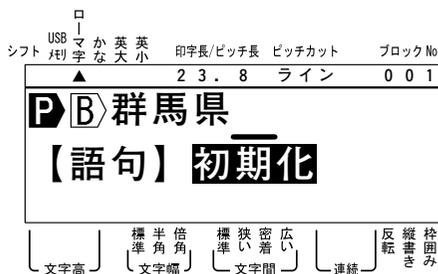


7-14-4 登録してある語句を初期化する

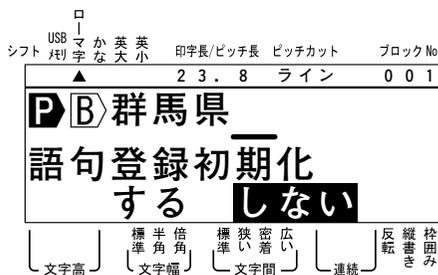
登録してある語句をすべて削除（初期化）します。

① **語句** キーを押します。

②画面の上下中央部に【語句】と表示し「呼出」が反転表示していますので、**Ⓚ**または**Ⓜ**キーで「初期化」を選び、**確定** キーを押します。



③画面の上下中央に「語句登録初期化」と表示して最下段に「しない」を反転表示しますので、「する しない」を**Ⓚ**または**Ⓜ**キーで選んで**確定** キーを押します。語句機能選択メニューに戻すには**取消** キーを押します。



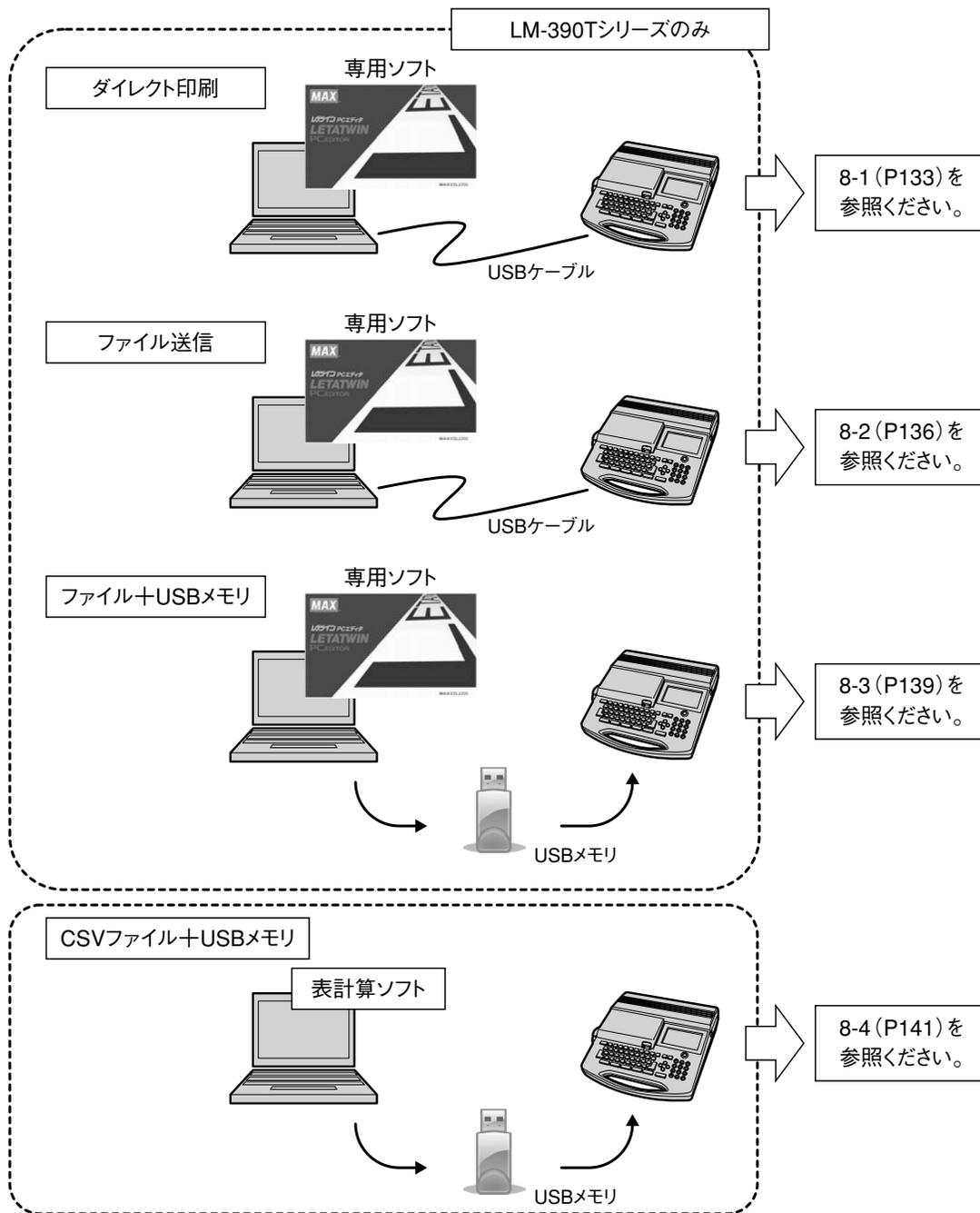
第 8 章

パソコンデータを活用する

- 8-1 パソコンから直接印刷する（専用PCソフトが必要です）
..... 133
- 8-2 パソコンで作成したデータを本体に取り込む
（専用PCソフトが必要です） 136
- 8-3 USBメモリを使ってレタツインPCエディタで作成した
ファイルを取り込む 139
- 8-4 表計算ソフトで作成したデータを本体に取り込む 141

第8章 パソコンデータを活用する

パソコンデータの活用方法には、以下の4種類があります。



8-1 パソコンから直接印刷する(専用PCソフトが必要です)

(ご確認ください)

本機能には、専用ソフト(レタツインPCエディタ)とUSBケーブルが必要です。

「レタツインPCエディタ」は、LM-390T/W、LM-390Tでのみお使いいただけます。

LM-340T/W、LM-340Tでは、「レタツインPCエディタ」はお使いになれません(ダイレクト印刷、ファイル転送共)。ご注意ください。

LM-340T/W、LM-340Tで、PCデータを取り込む場合はUSBメモリに保存されたCSV形式ファイルのみです。詳細は「8-4 表計算ソフトで作成したデータを本体に取り込む」を参照ください。

(準備すること)

- ・あらかじめご使用になるパソコンに「レタツインPCエディタ」とLM-390Tプリンタドライバをインストールしておきます。
インストール及び使いかたについては、専用PCソフト付属の取扱説明書をご覧ください。
- ・本機にインクリボンと印字物をセットし、USBケーブルでPCと接続し電源をONにしておきます。

専用PCソフトで入力した内容を、直接本機で印刷します。

パソコン用プリンタの感覚でお使いいただけます。

① PCでの操作

「レタツインPCエディタ」を起動し、必要なデータを入力します。

② PCでの操作

メニューバーの「ファイル」→「印刷」を選びます。



☆本機が印刷できる状態になっていない場合は、本機でエラー表示となります。その場合は、本機で **取消** を押した後、再度PCでの印刷操作が必要です。

☆本機が印刷途中で消耗品や印字物がなくなった場合は、本機でエラー表示となります。その場合は、本機で **取消** を押した後、再度PCでの印刷操作が必要です。途中からの継続印刷はできません。

③ PCでの操作

印刷ダイアログが表示されますので、必要な項目を設定し、[印刷実行] をクリックします。

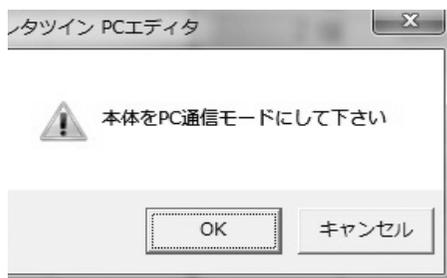
※ [キャンセル] をクリックすると印刷操作を中止し、入力画面に戻ります。



④ PCでの操作

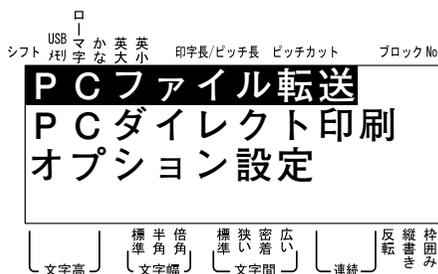
「本体をPC通信モードにして下さい」と表示されます。

[OK] をクリックする前に、本体の準備を行います。



⑤ 本機での操作

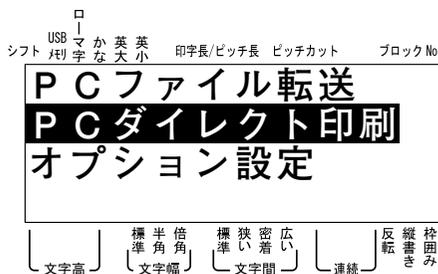
[ファンクション] を押します。



⑥ 本機での操作

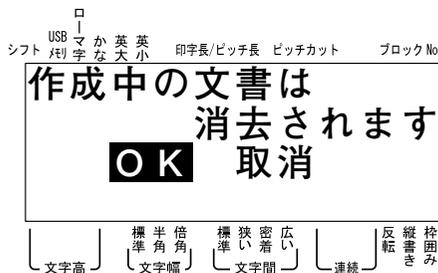
[決定] を押して、「PCダイレクト印刷」を選び、

[確定] を押します。



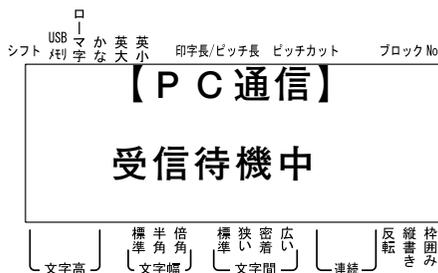
⑦ **本機での操作**

Ⓚを押して、「OK」を選び、**確定**を押します。



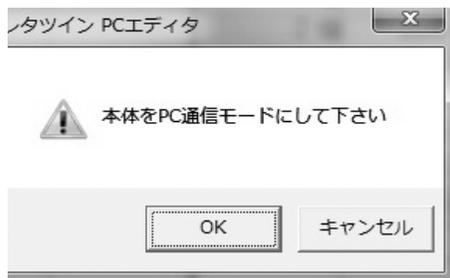
⑧ **本機での操作**

「【PC通信】 受信待機中」と表示されたことを確認します。



⑨ **PCでの操作**

[OK] をクリックします。



⑩ **本機での操作**

印刷が始まります。

PCでの操作

右のメッセージが表示されます。
「OK」をクリックします。



8-2 パソコンで作成したデータを本体に取り込む(専用PCソフトが必要です)

(ご確認ください)

本機能には、専用ソフト(レタツインPCエディタ)とUSBケーブルが必要です。
「レタツインPCエディタ」は、LM-390Tシリーズでのみお使いいただけます。

LM-340T/W、LM-340Tでは、「レタツインPCエディタ」はお使いになれません(ダイレクト印刷、ファイル転送共)。ご注意ください。

LM-340T/W、LM-340Tで、PCデータを取り込む場合はUSBメモリに保存されたCSV形式ファイルのみです。詳細は「8-4 表計算ソフトで作成したデータを本体に取り込む」を参照ください。

(準備すること)

- ・あらかじめご使用になるパソコンに「レタツインPCエディタ」とLM-390Tプリンタドライバをインストールしておきます。
インストール及び使いかたについては、専用PCソフト付属の取扱説明書をご覧ください。
- ・本機にインクリボンと印字物をセットし、USBケーブルでPCと接続し電源をONにしておきます。

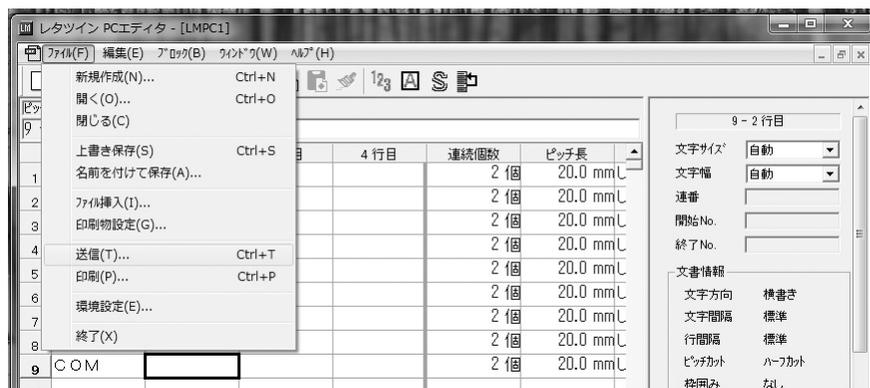
専用PCソフトで入力した内容(文字や設定)を、直接本機の内部メモリに送信します。

① PCでの操作

「レタツインPCエディタ」を起動し、必要なデータを入力します。

② PCでの操作

メニューバーの「ファイル」－「送信」を選びます。



☆本体メモリをPCに直接吸い上げることはできません。

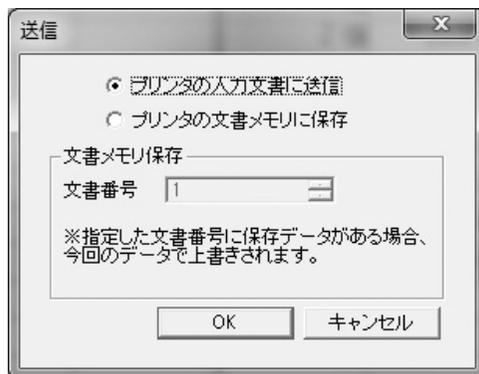
☆本体メモリをPCにバックアップする場合は、本機にセットしたUSBメモリを利用してください。

③ PCでの操作

送信ダイアログが表示されます。

「プリンタの入力文書に送信」にチェックし、[OK] をクリックします。

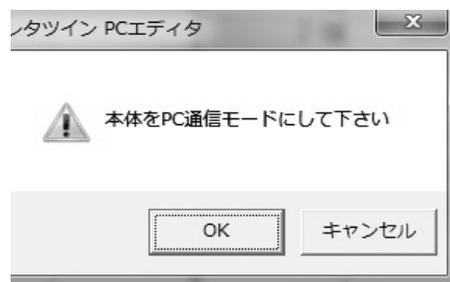
※ [キャンセル] をクリックするとファイル送信操作を中止し、入力画面に戻ります。



④ PCでの操作

「本体をPC通信モードにして下さい」と表示されます。

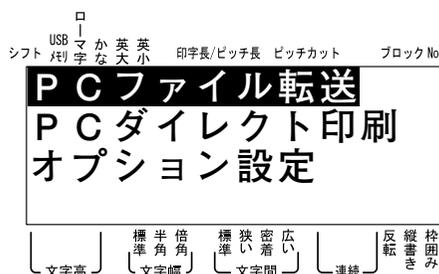
[OK] をクリックする前に、本体の準備を行います。



⑤ 本機での操作

オプション を押します。

「PCファイル転送」を選び、**確定** を押します。

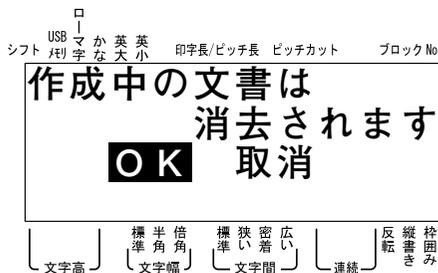


☆手順③のとき、「プリンタの文書メモリに保存」にチェックし「OK」をクリックすると、本機の内部メモリの指定番号にファイルを送信することができます。

☆複数のファイルを送信するときは、それぞれのファイルを呼び出しこの操作を繰り返してください。

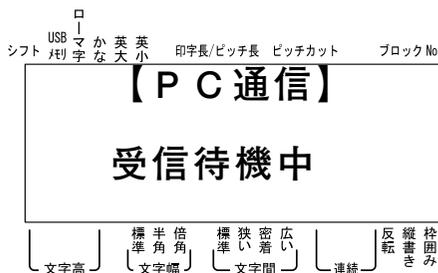
⑥ 本機での操作

Ⓚを押して、「OK」を選び、**確定**を押します。



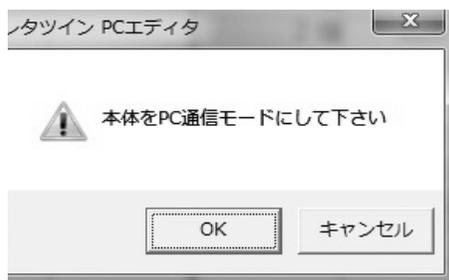
⑦ 本機での操作

「【PC通信】 受信待機中」と表示されたことを確認します。



⑧ PCでの操作

[OK] をクリックします。



⑨ PCでの操作

右のメッセージが表示されます。「OK」をクリックします。



⑩ 本機での操作

「【PC通信】 受信待機中」表示が消え、受信したファイルが入力された状態で表示されます。を押して印刷します。

8-3 USBメモリを使ってレタツインPCエディタで作成したファイルを取り込む

(ご確認ください)

本機能には、専用ソフト（レタツインPCエディタ）とUSBメモリが必要です。
「レタツインPCエディタ」は、LM-390Tシリーズでのみお使いいただけます。

LM-340T/W、LM-340Tでは、「レタツインPCエディタ」はお使いになれません（ダイレクト印刷、ファイル転送共）。ご注意ください。

LM-340T/W、LM-340Tで、PCデータを取り込む場合はUSBメモリに保存されたCSV形式ファイルのみです。詳細は「8-4 表計算ソフトで作成したデータを本体に取り込む」を参照ください。

(準備すること)

- ・あらかじめご使用になるパソコンに「レタツインPCエディタ」とLM-390Tプリンタドライバをインストールしておきます。
インストール及び使いかたについては、専用PCソフト付属の取扱説明書をご覧ください。
- ・本機にインクリボンと印字物をセットし、電源をONにしておきます。
- ・パソコンにUSBメモリをセットしておきます。

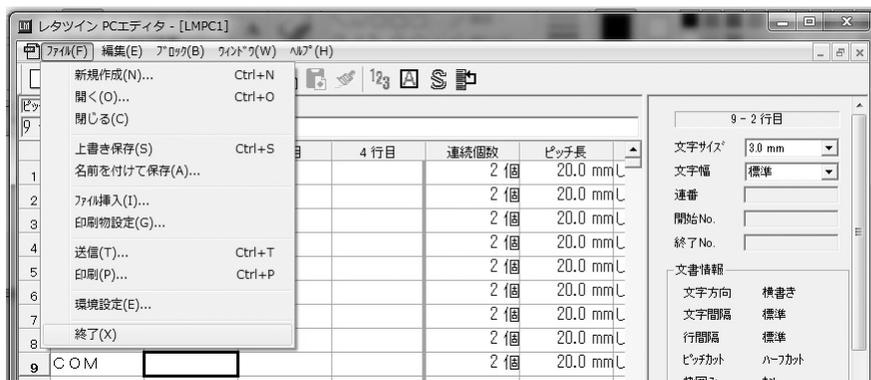
専用PCソフトで入力した内容（文字、設定）を保存したUSBメモリを、本機にセットしデータを取り込みます。

① PCでの操作

「レタツインPCエディタ」を起動し、必要なデータを入力します。

② PCでの操作

メニューバーの「ファイル」－「名前を付けて保存」を選びます。



☆使用できるUSBメモリには、以下の条件があります。

- 1) セキュリティ機能の無いもの
- 2) 外形が、L65mm×D22mm×H10mm以内のもの（本機にセットできるサイズです。）

③ PCでの操作

「保存先を選択してください」が表示されますので、[USBメモリ] をクリックします。
 ※ [X] をクリックすると操作を中止し、入力画面に戻ります。



④ PCでの操作

「USBメモリへの保存」が表示されますので、フォルダを指定して、ファイル名をつけて保存します。
 ※ [キャンセル] をクリックすると操作を中止し、入力画面に戻ります。



⑤ PCでの操作

レタツインPCエディタを終了します。

⑥ PCでの操作

USBメモリを所定の操作で取り外します。

⑦ 本機での操作

本機底面のUSBメモリカバーを開け、USBメモリをセットします。

⑧ PCでの操作

外部メモリ呼び出し操作に従い、保存したファイルを読み出します。



☆外部メモリの呼び出しは123ページを参照ください。



☆USBメモリのルートに直接保存することはできません。

保存するフォルダが無いときは、ダイアログ右上の[フォルダ追加]をクリックしてフォルダを作成してから保存してください。

☆表示されているフォルダを選択し、[フォルダ削除] をクリックすると、指定したフォルダおよびその中のファイルを削除できます。

☆表示されているフォルダを選択し、[フォルダ名変更] をクリックすると、指定したフォルダの名称を変更できます。

8-4 表計算ソフトで作成したデータを本体に取り込む

(ご確認ください)

本機能には、USBメモリが必要です。

本機能は、LM-390T/W、LM-390T、LM-340T/W、LM-340Tどの機種でもご使用いただけます。

(準備すること)

- ・本機にインクリボンと印字物をセットし、電源をONにしておきます。
- ・パソコンにUSBメモリをセットしておきます。

表計算ソフトで一定のルールに基づき、入力された文字データをcsv形式ファイルでUSBメモリに保存し、そのUSBメモリを、本機にセットしてデータを取り込むことができます。

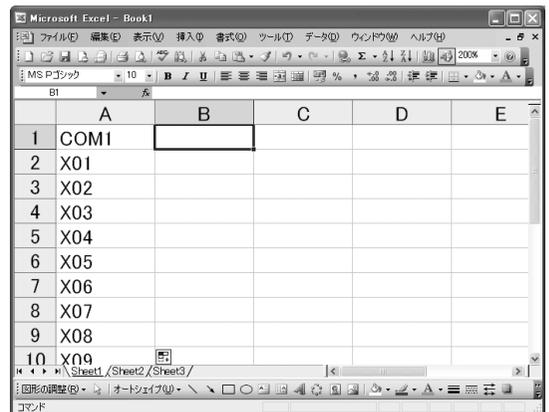
(csvファイルデータを作ります。)

① PCでの操作

Excel等の表計算ソフトを起動し、以下のようにデータを入力します。

② PCでの操作

Excel等の表計算ソフトを起動し、以下のようにデータを入力します。



☆使用できるUSBメモリには、以下の条件があります。

- 1) セキュリティ機能の無いもの。
- 2) 外形が、L65mm×D22mm×H10mm以内のもの（本機にセットできるサイズです。）

☆表計算ソフトを使用して編集したcsvファイルをレタツインで読み込むときの関係は下表のようになります。

csvファイル	A列	B列	C列	D列	E列以降
レタツイン	1行目	2行目	3行目	4行目	無効

③ PCでの操作

メニューバーの「ファイル」→「名前を付けて保存」を選びます。

④ PCでの操作

「保存先」をUSBメモリを選びます。このとき、USBメモリ内にフォルダ作成してください。

「ファイルの種類」から「csv（カンマ区切り）(*.csv)」を選び、ファイル名を付けて作成したフォルダ内に保存します。

⑤ PCでの操作

所定の操作でUSBメモリをPCから取り外します。

⑥ 本機での操作

本機底面のUSBメモリカバーを開け、USBメモリをセットします。

⑦ PCでの操作

外部メモリ呼び出し操作に従い、保存したファイルを呼び出します。



☆外部メモリの呼び出しは123ページを参照ください。



☆USBメモリのルートに直接保存すると本機で読み込むことができません。必ずフォルダを作成し、その中に保存してください。

☆フォルダ名とファイル名は、半角英数字8文字以内としてください。

☆この制限を越えて名前を付けると、本機で正常に読むことができない場合があります。

☆所定の操作をせずにUSBメモリを取り外すとデータを壊す場合があるのでご注意ください。

第 9 章

お手入れのしかた

- 9-1 プラテンローラをクリーニングする……………144
- 9-2 プリンタヘッドをクリーニングする……………146

第9章 お手入れのしかた

9-1 プラテンローラをクリーニングする

快適にお使いいただくため、本機は定期的にお手入れをしていただく必要があります。次のような症状が見られたら、お手入れの時期です。（ご使用頻度やご使用の環境により異なりますが、1ヶ月に1回以上のお手入れが目安です。）

【症状】

- ・チューブの長さが設定値より2mm以上短くなった。
- ・文字がチューブやテープの端（ハーフカット側）に寄ってしまった。

【原因】

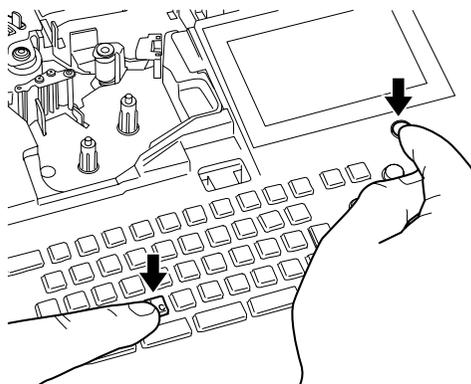
チューブの汚れやホコリがプラテンローラに付着し、これがチューブやテープの送りに影響して生じる症状です。

【お手入れのしかた】

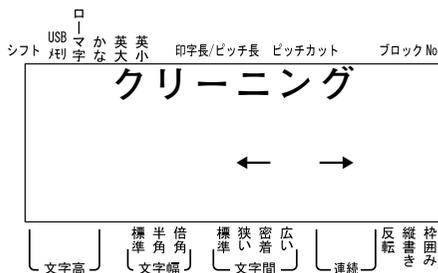
（準備いただくもの）

- ・水に濡らし かたく絞った布、またはアルコールをつけたやわらかい布（糸くずが出やすい布は使わないでください。）

①  を押しながら電源をONにします。



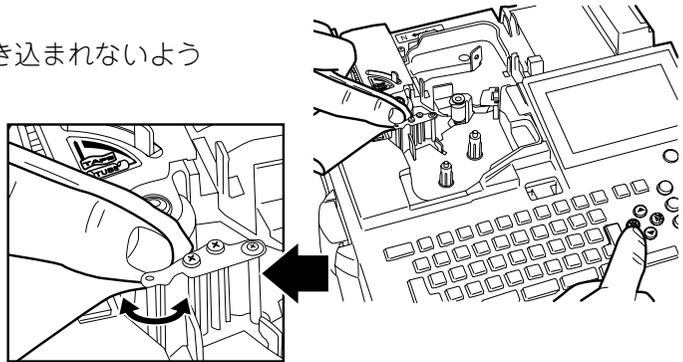
② クリーニングモードが起動します。



③図の位置に、用意した布を当てながら、

(または) を押します。

このとき、指や髪の毛が巻き込まれないよう十分に注意してください。



- ・  を押す：押している間、プラテンローラが送り方向に正転します。
- ・  を押す：押している間、プラテンローラが戻し方向に逆転します。

④プラテンローラ表面の白い汚れがとれたらクリーニング終了です。

⑤電源をOFFにしてください。

注意



クリーニング中は、指や髪の毛が巻き込まれケガをする恐れがあります。
作業は十分注意して行ってください。

9-2 プリンタヘッドをクリーニングする

【症状】

- ・チューブやテープに白く細い横スジが入る。

【原因】

チューブの汚れやホコリがプリンタヘッドに付着し、これがインクリボンの転写に影響して生じる症状です。

【お手入れのしかた】

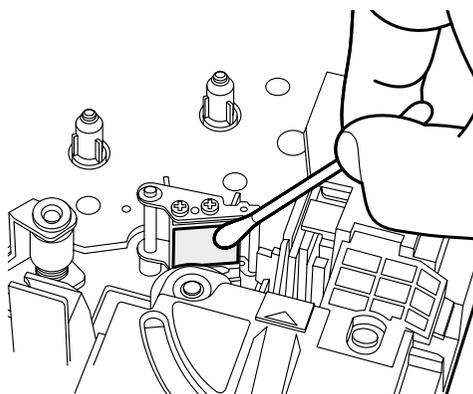
(準備いただくもの)

- ・綿棒
- ・アルコール (IPA：イソプロピルアルコールが適しています)
綿棒に浸して使います。

※乾拭きでも効果はありますが、アルコールを併用するとさらに効果的です。

①電源OFFの状態、カバーを開けます。

②図に示すプリンタヘッド部分を綿棒で拭きます。印字に影響する発熱部分は細く黒いライン状の部分です。この部分を丁寧に拭いてください。



9-1、9-2でご説明した2通りのクリーニングでも症状が改善しない場合は、第10章トラブルシューティングを参照ください。

お願い

☆プリンタヘッドを指で直接触れないでください。故障の原因となります。

第10章

トラブルシューティング

10-1 エラーメッセージ一覧	148
10-2 こんなときは	152

第10章 トラブルシューティング

10-1 エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	内 容	対 応	参照頁
文字数オーバー	入力文書の文字数が制限の5000文字を超えています。	5000文字を超える入力ではできません。メモリ機能を利用するなどして、分割して入・出力してください。	116
行数オーバー	入力文書の行数が4行を超えています。	最大入力行数は4行です。余分な改行マークを削除してください。	78
ブロックオーバー	入力文書のブロック数が300を超えています。	入力できるブロック数は最大300ブロックまでです。メモリ機能を利用するなどして、分割して入・出力してください。	116
入力位置エラー	先頭の P の位置で文字入力や改ブロックをしようとしています。または P と B の間で改行しようとしています。	先頭の P の位置では文字入力や改ブロックはできません。また、 P と B の間で改行はできません。カーソルを移動して入力してください。	—
ブロック内に1個	1ブロック内で複数の連番を設定しました。	連番は1ブロックにつき1つのみ設定できます。複数設定する場合は、複数のブロックに分割して入力してください。	89
文書内15個まで	ピッチ印刷モード時に16個以上の連番を設定しようとしています。	ピッチ印刷モード時、連番は入力文書全体で15個までです。超える分は複数のブロックに文字として個別に入力してください。	89
N 数オーバー	複写/貼付機能を使った時に、文書全体の連番設定数が15個を超えました。	ピッチ印刷モード時、連番は入力文書全体で15個までです。超える分は複数のブロックに文字として個別に入力してください。	89
印字長時1個まで	印字長モード時に2個以上の連番を設定しようとしています。	印字長モード時、連番は入力文書全体で1個までです。メモリ機能を利用するなどして、分割して入・出力してください。	89
他のPから削除	複数の P がある時に、先頭の P を削除しようとしています。	入力文書中に複数の P マークが存在する場合は先頭の P マークは削除できません。次ブロックジャンプ(⊙)を用いて2つ目以降の P マークを見つけて削除してください。先頭以外の P がなくなった状態でのみ、先頭の P が削除できます。	90
文頭でのみ設定可	印字長モード時に文頭以外でピッチ設定を行ないました。	印字長モード(= P の無い状態)からピッチ印刷モード(=先頭に P がある状態)へ移行するには、文頭位置にカーソルをあわせてピッチ長設定をしてください。	90
P 数オーバー	入力文書中で5箇所を超えるピッチ長設定(P の挿入)を行ないました。	ピッチ長設定(= P)は、同一文書に5個まで入力できます。超える分は、メモリ機能を利用するなどして、分割して入・出力してください。	90
ピッチ長変更なし	新たに設定したピッチ長が直前のピッチ設定と同じでした。	ガイドメッセージですので、対応の必要はありません。	90
複写データなし	文書を複写せずに貼付け操作をしました。	複写で一時保存したメモリは電源OFF/ONでクリアされます。再度、複写操作してください。	81
複写容量オーバー	ブロック内の文字が51文字を超えるブロックを複写しました。	文字数が51文字を超えているブロックは複写できません。	81

エラーメッセージ	内 容	対 応	参照頁
複写文字なし	ブロック内に文字がないブロックを複写しました。	入力文字の無いブロックは複写できません。	81
全文削除後に有効	作成中の文書がある状態で設定値初期化操作を行いました。	設定初期化機能は入力文書が無い状態でのみ有効です。全文削除(<input type="button" value="ソフト"/> + <input type="button" value="削除"/>)してから設定初期化操作を行ってください。	79 80
作成文書なし	入力文書が無い状態で印刷を行いました。	ガイドメッセージですので、対応の必要はありません。	—
印刷高さオーバー	文字高さの設定が印字物の高さ方向に対しオーバーしています。	エラーメッセージ表示後、該当する文字ヘカーソルがジャンプしています。該当箇所を以下のいずれかの方法で修正してください。 【ピッチ印刷モードの場合】 [テープ/記名板] [横書]: 行間を減らす/文字サイズを小さくする/行数を減らす [縦書]: 文字間を減らす/文字サイズを小さくする/文字幅を減らす/文字数を減らす [チューブ] [横書]: 行間を減らす/文字サイズを小さくする/行数を減らす [縦書]: 行間を減らす/文字サイズを小さくする/行数を減らす 【印字長モードの場合】 [テープ/記名板] [横書]: 行間を減らす/サイズを小さくする/行数を減らす [縦書]: 行間を減らす/サイズを小さくする/行数を減らす [チューブ] [横書]: 行間を減らす/サイズを小さくする/行数を減らす [縦書]: 行間を減らす/サイズを小さくする/行数を減らす	84 85 86
ピッチ長オーバー	いずれかのブロックで入力文字がピッチ長をオーバーしています。	エラーメッセージ表示後、該当する文字ヘカーソルがジャンプしています。該当箇所を以下のいずれかの方法で修正してください。 [テープ/記名板] [横書]: 文字間を減らす/サイズを小さくする/ピッチ長を広げる/文字幅を減らす/文字数を減らす [縦書]: 行間を減らす/サイズを小さくする/ピッチ長を広げる/行数を減らす [チューブ] [横書]: 文字間を減らす/サイズを小さくする/ピッチ長を広げる/文字幅を減らす/文字数を減らす [縦書]: 文字間を減らす/サイズを小さくする/ピッチ長を広げる/文字幅を減らす/文字数を減らす	84 85 86 90

エラーメッセージ	内 容	対 応	参照頁
印字長オーバー	文字が設定印字長をオーバーしています。(オート設定時は300mm超の時)	エラーメッセージ表示後、該当する文字へカーソルがジャンプしています。該当箇所を以下のいずれかの方法で修正してください。 左右余白を減らす/文字間を減らす/サイズを小さくする/文字幅を減らす/印字長を伸ばす/文字数を減らす	84 85 86 114
全長オーバー	最大印刷長さを超えています。	一度に印刷できるのは、 チューブの場合：最長20m、 テープの場合：最長5mです。 【ピッチ印刷モード】 印刷範囲設定にて複数回に分割して印刷してください 【印字長モード】 連続/連番の枚数を減らして印刷してください。	88 89 112
部数印刷オーバー	入力された部数を印刷すると、最大部数印刷全長を越えてしまいます。	一度に印刷できる最大部数印刷全長は、 チューブの場合：最長50m テープ/記名板の場合：最長7m です。部数を減らして印刷してください。	112
印字物なし	印字物がセットされていません。	印字物をセットして印刷してください。	28 31
インクリボンなし	(1)インクリボンがありません。 (2)印刷物の詰まりなどで印刷物が正常に送れません。	(1)インクリボンが終わっていた場合： 新しいインクリボンに交換してください。 (2)インクリボンが残っていた場合： ①印刷物をセットし直してください。 ②低速モード(オプション設定)を「する」に設定してください。 ※本機とチューブの相性が悪いことが原因の場合もあります。	26 28 31 96
カバーの開放中	印刷途中でカバーが開きました。	カバーを閉めてください。開けた状態では印刷できません。	—
ヘッド温度異常	(1)印刷時にヘッドの温度が異常に上昇しました。 (2)ヘッド温度が正常に検知できません。	修理が必要です。最寄の弊社サービス拠点までお問合せください。	—
カッター異常	ハーフカットが正常に行なえませんでした。	①空送り( + )した後、再度印刷してください。 ②ハーフカッターを交換してください。	35
USBメモリ識別不可	USBメモリ内のデータに正常アクセスできません。	①本機では、セキュリティ機能付きのUSBメモリは使用できません。セキュリティ機能の無いタイプをご使用ください。 ②今までご使用できていた場合は、USBメモリ内のフォーマットが壊れていることが想定されます。この場合、PC上でフォーマットし直してください。ただし、保存されていたメモリは失われます。	—

エラーメッセージ	内 容	対 応	参照頁
USBメモリなし	(1) USBメモリをセットせずに外部メモリ機能を操作しました。 (2) セットした後、USBメモリの取り出し機能を使用してオフライン状態になっています。	USBメモリをセットしなおしてください。 ※USBメモリ取り出し操作後に、キー操作で再度使用可能な状態にすることはできません。一度、USBメモリを取り外し、再度セットしてください。	34
容量オーバー	USBメモリ書き込み時に、USBメモリの容量をオーバーしました。	不要なファイルを削除するなどしてから、保存しなおしてください。	—
このファイルは読み込めません。	読み込もうとしたUSBメモリ内ファイルの内部形式が異なります。	再度、レタツイン用PCエディタにてファイルを作成後、呼び出してください。	139
読み取り専用ファイルです。	(1) USBメモリ内の読み取り専用属性ファイルに上書き保存しようとしてしました。 (2) USBメモリ内の読み取り専用属性ファイルを削除しようとしてしました。	USBメモリ内の読み取り専用属性ファイルを上書き/削除することはできません。PC上でファイルのプロパティを開き、読み取り専用属性をはずしてください。	—
印刷を実行する前に印字物のセットを行ってください。	PCダイレクト印刷を選択してPC通信モードに入るときに、印字媒体が本体にセットされていませんでした。	印刷するPCファイル設定に即した印字物を本体にセットしてください。	28 31
【PC通信】データエラー	PC通信モードでPCから受信したデータが異常です。	本機では専用PCアプリ以外からは受信できません。  を押して受信を中止し、再度専用PCアプリからUSB接続を確認の上、印刷してください。	139
【PC通信】コマンドエラー	PC通信モードでPCから受信したコマンドが異常です。	本機では専用PCアプリ以外からは受信できません。  を押して受信を中止し、再度専用PCアプリからUSB接続を確認の上、印刷してください。	139

10-2 こんなときは

現象	確認事項	対処方法
電源が入らない	電源コードは正しくコンセントやACアダプタに接続されていますか？	正しく接続してください。
表示が暗い	バックライト調整が「暗い」になっています。	設定値を変更してください。 (参照107ページ)
	LCD濃度調整が適正ではありません。	設定値を変更してください。 (参照106ページ)
印字しない	カセットカバーが閉まっていますか？	カセットカバーを開じてください。
チューブ印字が正常にできない ・印字位置がずれる(上下) ・印字位置がずれる(左右) ・チューブが設定より短い ・印字がかすれる	チューブは正しくセットされていますか？	本書28ページに従い、正しくセットしてください。
	チューブがリールなどに絡まっていますか？	チューブが軽く(200gf程度)引き出せるようにしてください。
	チューブに油やゴミなどが付着していませんか？	油やゴミのついたものは使用できません。特に油は拭いても使えない場合があります。新しいきれいなチューブをセットしてください。
	チューブがねじれてセットされていませんか？	ねじれを直して再度セットしてください。
	チューブ径の設定とセットしたチューブ径あっていますか？	チューブ径の設定が異なると、正しい印字位置に印刷しません。セットしたチューブ径に設定を合わせてください。
	上下印字位置設定が適正ではありません。	上下印字位置設定はチューブとの適しによって変わることがあります。上下印字位置設定を適切にセットしてください。
	カット位置調整が適正ではありません。	ハーフカット位置を適正にセットしなおしてください。
	室温が15℃を下回っていませんか？	LM-390T/W、LM-340T/W： 本書109ページに従いチューブウォーマーをご使用ください。 LM390T/LM340T： 印字速度を低温にセットしてください。改善しない場合は、15℃以上の室温を確保できる場所でご使用ください。

現象	確認事項	対処方法
チューブ印字が正常にできない	送りローラやプリンタヘッドが汚れていませんか？	本書144ページに従いクリーニングをしてください。
	チューブのカスが機械内部につまっていますか？	つまっているカスは取り除いてください。
テープカセットがセットできない	切り替えレバーの位置がチューブの位置になっています。	本書31ページに従い、テープカセットの位置にしてからセットしてください。
テープに印字できない	テープカセットが正しくセットされていますか？	テープカセットをきちんと底面まで押し込んでください。
テープに正常に印字できない ・印字位置がずれる	テープ幅の設定は、セットしたテープとあっていますか？	セットしたテープカセットの幅と同じ幅を設定してください。
	15℃以下や35℃以上の使用環境になっていませんか？	15℃以上35℃未満の室内でご使用ください。
	チューブやテープのカスが機械内部にたまっていますか？	チューブやテープのカスを取り除いてから再度印字してください。
テープが設定より短くなる	送りローラが汚れていませんか？	本書144ページにしたがって送りローラをクリーニングしてください。
ハーフカットできない	ハーフカッタユニットが正しく取り付けられていますか？	本書33ページにしたがって、ハーフカッタユニットを正しく取り付けてください。
ハーフカット動作はするが、跡がつくだけで切れない	刃が古くなっていませんか？	ハーフカッタ寿命は5000カットが目安です。新しいハーフカッタユニットに交換してください。※1
	ハーフカッタの深さ調整レバーが適切にセットされていますか？	本書33ページにしたがって、ハーフカット深さ調整レバーを正しく調整してください。
ハーフカットが切れすぎてしまう	ハーフカッタの深さ調整レバーが適切にセットされていますか？	本書33ページにしたがって、ハーフカット深さ調整レバーを正しく調整してください。気温やチューブ適性によって切れ方が変わる場合があります。
手動のフルカットができない（切れない）	チューブやテープのカスが機械内部にたまっていますか？	チューブやテープのカスを取り除いてください。
	刃が古くなっていませんか？	カッタ寿命は30,000カットが目安です。新しいカッタユニットに交換してください。（お預かり修理となります。）

※1 ハーフカッタユニットは、本機種専用です（品番：LM-HC340）。他機種用は使用できませんのでご注意ください。

× 毛

第11章

索引

(あいうえお順にキーワード検索)

第11章 索引 (あいうえお順にキーワード検索)

各項目やキーワードで本書のページを検索できます。

あ

イメージ表示	111
インクリボンカセットのセット	26
印刷部数設定	112
印刷する	111
印刷範囲の選択	112
印刷物の長さ補正	113
印刷方向変更	92
印字濃度	95
英数字入力	62
エラーメッセージ一覧	148
オートオフ機能	101
お使いになる前に	13
お手入れのしかた	143
オプションキー	95
オプション品一覧	160
主な特徴	14

か

外部メモリ文書読込	123
外部メモリ保存	121
各部名称	17
カタカナ変換	71
かな入力	65
かなめくり方式	65
画面の見かた	21
キー名称と役割	18
記号入力	75
記号類一覧表	190
機能を使いこなす	84
基本操作	37
行間隔	86
クリーニングモード	144
語句削除	129
語句初期化	130
語句登録	126
語句の保存／呼出し	126
語句呼出し	128
この機械でできること	14
こんなときは	152

さ

削除キー	78
サプライ品一覧	160
サプライ品セット	25
JISコード一覧表	163
JISコード入力	73
社名ラベルのテープ印刷	55
使用上の注意事項	7
使用消耗品	160
全ての文書メモリ削除	120
全ての文書メモリ初期化	120
製品仕様	161
設定初期化	80
設定初期化キー	80
全文削除キー	79

た

単漢字変換	69
端子記名板用にテープ印刷	44
チューブ印刷	38
チューブセット	28
チューブをはずす	30
テープカセットのセットのしかた	31
テープをセットする	31
テープをはずす	32
デバイスラベル用にテープ印刷	48
同梱品の確認	16
トラブルシューティング	147
取消キー	81

な

内部メモリ保存	116
内部メモリ呼出し	117
入力文字の消去	78
入力文字の消去、設定初期化	78

は

ハーフカッタ交換	33
ハーフカット位置	100
はじめに	2
パソコンデータ活用	132
パソコンデータ読み込み	136
反転	93

BSキー	78
ピッチ印刷の設定変更	90
ピッチカットの変更	91
ピッチ長変更	90
表示濃度	106
ブロック	23
付録	159
文書メモリ削除	119
ヘッドクリーニングのしかた	146
本書の見かた	3
本体データパソコン管理	132

ま

USBメモリのセット	34
メモリ保存／呼出し	116
目次	4
文字間隔	86
文字記号を入力	62
文字高さ	84
文字の枠囲み	87
文字配置変更	104
文字幅	85

や

用語説明	23
------	----

ら

連続印刷枚数	88
連番を設定する	89
ローマ字入力	64
ローマ字入力規則表	162
ローラーのクリーニング	144
6,9印刷	98

付 録

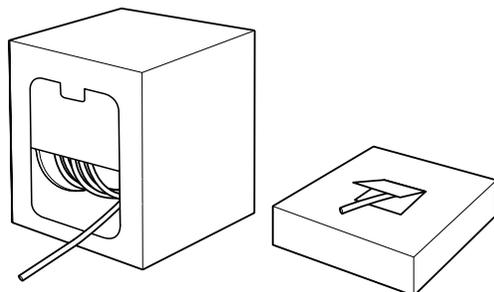
付-1	サブライ品一覧	160
付-2	オプション品一覧	160
付-3	製品仕様	161
付-4	ローマ字入力規則表	162
付-5	JISコード一覧表	163
付-6	記号類一覧表	190

付録

付-1 サプライ品一覧

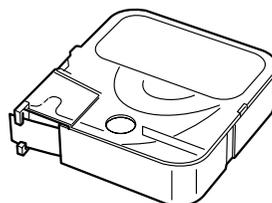
【マックス丸チューブ】

内径φ3.2mm相当：LM-TU432L
 内径φ3.6mm相当：LM-TU436L
 内径φ4.2mm相当：LM-TU442L
 内径φ5.2mm相当：LM-TU452L
 内径φ6.4mm相当：LM-TU464L
 内径φ3.2mm相当：LM-TU332N2（UL224対応）
 内径φ3.6mm相当：LM-TU336N2（UL224対応）
 内径φ4.2mm相当：LM-TU342N2（UL224対応）
 内径φ5.2mm相当：LM-TU352N2（UL224対応）



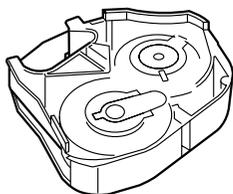
【テープカセット】 5mm幅／9mm幅／12mm幅（8m巻）

	白	透明	黄色
5mm幅テープ	LM-TP305W	LM-TP305T	LM-TP305Y
9mm幅テープ	LM-TP309W	LM-TP309T	LM-TP309Y
12mm幅テープ	LM-TP312W		LM-TP312Y

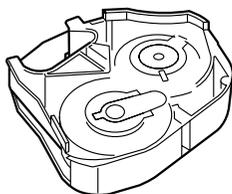


【インクリボンカセット】

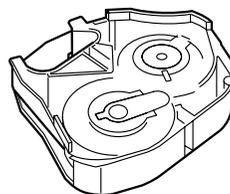
黒リボン：LM-IR340B



白リボン：LM-IR340W



環境対応黒リボン：LM-IR340BP



付-2 オプション品一覧

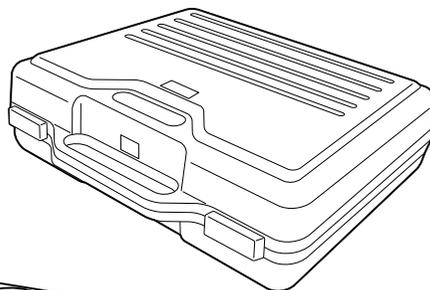
【ハーフカッタ】

キイロ：LM-HC340
 チューブとテープの
 兼用タイプ



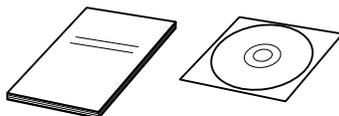
【キャリングケース】

LM-BG340
 ※LM-390T/W,
 LM-390Tには
 同梱されています。



【レタツインPCエディタ】

LM-PC380
 ※LM-390T/Wには同梱されて
 います。
 ※LM-340T/W, LM-340Tでは
 お使いいただけません。



付-3 製品仕様

機種名	LM-390T/W	LM-390T	LM-340T/W	LM-340T
入力方法	英数入力／ローマ字入力／かなめくり方式かな入力			
最大入力文字数	最大5,000文字（300ブロック）			
漢字変換	文節漢字変換／単漢字変換／JISコード入力			
辞書機能	約50,000語			
文字種類	JIS第1水準・第2水準、その他JIS準拠（かな、カナ、英数字等） オリジナル記号（電設記号、単位、丸囲英数字）			
書体	マックス オリジナル書体			
文字サイズ（文字高さ）	1.3／2／3／4／6mm、英数字のみ 2.4mmも選択可			
表示部	バックライト付グラフィックLCD（64×160dot モノクロ）			
印字方式	熱転写方式			
印字速度	35mm/sec（標準）、20mm/sec（低速）			
最大印字長さ	1部印刷時：チューブ 20m、テープ5m 連続印刷時：チューブ50m、テープ7m			
使用可能 印字物※1	チューブ	塩ビ：内径φ2.5～6.5 熱収縮：住友電工ファイナポリマー(株) スミチューブ® B2		
	テープ	専用カセットテープ		
	記名板	t0.3mm, 0.5mm 幅8/8.5/9.5/10mm(塩ビ製)	使用不可	
チューブ切断方法	ハーフカット：自動 / フルカット：手動			
本体メモリ（内部）	最大50ファイル、5,000文字／ファイル			
外部メモリ	USBメモリ※2		USBメモリ※2、※3	
電源	専用ACアダプタ （12V・4.16A）	専用ACアダプタ （12V・3.3A）	専用ACアダプタ （12V・4.16A）	専用ACアダプタ （12V・3.3A）
外形寸法	W275×D299×H91mm			
質量	2400g	2300g	2400g	2300g
動作環境条件	5～35℃ （5～15℃はチューブ ウォーマー使用時）	15～35℃	5～35℃ （5～15℃はチューブ ウォーマー使用時）	15～35℃
外部接続	USBポート×1		なし	
レタツインPCエディタ	使用可		使用不可	
チューブウォーマー	内蔵	なし	内蔵	なし

※1 使用印字物のうち、市販品をお使いになる場合は印字適正が合わない場合があります。

※2 セキュリティ機能のあるタイプや、大きさの合わないものは使用できません、詳細は34ページを参照ください。

※3 PCエディタで作成したファイルは使用できません。

付-4 ローマ字入力規則表

ローマ字入力で日本語を入力する際の入力規則は次の表のようになります。

あ a	い i yi	う u wu	え e	お o	にや nya	にい nyi	にゆ nyu	にえ nye	によ nyo
か ka ca	き ki	く ku cu qu	け ke	こ ko co	ひや hya	ひい hyi	ひゆ hyu	ひえ hye	ひよ hyo
さ sa	し si ci shi	す su	せ se ce	そ so	みや mya	みい myi	みゆ myu	みえ mye	みよ myo
た ta	ち ti chi	つ tu tsu	て te	と to	りや rya	りい ryi	りゆ ryu	りえ rye	りよ ryo
な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	ぎや gya	ぎい gyi	ぎゆ gyu	ぎえ gye	ぎよ gyo
は ha	ひ hi	ふ hu fu	へ he	ほ ho	じゃ jya ja	じい zyi nyai jyi	じゆ zyu jyu ju	じえ zye jye je	じよ zyo jyo jo
ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	ぢや dya	ぢい dyi	ぢゆ dyu	ぢえ dye	ぢよ dyo
や ya		ゆ yu		よ yo	でや dha	でい dhi	でゆ dhu	でえ dhe	でよ dho
ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	びや bya	びい byi	びゆ byu	びえ bye	びよ byo
わ wa	ゐ wi		ゑ we	を wo	ぴや pya	ぴい pyi	ぴゆ pyu	ぴえ pye	ぴよ pyo
ん n					うあ wha	うい whi		うえ whe	うお who
が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	くあ kwa qa	くい kwi qi	くう kwu	くえ kwe qe	くお kwo qo
ざ za	じ zi ji	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	つあ tsa	つい tsi		つえ tse	つお tso
だ da	ぢ di	づ du	で de	ど do	ふあ fwa fa	ふい fwi fi	ふう fwu	ふえ fwe fe	ふお fwo fo
ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	ヴあ va	ヴい vi vyi	ヴ vu	ヴえ ve vye	ヴお vo
ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ヴや vya		ヴゆ vyu		ヴよ vyo
きゃ kya	きい kyi	きゆ kyu	きえ kye	きよ kyo	あ la	い li	う lu	え le	お lo
しゃ sya sha	しい syi shu	しゆ syu	しえ sye she	しよ syo sho	や lya xya		ゆ lyu xyu		よ lyo xyo
ちゃ tya cya cha	ちい tyi cyi chu	ちゆ tyu cyu	ちえ tye cye che	ちよ tyo cyo cho		わ lwa xwa		つ ltu xtu	
てや tha	てい thi	てゆ thu	てえ the	てよ tho		か lka xka		け lke xke	

付-5 JISコード一覧表

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
記 号	2120	「	、	。	、	、	.	.	:	;	?	!	*	°	'	、	..
	2130	^	—	—	、	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	全	々	ノ	○	—	—	-	/
	2140	\	~			'	'	“	”	()	[]	[]
	2150	{		<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	+	-	±	×
	2160	÷	=	≠	<	>	≤	≥	∞	∴	♂	♀	°	'	”	℃	¥
	2170	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	
	2220	◆	□	■		△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	=	
	2230											∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
	2240	U	∩									∧	∨	↖	⇒	⇄	∇
	2250	∃												∠	⊥	~	∂
2260	∇	≡	≐	≪	≫	√	∞	∞	∴	∫	∫						
2270			À	%	#	b	♪	†	‡	¶						○	
英 数 字	2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
	2340		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
	2350	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
	2360		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	2370	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
ひ ら が な	2420		あ	あ	い	い	う	う	え	え	お	お	か	が	き	ぎ	く
	2430	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
	2440	だ	ち	ち	っ	っ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
	2450	ば	ぱ	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	り	ほ	ぼ	ぼ	ま	み
	2460	む	め	も	ゃ	ゃ	ゅ	ゅ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ
	2470	ゐ	ゑ	を	ん												
カ タ カ ナ	2520		ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
	2530	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
	2540	ダ	チ	ヂ	ツ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
	2550	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	リ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
	2560	ム	メ	モ	ヤ	ヤ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ
	2570	キ	エ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ									

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(カ)	3370	叶	椀	樺	鞆	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	嚙	鴨	栢	茅	萱	
	3420		粥	刈	苜	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勸	卷	喚	堪	姦
	3430	完	官	寬	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歛
	3440	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
	3450	莞	觀	諫	貫	還	鑑	問	閑	閑	陷	韓	館	缶	翰	肝	含
	3460	巖	玩	癌	眼	岩	翫	贖	雁	頑	顏	願					
キ	3460											企	伎	危	喜	器	
	3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	起
	3520		機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起
	3530	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	儀	疑
	3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
	3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
	3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	3570	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	強
	3620		供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強
	3630	彊	怯	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	薔	鄉
	3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	堯	曉	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禽	筋	緊		芹	菌	衿	襟	
3660	謹	近	金	吟	銀												
ク	3660					九	俱	句	區	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駢	
	3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	遇	隅	串	櫛	鉤	屑	屈	君	
	3720		掘	窟	沓	靴	轡	窪	隈	彙	栗	繰	桑	鍬	勳	君	
	3730	薰	訓	群	軍	郡											
ケ	3730					卦	袈	邗	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	
	3740	契	形	徑	恵	慶	慧	憩	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	
	3750	經	繼	繫	野	荃	荊	蚩	詣	警	輕	頸	鷄	芸	迎	鯨	
	3760	劇	戟	擊	激	隙	桁	傑	詣	潔	穴	結	血	訣	月	件	
	3770	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	決	堅	建	憲	懸	拳	捲	軒	
	3820		檢	權	牽	犬	獻	研	堅	絹	肩	見	謙	賢	軒	遣	
	3830	鍵	險	頭	駮	鯁	元	原	幻	弦	減	源	玄	現	絃	絃	
3840	言	諺	限														
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(シ)	3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎
	3D40	柔	汁	洪	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟
	3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
	3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	3D70	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
	3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	妾	娼	宵	將	小	少
	3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
	3E40	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
	3E50	笑	粧	紹	肖	菖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
	3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞞	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	孃	常
	3E70	情	擾	条	杖	淨	狀	疊	穰	蒸	讓	釀	錠	辱	埴	飾	
	3F20		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
	3F30	昏	娠	寢	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
	3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
	3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	朝						
ス	3F50										筈	諏	須	酢	凶	厨	
	3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錘	隨	
	3F70	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	榻	菅	頗	裾		
	4020		澄	摺	寸												
セ	4020					世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
	4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
	4040	誓	請	逝	醒	青	静	齐	税	脆	隻	席	惜	威	斥	昔	析
	4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	撰	折	設
	4060	窃	節	説	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	撰	川	戰
	4070	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	仙	潜	煎	煽	旋	穿	尖	川	戰
	4120		織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	遷	錢	箭	線	鮮
4130	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糲								
ソ	4130										噌	塑	岨	措	曾	楚	
	4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	創	
	4150	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	搜	掃	挿	
	4160	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	綜	聡	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(ソ)	4170	草	莊	葬	蒼	藻	裝	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	增	憎	
	4220		臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
	4230	属	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜		
夕	4230															他	多
	4240	太	汰	詫	唾	墮	妥	惰	打	柁	舵	楯	陀	馱	驛	体	堆
	4250	対	耐	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸
	4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醜	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	4270	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
	4320		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎	迪	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
	4330	丹	单	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	鱈	綻	耽
	4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	彈	断	暖	檀	段	男	談			
チ	4340														值	知	地
	4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蚶	遲	馳	築	畜	竹	筑	蓄
	4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	4370	註	耐	鑄	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
	4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	徵	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
	4430	聽	脹	腸	蝶	調	謀	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄	直	朕
	4440	沈	珍	賃	鎮	陳											
ツ	4440						津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	搦
	4450	槻	佃	漬	柘	辻	薦	綴	鏝	椿	潰	坪	壺	孀	紬	爪	吊
	4460	釣	鶴														
テ	4460			亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	通	哲
	4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	敵	的	笛	適	鐫	溺	顛
	4530	徹	撤	輒	迭	鉄	典	填	天	展	展	添	纏	甜	貼	轉	
	4540	点	伝	殿	澱	田	電					店					
ト	4540							兔	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
	4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
	4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梔	棟
	4570	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筍	糖	統	到	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(ト)	4620		董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	鬪	働
	4630	動	同	堂	導	討	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴉	匿
	4640	得	德	澆	特	督	禿	篤	毒	独	読	析	橡	凸	突	椽	届
	4650	薦	苦	寅	酉	瀨	嘔	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	吞	曇	鈍
ナ	4660	奈	那	内	乍	凧	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	繩	躰	南	楠
	4670	軟	難	汝													
ニ	4670			二		尼	弍	迯	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
	4720		如	尿	菲	任	妊	忍	認								
ヌ	4720									濡							
ネ	4720										襦	祢	寧	葱	猫	熱	年
	4730	念	捻	撚	燃	粘											
ノ	4730						乃	迺	之	埜	囊	惱	濃	納	能	腦	膿
	4740	農	視	蚤													
ハ	4740				巴	把	播	霸	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
	4750	俳	靡	拜	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
	4760	椽	煤	狽	買	壳	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	4770	柏	泊	白	箔	柏	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麥	
	4820		函	箱	筥	箸	肇	筭	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	澆	発
	4830	醜	髮	伐	罰	拔	筏	閥	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
	4840	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
	4850	采	煩	頒	飯	挽	晚	番	盤	磬	蕃	蠻					
ヒ	4850											匪	卑	否	妃	庇	
	4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4870	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	毘	眉	美	
	4920		鼻	柎	稗	匹	疋	髭	彦	膝	膝	肘	彌	必	畢	筆	逼
	4930	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	水	漂	瓢	票	表	評	豹
	4940	廟	描	病	秒	苗	錨	鋌	蒜	蛭	鱸	品	彬	斌	浜	瀨	貧
	4950	賓	頻	敏	瓶												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
フ	4950					不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷
	4960	斧	普	浮	父	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷
	4970	武	舞	葡	燕	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4A20		福	腹	複	部	封	楓	風	葺	落	伏	副	復	幅	服	墳
	4A30	憤	扮	焚	奮	覆	淵	弗	弘	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
へ	4A30											丙	併	兵	墀	幣	平
	4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	筵
	4A50	偏	变	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	鞭			
ホ	4A50														保	舖	舖
	4A60	圃	捕	步	甫	補	輔	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	鋒
	4B20		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒
	4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
	4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉞	防	吠	頰	北	僕	卜	墨
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	鉅	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	
マ	4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	味	枚	每	哩	楨	幕	膜	枕	鮪	枉
	4B70	鱒	梲	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	俣	蘭	磨	万	慢	滿	
	4C20		漫	蔓													
ミ	4C20				味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
	4C30	耗	民	眠													
ム	4C30				務	夢	牟	矛	霧	鷓	棕	婿	娘				
メ	4C30														冥	名	命
	4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麵		
モ	4C40															摸	模
	4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	空	勿	餅
	4C60	尤	戾	朮	貫	問	悶	紋	門	匆							
ヤ	4C60										也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4C70	矢	厄	役	約	葉	訳	躍	靖	柳	藪	鐘					
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ユ	4C70												愉	愈	油	癒	
	4D20		論	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
	4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕			
ヨ	4D30														予	余	与
	4D40	譽	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶
	4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
	4D60	沃	浴	翌	翼	淀											
ラ	4D60						羅	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
	4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽								
リ	4D70									利	吏	履	李	梨	理	璃	
	4E20		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	莅	掠	略	劉	流	溜
	4E30	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	兩	凌
	4E40	寮	料	梁	涼	獵	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
	4E50	緑	倫	厘	林	淋	淋	琳	臨	輪	隣	隣	麟				
ル	4E50													瑠	墨	淚	累
	4E60	類															
レ	4E60		令	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	札	苓	鈴	隸	零	靈	麗
	4E70	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
	4F20		蓮	連	鍊												
ロ	4F20					呂	魯	櫓	炉	路	路	露	勞	婁	廊	弄	朗
	4F30	楼	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	禄	肋	録
	4F40	論															
ワ	4F40		倭	和	話	歪	賄	脇	惑	梓	驚	互	亘	鰐	詫	藁	蕨
	4F50	椀	湾	碗	腕												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

付 録
J-S
コ ー ト
一 覧 表

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
一	5020		式	丐	丕												
丨	5020					个	卯										
丿	5020							、	井								
丩	5020									ノ	父	乖	乘				
乙	5020													亂			
丩	5020 5030	舒													丩	豫	事
二	5030	式	于	亞		亟											
一	5030					一	亢	京		毫	賣						
人	5030										从	仍		仄	仆	仂	仗
	5040	仞	伋	仟	价	伉	佚	估	佛	佻	佗	佇	佖	仄	侏	侏	佻
	5050	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俛	俛	俎	俘	俛	侑	俚	侑	侑
	5060	俚	倚	倨	偃	倪	控	倅	倅	俶	倡	倩	倅	俾	俯	們	倆
	5070	偃	假	會	偕	修	偈	倣	倅	倣	偷	傀	倣	倣	倣	倣	倣
	5120 5130		僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
儿	5130									儿	兀	兒		兌	兔	兢	競
入	5140	兩	兪														

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
八	5140			兮	冀												
冂	5140					冂	回	册	冉	冂	冂	冂	冂				
冫	5140 5150													冫	冫	冫	冫
冫	5150			冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫				
几	5150 5160													几	几	几	几
凵	5160			凵	凵												
刀	5160 5170 5220				双	刊	刂	刂	刂	刪	刮	刮	利	剗	剗	剗	剗
						剩	剩	剩	剩	劍	劍	劍	劍	剗	剗	剗	剗
					辦												
力	5220 5230			勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹
				勸													
勹	5230			勹	勹	勹	勹	勹	勹								
匕	5230									匕							
匚	5230									匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚
匚	5230																匚
十	5240	卒	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅								
卜	5240								卜								
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
冂	5240								冂	卮	邛	卻	卷					
凵	5240 5250													凵	厖	厖	厦	
厶	5250				厶	參	纂											
又	5250							雙	叟	曼	變							
口	5250											叮	叨	叭	叭	吁	咩	
	5260	呀	听	吭	吼	吮	呐	吩	咨	呖	咏	呵	咎	呖	呱	呷	咩	
	5270	咒	呻	咀	吮	咄	咐	咆	哇	呶	咸	啞	咬	哄	哈	咨		
	5320		咫	晒	咤	佬	尙	珩	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哧	
	5330	啞	啞	啞	啞	售	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
	5340	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
	5350	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5360	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	
5370	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	
囗	5370									囗	囗	囗	囗	囗	囗	囗		
	5420		圈	國	圍	圓	團	圖	囿	園								
土	5420											坎	坏	址	坏			
	5430	坩	垂	垩	坡	坩	坩	垩	垩	坩	垩	坩	垩	坩	垩	坩	垩	
	5440	坩	壘	坩	坩	坩	壘	坩	壘	坩	壘	坩	壘	坩	壘	坩	壘	
	5450	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	
	5460	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	
士	5460				壯	壺	壺	壺	壺	壽								
夕	5460									夕								
女	5460											女	復					
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
夕	5460													夕	夢	夥	
大	5460																夫
	5470	夭	本	夸	夾	竇	奕	奘	奎	奚	奘	奢	奠	奧	獎	奩	
女	5520		奸	妁	妝	佞	佞	妣	姐	姆	姨	姜	妍	姘	姚	娥	娟
	5530	娑	娜	娉	甥	婀	姪	婉	娠	娶	婢	婪	媚	媪	媯	嫵	嫂
	5540	媽	媽	嫗	嫦	嫩	嫖	嫻	嫻	嬌	嬋	嬖	嬖	嫩	嬪	嬪	嬪
	5550	孃	孃	孃													
子	5550			子		孕	孚	孛	孛	孩	孰	孳	孳	學	孳	孺	
宀	5550																宀
	5560	它	宦	宸	寃	寇	霍	寔	寐	寤	實	寢	寔	寥	寫	寔	寶
	5570	寶															
寸	5570		尅	將	專	對											
小	5570					尔	尠										
尢	5570							尢	尢								
尸	5570									尸	尹	屍		屈	屎	頁	
	5620		屣	屣	屣	屬											
屮	5620					屮											
山	5620							屮	岌	屹	岌	岑	岔	岌	岫	岫	岫
	5630	岬	岬	岬	岬	峇	峙	峇	峇	岷	岷	岷	岷	岷	岷	岷	岷
	5640	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
	5650	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺
ㄩ	5650																ㄩ

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
工	5660	巫															
巳	5660	巳	卮														
巾	5660			帟	帟	帟	帟	帟		帶	帷	幄	幃	幘	幘	幘	幘
	5670	幘	幘	幣	幫												
干	5670					干	并										
幺	5670							幺	麼								
广	5670									广	庠	廁	廂	厦	廐	廐	
	5720	廖	廣	斯		廚	廛	廢	廡	廡	廡	廡	廡	廳	廳		
廴	5720															廴	廴
井	5730	井	弁	井	井	井											
弋	5730							弋	弋								
弓	5730							弓		弩	弭	弭	弭	彈	彌	彎	彎
彡	5740	彡	彡	彡	彡												
彣	5740					彣	彭										
彳	5740							彳	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃
	5750	徃	徃	徃	徃	徃	徃										
心	5750							忖	忖	忖	忖	忖	忖	惠	忿	怡	恠
	5760	忖	忖	忖	忖	忽	怛	怕	佛	忖	忖	忖	忖	恠	恠	恠	恠
	5770	協	恆	恍	恠	恃	恤	恠	恠	恠	恠	恠	恠	懼	悞	悚	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
(心)	5820		悄	悛	悖	愧	悒	悵	悒	惡	悽	惠	倦	悴	悴	悽	惆	
	5830	悵	悵	悵	悵	愆	惶	愆	愆	惴	惴	愆	愆	惻	惱	愆	悞	
	5840	愆	愆	愆	愧	慊	愿	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
	5850	慊	愆	愆	愆	慊	愆	愆	愆	慊	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
	5860	愆	愆	愆	愆	慊	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
	5870	慊	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
戈	5870									戈	戊	戊		戊	戔	戔		
	5920		戔	戔	戔	戔	戔	戔	戔									
戸	5920									扁								
手	5920									扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	
	5930	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	
	5940	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	
	5950	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	
	5960	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	
	5970	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	5A20	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	5A30	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
支	5A30													支	攴	攴	攴	
	5A40	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	
斗	5A40																斛	
	5A50	斛																
斤	5A50	斤	斤															
方	5A50		旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃					
无	5A50											无	无	无				
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
日	5A50														旱	杲	昊
	5A60	昃	旻	杳	昵	昶	昂	易	晏	眇	晉	晁	晞	晝	晤	皓	晨
	5A70	晟	晝	晰	晁	暈	暎	暉	暄	暘	暝	暨	暹	曉	嗽	警	
	5B20		曄	瞭	曖	矇	曠	眈	曦	曩							
日	5B20									日	曳	曷					
月	5B20													肫	臙	朞	朦
	5B30	朧	霸														
木	5B30		朮	束		朶	杓	杓	杓	杆	杞	杠	杙	杧	朽	杲	杰
	5B40	忝	杼	杪	杌	枋	枥	枌	枍	枷	柯	枒	東	枳	柁	柁	柁
	5B50	柞	柝	柝	柝	枹	柎	柎	柎	檜	栒	栒	栒	桀	柗	柗	柗
	5B60	梳	柃	柃	柃	柃	柃	柃	柃	梭	柃	條	柃	柃	柃	柃	柃
	5B70	梵	栢	栢	栢	柃	柃	柃	柃	柃	棘	柃	榜	柃	柃	柃	柃
	5C20		栢	棧	棕	棧	椒	接	棧	棧	柃	棧	棠	柃	柃	柃	柃
	5C30	棟	樹	楡	楡	楸	楸	楸	楸	楔	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸
	5C40	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸
	5C50	榻	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	榴	檠	檠	樂	檠	檠	檠	檠
	5C60	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭
	5C70	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭
	5D20		榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭
	5D30	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭								
欠	5D30								欸	欸	盜	欸	飲	欸	欸	欸	歐
	5D40	欸	欸	欸	欸	欸											
止	5D40						歸										
歹	5D40							歹	斃	歹	殄	殃	殄	殘	殄	殄	殄
	5D50	殄	殄	殄	殄	殄											
殳	5D50						殳	殷	殼	毆							
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
母	5D50									母 毓								
毛	5D50									笔				毳	毫	毳	毳	
	5D60	麾 氈																
氏	5D60	氓																
气	5D60	气				氛 氤 氣												
水	5D60									汞	汕	泚	汪	沂	沔	沚	沁	沛
	5D70	汾	汨	汜	沒	沐	泄	決	泓	沽	泗	泓	沂	沮	沱	沾		
	5E20		沔	泛	泯	泔	汨	洑	衍	洵	洫	洽	洸	洙	洵	洳	泗	
	5E30	冽	浣	涓	法	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	洌	淵	涵	淇	
	5E40	淦	涸	滄	淬	淞	洵	淨	淒	浙	淺	淙	淤	淩	淪	淮	渭	
	5E50	湮	荷	渙	浹	湟	渾	渣	湫	渫	淙	湍	淳	滌	渺	涵	渤	
	5E60	滿	滄	游	澗	溪	溢	混	涵	滓	滯	溯	滄	洩	滔	滕	澧	
	5E70	溥	滂	溟	穎	漑	灌	漚	澗	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌		
	5F20		漾	漓	滷	澆	滌	潛	澁	澀	潯	潛	潛	潭	激	潼	潘	
	5F30	澎	溇	濂	潦	澳	澗	澡	澤	澹	漬	滲	濟	濕	濬	灑	瀟	
	5F40	濱	濮	濛	瀉	潘	澗	瀑	養	瀏	瀘	瀛	瀚	渚	瀝	瀘		
5F50	瀾	瀾	激	灑	灣													
火	5F50					炙 炒 炯				炯	炬	炸	炳	炮	烟	休	烝	
	5F60	烙	焉	烽	焜	焙	煥	熙	熙	煦	煖	煖	煖	煖	烟	熏	燠	
	5F70	煩	駸	熬	爛	烹	熾	燒	燉	燻	燎	燠	燠	燠	燠	燠	燠	
	6020		燠	燠	燠	爐	爛	燠										
爪	6020									爭	爬	爰	爲					
爻	6020													爻	俎			
月	6020													月 牀 牆				
	6030	牀 牘																

付 録
J-Sコード一覽表

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
牛	6030			牴	牯	犁	犁	犛	犒	犖	犖	犖	犖					
犬	6030												犹	豺	狃	狃	狄	
	6040	狎	狒	狒	狼	狡	狹	狛	條	猗	猊	猜	猖	猝	猴	獬	猩	
	6050	猥	猾	獒	獾	默	獬	獮	獨	獯	獸	獵	獻	獺				
玉	6050															珈	玳	玼
	6060	玻	珀	珉	珮	珞	璠	琅	瑯	琥	瑀	琲	珉	瑕	璵	瑟	璫	
	6070	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑤	瑾	璋	璞	璧	瓊	龍	璣	瑛		
瓜	6120		瓠	瓣														
瓦	6120				甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
	6130	甌	甌	甌														
甘	6130			管														
生	6130					甦												
用	6130					甬												
田	6130						畀	畀		畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	
	6140	畀	畀	畀	畀	當	疆	疇	疇	疊	疊	疊						
病	6140												疔	疔	疔	疔	疔	
	6150	痲	疖	疥	疵	疽	疽	疼	疱	瘡	痊	痒	癢	瘰	痞	痲	痿	
	6160	癩	瘁	痰	痺	癩	癩	瘋	瘍	癩	瘟	瘧	瘡	瘡	癩	瘤	瘡	
	6170	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
	6220			癩														
𠂇	6220			𠂇	癸	發												
白	6220					皂	兒	𠂇		皐	皎	皖	皓	皙	皚			

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
皮	6220																皃 皃	
	6230	皃	輝	皃														
皿	6230			孟		盍	盖	盒	盞	盞	盥	盂	盪	盪				
目	6230																眈 眈 眈	
	6240	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
	6250	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
	6260	眈	眈															
矛	6260			矜														
矢	6260			矣		矮												
石	6260					砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒
	6270	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒
	6320			砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒					
示	6320												祀	祠	祇	崇	祚	
	6330	祕	祓	祺	祿	禊	禊	禱	齋	禪	禮	禳						
禺	6330												禹	禺				
禾	6330																秉 秣 秣	
	6340	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣
	6350	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣									
穴	6350						穹	穿		窈	窗	窈	窈	窈	窈	窈	窈	
	6360	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈										
立	6360							竝		竝	紛	氐	站	竝	竝	竝	竝	
	6370	竝	竝	竝														
竹	6370			笱		笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	
	6420		笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
(竹)	6430	箇	筩	箍	筵	筍	箋	箒	箏	箏	箴	篋	篋	篋	篋	篋	篋	
	6440	箒	篩	箕	箕	篋	策	籠	簣	簇	箴	箒	篋	篋	篋	篋	篋	
	6450	簧	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	
	6460	簪	籬															
米	6460			料	枇	秬	粳	秈	粳	秬	秬	秬	秬	粳	梁	糧	粹	
	6470	粽	粳	粳	粳	秬	秬	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	
糸	6470														紉	紉		
	6520		紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
	6530	絨	絮	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨
	6540	綫	總	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫
	6550	縊	縣	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊
	6560	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊
6570	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	縊	
缶	6570														缸	缺		
	6620		罇	罇	罇	罇	罇											
网	6620							网	罕	罔	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	
	6630	網	罟	罟	罟	罟												
羊	6630						羌	羔	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	
	6640	羴	羴															
羽	6640			翅	翠	翊	翕	翔	翕	翕	翕	翕	翕	翕	翕	翕	翕	
老	6640														耆	耄	耄	
耒	6650	耒	耘	耜	耜	耜	耜											
耳	6650							耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聒	聒	聒	
	6660	聒	聒	聒	聒	聒												
聿	6660							聿	肄	肆	肅							
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
肉	6660											肛	育	肚	腩	胃	肱
	6670	胛	胥	胙	胠	胄	胚	肱	脉	胯	肱	脛	脩	脣	脯	腋	
	6720		隋	腴	脾	腓	腑	胼	腱	腮	脰	腦	腴	膈	膈	膊	膀
	6730	膂	膠	膈	膾	膾	膾	膾	臑	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾	膾
	6740	臉	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍				
臣	6740									臍							
至	6740									臺	臻						
白	6740													臍	臍	臍	臍
	6750	與	舊														
舌	6750			舍	舐	舖											
舟	6750					舩	舩	舩		舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩
	6760	舩	舩	舩	舩	舩											
艮	6760					艮											
色	6760					艷											
艸	6760								艸	艾	芍	芒	芫	芫	芫	芫	芫
	6770	苜	苟	苒	苒	苒	苒	苒	苒	苒	苒	苒	苒	苒	苒	苒	苒
	6820		茵	茵	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕
	6830	莪	荅	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢
	6840	萱	董	崑	菽	萃	菘	萋	菁	葦	葦	葦	葦	葦	葦	葦	葦
	6850	莢	菱	菴	葭	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴
	6860	葯	施	高	翁	葇	葇	葇	葇	葇	葇	葇	葇	葇	葇	葇	葇
	6870	莠	蔡	蓍	蓍	蓍	蓍	蓍	蓍	蓍	蓍	蓍	蓍	蓍	蓍	蓍	蓍
	6920		葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍
	6930	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍	葍
	6940	蘋	蘋	蘭	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
虍	6940									虍	虍	虍	虍	虍				
虫	6940														虱	蛆	蚣	
	6950	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠃	蚋	蛔	蛞	蝥	蝱	
	6960	蛟	蛛	蛭	蛭	蜆	蜈	蜀	蜃	蛭	蛭	蚤	蜂	蝻	蝻	蝻	蝻	
	6970	蝮	蜻	蜥	蜥	蜆	蝠	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟
	6A20		蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
	6A30	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
6A40	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	
血	6A40									衄	衄							
行	6A40											衄	衄	衄	衄			
衣	6A40															衫	袁	
	6A50	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	
	6A60	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	
	6A70	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	
	6B20		衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	
西	6B20									西	覃	覈	覈					
見	6B20													覓	覓	覓	覓	
	6B30	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	
角	6B30									觚	觚	觚	觚	觚	觚			
言	6B30															訃	訃	
	6B40	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	
	6B50	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	
	6B60	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	
	6B70	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	
	6C20		訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
谷	6C20													𪗇 𪗈			
	6C30	谿															
豆	6C30	豈 豌 豎				豐											
豕	6C30					豕 豢 豬											
豸	6C30									豸 豺 貂 貉				貅 貉 狸 貌			
	6C40	貌 玃 獬															
貝	6C40	賤				質 貪 貽 貲				貳 貳 貶 賈				賁 賤 賣 賚			
	6C50	賽 賺 賻 贄				贅 贄 贄 贏				贍 贍 齋 贓				贓 鼈 贖			
赤	6C50													赧			
	6C60	赭															
走	6C60	走 赳 赳				趙											
足	6C60					跂 趾 跣				跣 跣 跣 跣				跛 跋 跪 登			
	6C70	跟 跣 跣 跣				跟 跣 跣 跣				跣 跣 跣 跣				跛 跋 跪 登			
	6D20	蹇 蹉 蹉 蹉				蹉 蹉 蹉 蹉				蹉 蹉 蹉 蹉				跛 跋 跪 登			
	6D30	蹉 蹉 蹉 蹉				蹉 蹉 蹉 蹉				蹉 蹉 蹉 蹉				跛 跋 跪 登			
身	6D30													躬 軀 體 躰 躰			
	6D40	軀 躰															
車	6D40	軋 軋 輶 輶				輶 輶 輶 輶				輶 輶 輶 輶				輶 輶 輶 輶			
	6D50	輶 輶 輶 輶				輶 輶 輶 輶				輶 輶 輶 輶				輶 輶 輶 輶			
	6D60	輶 輶 輶 輶				輶 輶 輶 輶				輶 輶 輶 輶				輶 輶 輶 輶			
辛	6D60	辜				辟 辣 辭 辯											
辵	6D60									辵 迎 迥 迥				迪 迥 邇 迥			
	6D70	迥 迹 迥 迥				迥 迥 迥 迥				迥 迥 迥 迥				迥 迥 迥 迥			
	6E20	迥 迥 迥 迥				迥 迥 迥 迥				迥 迥 迥 迥				迥 迥 迥 迥			
	6E30	迥 迥 迥 迥				迥 迥 迥 迥				迥 迥 迥 迥				迥 迥 迥 迥			
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
邑	6E30								邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郇	鄂
	6E40	鄒	鄒	鄒	鄰												
西	6E40					酏	酏	酸	酣	酥	酪	醅	醞	醋	醉	醢	醴
	6E50	醫	醢	醪	醴	醴	醴	釀	費								
采	6E50									秬	釋						
里	6E50												釐				
金	6E50												鈞	鈇	釜	鈇	鈇
	6E60	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇
	6E70	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇
	6F20		鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇
	6F30	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇
	6F40	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇
6F50	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	
門	6F50										門	門	門	閔	閔	閔	閔
	6F60	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔
	6F70	關	關	關	關												
阜	6F70					阡	阨	阮	阨	陂	陌	陌	陋	陷	陝	陞	
	7020		陝	陟	陟	陟	陟	陟	陟	隕	隗	隗	隗	隗	隗	隗	隗
隶	7030	隶	隸														
隹	7030		隹	隹		雥	雥	雍	襍	雜	霍	雕					
雨	7030												雹	霄	霆	霈	霓
	7040	霽	霽	霽	霖	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽
青	7050	靜															
非	7050		靠														
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
面	7050			𪗇	𪗈	𪗉											
革	7050					𪗊	𪗋	𪗌	𪗍	𪗎	𪗏	𪗐	𪗑	𪗒	𪗓	𪗔	𪗕
	7060	𪗖	𪗗	𪗘	𪗙	𪗚	𪗛	𪗜	𪗝	𪗞	𪗟						
韋	7060									𪗠	𪗡						
韭	7060													𪗢	𪗣	𪗤	
音	7060																𪗥
	7070	𪗦	𪗧														
頁	7070			𪗨	𪗩	𪗪	𪗫	𪗬	𪗭	𪗮	𪗯	𪗰	𪗱	𪗲	𪗳	𪗴	𪗵
	7120			𪗶	𪗷	𪗸											
風	7120					𪗹	𪗺	𪗻	𪗼	𪗽	𪗾	𪗿	𪘀				
食	7120												𪘁	𪘂	𪘃	𪘄	𪘅
	7130	𪘆	𪘇	𪘈	𪘉	𪘊	𪘋	𪘌	𪘍	𪘎	𪘏	𪘐	𪘑	𪘒	𪘓	𪘔	𪘕
	7140	𪘖	𪘗	𪘘	𪘙												
首	7140				𪘚	𪘛											
香	7140								𪘜								
馬	7140								𪘝	馮	馱	駟	駛	駝	駘	駑	駑
	7150	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑
	7160	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑	駑
骨	7160													𪘞	𪘟	𪘠	𪘡
	7170	𪘢	𪘣	𪘤	𪘥												
高	7170					𪘦											

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
髟	7170					髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟
	7220		髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟								
鬥	7220									鬥	鬥	鬥	鬥	鬥	鬥		
鬯	7220																鬯
鬲	7220																鬲
鬼	7230	鬼	鬼	鬼	鬼	鬼	鬼	鬼									
魚	7230								魴	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
	7240	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
	7250	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
	7260	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
鳥	7260											鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7270	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7320		鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7330	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7340	鳧	鳧	鳧													
鹵	7340			鹵	鹵	鹵											
鹿	7340						鹿	鹿		麋	麋	麋	麋	麋	麋		
麦	7340															麦	麦
	7350	麦	麦	麦													
麻	7350			麻													
黄	7350					黄											

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
黍	7350					黎	黏	糲									
黒	7350									黔	黜	黠	黝	黠	黥	黠	
	7360	黴	麤	黠													
蓍	7360			蓍		黻	黼										
黽	7360					黽	黽			黽							
鼓	7360									鼓	鞀						
鼠	7360											鼠		鼯			
鼻	7360													鼯			
齊	7360															齊	
齒	7360																齒
	7370	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶
龍	7370													龕			
龜	7370														龜		
龕	7370															龕	
その他漢字	7420	堯	楨	遙		瑤	凜	熙									

付-6 記号類一覽表

項目	記 号								項目	記 号											
数字	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	上付文字	0	1	2	3	4	5	6	7				
	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13		8	9	-	+	()	a	b				
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII		c	x	y	z	α	β	γ					
	IX	X								下付文字	0	1	2	3	4	5	6	7			
	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii			8	9	-	+	()	a	b			
	ix	x									c	x	y	z	α	β	γ				
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧			電設①	♂	♂	⊥	⊖	⊕	⊖	⊕	⊖		
	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯				⊗	⊙	⊗	⊗	⊗	⊙	⊙	⊙		
	⑰	⑱	⑲	⑳								⊗	⊗	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙		
	英字丸囲い	A	B	C	D	E	F	G				H	電設②	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙
I		J	K	L	M	N	O	P	⊙			⊙		⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙		
Q		R	S	T	U	V	W	X	⊙			⊙		⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙		
Y		Z							電設③			⊙		⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	
単位		mm	cm	km	mm ²	cm ²	m ²	km ²		ha		筆記体		⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙
		mm ³	cm ³	m ³	cc	ml	dl	l		mg				α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ
		kg	Å	°C	°K	cal	mV	kV		mA				i	j	k	l	m	n	o	p
		ns	μs	ms	mW	kW	VA	Ω		kΩ	q			r	s	t	u	v	w	x	
		pF	nF	μF	Hz	KHz	MHz	GHz		dB	y			z							
		事務記号	No.	KK	TEL	FAX	(株)	(有)		(代)				ギリシャ文字	A	B	Γ	Δ	E	Z	H
										I	K		Λ		M	N	Ξ	O	Π		
										P	Σ		T		Υ	Φ	X	Ψ	Ω		
										a	β		γ		δ	ε	ζ	η	θ		
									i	κ	λ		μ		ν	ξ	ο	π			
									ρ	σ	τ	υ	φ		χ	ψ	ω				

メ 毛

× 毛

●修理サービスおよび不明の点はお買い上げの販売店もしくは下記へお問い合わせください。



使い方のお問い合わせ

ホームページアドレス：<http://www.max-ltd.co.jp/op/>

お客様相談ダイヤル：0120-510-200

[月～金曜日(祝祭日、当社休業日除く)午前9時～午後6時]